

第九十回 帝國議會 貴族院 戰時補償特別措置法案特別委員會議事速記第二號

付託議案

○戰時補償特別措置法案

○金融機關再建整備法案

○特別和議法案

○大藏省預金部等損失特別處理法案

○厚生年金保險法及び船員保險法特別條例案

○企業再建整備法案

○財産稅法案

○財産稅等收入金特別會計法案

○企業整備資金措置法を廢止する等の法律案

○帝國鐵道會計又は通信事業特別會計における昭和二十一年度の經費支辨のための借入金等に關する法律案

○復興金融公庫及び産業復興營團出資拂込金支辨のための公債發行に關する法律案

○自作農創設特別措置特別會計法案

昭和二十一年十月八日(火曜日)午前

十時九分開會

○委員長(三土忠造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、板谷順助君、昨日ノ續...

○板谷順助君 昨ハ先ヅ第一ニ委員長カラ政府委員ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、多數ノ質問者ノ諸君モ御アリニナルノデ、私ハ出來ルデ簡潔ニヤリタイト考ヘテ質問シテ居ルノデアリマスケレドモ、政府ノ答辯ガ現角的ヲ外レテ、不徹底デアツテ、質問ニ對スル明瞭ナ御答ガナインデアリマス、從ツテ質問ガソレガ爲ニ長引クヤウナ傾向ニアリマスルノデ、此ノ點ヲ委員長カラ一ツ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(三土忠造君) 御聽キノ通りデアリマス

○板谷順助君 負債整理ト指定負債ト云フ此ノ區別ハドウナツテ居リマスカ、又此ノ法案ヲ見マスルト、大藏大臣ガ指定スルト云フ言葉ガ屢、使ハレテ居ルノデアリマスルガ、此ノ指定ト云フ其ノ範圍ハドウ云フ程度デアリマスカ

○委員長(三土忠造君) 今銀行局長ガチヨットオイデニナリマセスカラ、外ノ方ノ郵便貯金ノ...

○板谷順助君 ソレデハ郵便貯金ノ關係ノ方ガオイデニナツテ居リマスルナラバ、私ガ昨日質問ヲ致シマシタノハ、評價益ト評價損ガドウ云フ程度ニ計算サレテ居リマセウカ、或ハ又是ガ其ノ預金者ニ如何ナル影響ヲ及スカト云フ意味ノ質問ヲシタノデアリマス、恐ラクハ昨日ノ答辯ニ依リマスレバ預金部カラ貸付ケタ、或ハ其ノ他ノ關係ニ於キマシテハ其ノ計算ガムヅカシイト云フヤウナ御話デアリマシタケレドモ、併シナガラ私ハ是ハ大體ムヅカシイト言ヘバムヅカシイガ、併シ全國ノ所謂零細資金ヲ持ツテ居ル預金者ニ重大ノ關係アルコトデアリマスルカラ、一日モ早ク斯ウ云フ程度迄ハ、或場合ニ於テハ預金者ガ犧牲ヲ拂ハナケレバナラスト云フ程度ノ、ソレ位ノコトハ、外ノ企業整備ト違ヒマシテ、簡潔ニ或程度迄ノ計算ガ、私ハ出來ルヤウニ思フノデアリマス、此ノ點ヲモツトハツキリ一ツ御知ラセテ願ヒタイト思フ

○委員長(三土忠造君) 是モ銀行局長ノ問題デス、板谷君ノ質問ハ皆銀行局長ノ方デスネ

○政府委員(三木秋義君) 當面ノ責任者ハ只今マダオ見エニナツテ居ラレマセヌノデ、私商工省ノ者デ所管外デゴザイマスケレドモ、關聯致ス事項デゴザイマスカラ簡單ニ御答ヘ致シタイト思ヒマス、銀行ノ預金ニ結局トシテ損失ガ及ブカト云フコトハ、根本的ニハ企業ニ戰時補償ノ打切りニ依ツテ企業ガドレダケノ損失ヲ受ケルノカ、其ノ損失ガ、銀行ノ貸付金ニ對シテドレダケノ影響ヲ及スカト云フコトガ、ハツキリシナイト結論ガ出テ來ナイト思ヒマス、ソレデ各企業ニ於ケル所ノ特別損失ガ、整備計畫ガ立タイト、ソレガ結局銀行ニドレダケノ負擔ガ行クカト云フコトガ最後ニハ出テ來マセヌ、從ヒマシテ銀行ニ於キマシテハ企業家ノ損失ガドレダケ、ソレカラ自分自身デ受ケル所ノ戰時補償ノ損失ガドレダケト云フコトガ出マシテ、初メテ預金者ニ對シテドレダケノ負擔ヲ掛ケルト云フ數字ガ出テ來ル譯デアリマス、從ヒマシテソレガ最後の二分リマスノハ相當後ニナルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマス

○板谷順助君 昨ハサウ云フ意味デ聽イテ居ルノデアリマセヌ、要スルニ整理負債ト云フノハ恐ラクハ第二封鎖金ヲ指シテ居ルノデヤナイカト思フ、ソレカラ又指定負債ノ債權者ト云フノハ、所謂日本銀行或ハ農林中央金庫、又ハ資金統合銀行ト云フヤウナ、此ノ意味ノ銀行ニ對スル貸付ヲ、殆ド之ヲ新勘定ニ廻シテ居ルノデアリマス、從ツテ此ノ法案ヲ見マスルト云フト、先ヅ第一ニ積立金ヲ以テ充テルト、ソレカラ株主ノ九割ヲ充テルト、ソレカラ會社ノ五百萬圓ノ預金ノ七割ヲ充テルト、百萬圓ノ五割ヲ充テルト、十萬圓ノ三割ヲ充テルト、ソレカラ法人ノ預金ノ三割ヲ充テルト、後ノ残りノ株式ノ一割ヲ充テルト、是デ空ツボニナツチャウ、其ノ後デ整理債務ノ債權者ノ金額ヲ之ニ充テルト、ソコデ初メテ指定債務ノ債權者、或ハ政府ノ補償ト、斯ウ云フ段取ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ私ノ質問スルコトハ此ノ經路ヲ辿ツテ來マスルト云フト、要スルニ例ヘバ株主ト致シマシテモ、細イ株主モ澤山アル、或ハ又會社ノ預金ニ致シマシテモ、戰時成金ノソレハ預金モアリマセウ、併シナガラ先祖傳來ノ...初カラヤリ直シマスカ

○委員長(三土忠造君) ヤリ直シテ下サイ

○板谷順助君 此ノ金融機關再建ニアリマスル整理負債ト指定負債ノ區別ヲ一ツ御知ラセ願ヒタイ、ソレカラ此ノ法案ニ大藏大臣ガ指定スルト云フ言葉ガ使ハレテ居ルノデアリマスルガ、大藏大臣ガ指定スルト云フ此ノ言葉ハ、私ノ想像ニ依リマスルト云フト、所謂舊勘定カラ新勘定ニ向ケタト云フコトニ付テノ、大藏大臣ノ指定デナイカト想像サレルノデアリマスルガ、此ノ一體範圍ガドウカ...

○委員長(三土忠造君) 大藏大臣ガ今

○板谷順助君 ソレデヤ外ノ質問ニ移リマス、生命保險ノ問題デアリマスルガ、生命保險ガ金融機關再建ノ法案ヲ適用サレルコトニナツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ法案ヲ若シ適用スルトニナリマスレバ、舊勘定ニ殘ル責任準備金ト云フモノハ、各社共殆ド二割以下デアリマス、即チ反對ニ新勘定ニハ負債ノ八割ガ殘リマシテ、資産ハ在外資金或ハ株式ノ低落、又ハ補償打切りノ關係ニ依ツテ「バランス」ガ取レナイ、其ノ結果恐ラクハ金融機關ノ法案ヲ適用スルコトニナリマスレバ、各社共、殆ド全滅ダト思フノデアリマスルガ、之ニ對スル對策ヲ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ

○政府委員(福田越夫君) 私チヨット據ロナイ用事ガアリマシテ、後ノ方シカ拜聽致サナクタノデアリマスケレドモ、最後ノ私ノ拜聽致シマシタ所ノ會社ノ整理ヲ如何スルカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ資本金ガ全部飛ンダト云フ場合ニ於キマシテハ、是ハ解散スルカ合併スルカ或ハ第二會社ヲ作リマスルカ、此ノ外ナイノデアリマスルガ、資本金ガ一割殘リマス場合ニ於キマシテモ、會社ノ實情ニ應ジマシテ、或ハ合併ヲスルトカ、或ハ解散ヲ致シマスルカ云フ場合モアラウカト斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ前ノ方ノ問題ニ付キマシテハ、私チヨット遅レマシテ誠ニ恐縮デアリマスガ...

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

○板谷順助君 昨ガ御尋ネ致シマスルノハ、例ヘバ金融機關デアツテモ銀行ナ

第四部第三十一類 戰時補償特別措置法案特別委員會議事速記第二號 昭和二十一年十月八日【貴族院】

人ガ設備ヲ建設シ、ソレヲ政府ニ渡シ
タノハ讓渡トハ考ヘラレナイト、斯ウ
云フ解釋デゴザイマス
○有馬忠三郎君 趣旨ガサウダト、解
釋ハ請負ノ場合デモ所有權ノ讓渡ヲス
ル場合モアルシ、所有權ノ讓渡ニ依ラ
ナイ場合モアルノデアリマス、請負デ

モ御承知ノ通り、民法デハ請負人ガ自
ラ材料ヲ持ツテ、例ヘバ家ニ關係スレ
バ、自ラ請負人ガ家ヲ建ナル材料ヲ持
ツテ、サウシテ家ヲ建テルト云フヤウ
ナサウ云フ時分ニハ、家ガ完成スル迄
ハ請負人ガ所有權ヲ持ツテ居ル、サウ
シテ出来タツタ時分ニ譲渡スル、是モ
請負ノ契約デアル、其ノ場合ニハ買賣
ト一ツモ變ラナイ、ソレカラ又サウデ

ナイ、例へば政府ナラ政府ガ材料ヲ全部ヲ出シテ、サウシテ請負ハセル、請負ノ工賃ダケヲ拂フト云フ請負契約モアリマス、サウ云フ場合ニハ、出来上ツタ時分ニハ所有權ガ政府ニアルト云フコトガ普通デアリマセウ、ケレドモ初ノヤリナ場合ニハ家ガ出来上ル迄ハ全部完成スル瞬間ニハ請負人ノ所有ナノデアリマシテ、ソレヲ渡シタ時分ニ

賣買トハチツトモ變ラナイ解釋ト仰
 シヤルガ、ソナナ解釋ハドウセ通リハハ
 シナイノデアリマスカラ、今此處デソ
 ナナコトヲ仰シヤツテモ、最高裁判所
 ニ行ケバソナナコトハ通リハシナイ、
 御趣意ガサウナラ、何故サウ云フコト
 ヲ御書キニナラナイカ、此ノ點ハモウ
 議論ニナリマスカラ、ソレダケヲ承ツ
 テ置キマス、ソレカラモウ一ツ土地若

シクハ建物ノ讓渡ト云フコトガアリマ
スガ、是ハ土地、建物以外ノ不動産ハ
含マスノデアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 御答へ申上
ゲマス、御話ノヤウニ請負契約デゴザ

イマシテモ、是ガ實體ガ賣買ノヤウニ
ナツテ居レバ入ルモノト解釋シテ居リ
マス、又第二ノ土地、建物、定著物ヲ
含シテ居リマス

○有馬忠三郎君 ソレデハ今ノ御答辯
ニ付テモウツ承リマス、請負ノ場合
デモ、最後ノ完成シタ場合ニハ所有權
ハ之ニ含ムト仰シタル、サウデナケレ
バナラス等デス、附則ノ三號ニ、「舊
兵器等製造事業特別助成法第四條の規
定に基キ設備建設費の請求權」ソレカ
ラ四號ニ、「舊兵器等製造事業特別助
成法第五條の規定に基キ設備の買上代
金請求權及びこれに代るべき請求權」
トアリマスガ、サウシマス、今ノ所
有權ノ記録ダケデ、三號ノ場合ノ請求
權ニモ第六十條ノ適用ガアルト云フコ
トニナリマスネ、ソレデ宜シウゴザイ
マスカ

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザ
イマス

○有馬忠三郎君 能ク分リマシタ、ソ
レカラ土地、建物ト云フノデス
ガ、是ハ建物ノ中ニアル機械ノヤウナモ
ノハ含マナイノデアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 土地、建
物、定著物デゴザイマシテ、機械器具
ハ含ミマセ

○有馬忠三郎君 是ハドウシテ含マ
ナイノデアリマスカ、含マナイ理由
ハナニ...

○國務大臣(勝桂之助君) 此ノ程度ノ
モノガ請求權ノ對象ニナルカナ
ラヌカト云フコトニ付キマシテハ、此
ノ土地、建物、其ノ定著物、是ハ必ズ
其處ニアツタモノト云フコトガ確定シ
得ルノデアリマスルケレドモ、設備、機
械等ニナリマスルコト云フ、他ノ動産ト
同ジヤウニ轉換シ、又果シテ當初納入

シタモノト同一物デアリヤ否ヤト云フ
コトノ判定ノ困難ナル場合モアリマス
ノデ、是ハ入レナイコトニ致シマシ
タ、斯ウ云フヤウナドノ程度迄ヲ入レ
ルカ入レナイカト云フヤウナコトニ付
キマシテハ、遺憾ナガラ必ズシモ公平
ヲ維持スルコト云フコトガ困難ナル場合
アルノデアリマスルケレドモ、今申上
ゲマシタヤウナ理由デ一線ヲ畫シマシ
タヤウナ次第デアリマス

○有馬忠三郎君 ソレナラバ、「現狀
において」トアレバ、何處ヘ行ツタカ
分ラヌト云フヤウナコトハナイノデ、
分ラナケレバ、ソレデ宜イノデス、ソ
レダケノ理由デハ分ラナイ

○國務大臣(勝桂之助君) 此ノ物ノ變
換、又今申シマス課税ノ對象トシテ決
メルカドウカト云フ根本ノ問題ニ付キ
マシタ、是ハチヨット私ノ説明ノ困
難ノ點ノアルコトハ御了承スツテ居
ルト存ズルノデアリマスガ、只今申上
ゲマシタヤウナ理由デ斯様ニ備ヘマシ
タ次第デアリマス

○有馬忠三郎君 左様ナ御答辯ナラ
バ、マア是以上申上ゲテモ仕方ガナ
要約シテ申シマス、六十一條ハ鑛業
權ニ關スルコトデアリマスカラ、マア
六十條ト見テ、此ノ場合ノ外ハ詰リ補
償ヲ打切ツテ、サウシテソレノ對價
ノモノガアツテモ返サヌト云フ非常
ニ不都合ナ法律ナンデアリマスガ、此
ノ理由ヲ承リタイ、何故返サヌカ、六
十條、六十一條以外ノモノハアツテモ
返サナイ、斯ウ云フ亂暴ナ法律ハナイ
ノデス、日本デハ初メテデアリマス
シ、私モ寧ろニシテ外國デモナイダラ

ウト思ヒマス、ノミナラズ是ハ私ハ違
憲ソ法律ト思フノデアリマス、今日此
ノ法律ガ通過致シマシテモ、最高裁判
所ニ行ケバ恐ラクハ是ガ通ルカ通ラヌ
カ、違憲ノ法律トシテ槍玉ニ擧ガル第
一ノモノデヤナイカト云フ疑ヒガ濃厚
デアリマス、御承知ノ通りニ憲法ニハ
財産權ハ之ヲ尊重スルコト云フ規定ノ明文
ガアル、現行ノ憲法ニハ無論所有權ノ
不可侵ノ原則ト云フノガ御承知ノ通り
アル、今ハ現行憲法下デアリマス、所
有權不可侵ト云フ原則デス、新憲法デ
モ所有權ハ之ヲ尊重スル、唯公益ノ場
合ニハ法律ノ制限ヲ受ケルコト云フ別ノ
規定ガ十二條ニ在ルノデス、是ハ立法
技術デ課税ヲ請求權ト云フヤウナ言
葉ヲ用ヒテ居リマスルケレドモ、其ノ精
神タルヤ、一口ニ言ヘバ物ヲ買ツテ置
イテ代金ヲ拂ハヌデ物ヲ返サヌト云フ
コトナシデス、政府ノヤルコトナシ
デス、是ハ公法關係デモ何デモアリハシ
ナイ、賣買若シクハ請負契約、普通ノ
民法ニ支配セラルベキ關係ナシデス、
ソレヲ代金ヲ拂ハヌデ以テ物ハアツテ
モ返サナイシヤト云フ法律ナンデス、
サウ云フコトハ憲法ニ所謂財産權ノ尊
重デハナイ、デアリマスルカラ、其ノ
虞ガアルコトデアリマスシ、又是ハ政
府ノ他ノ政策ニモ關スルコトデ、國民
ニ取ツテハ非常ニ惡イ法律デ、斯ナ
コトヲヤレバ、貯金ヲ獎勵スルコトカ、
何トカ言ツテモ、國民ガ政府ヲ信用ス
ルコトハドウカト思フ、ソレ程ノコト
デアリマスカラ、斯ナ重大ナモノデ
アリマスカラ、此ノ返還セヌト云フコ
トニハ確固タル理由ガナケレバナラ
ヌ、今ノ國務大臣ノ御説明以外ニモ
ウ少シ私ハ理由ガアルト思フ、此ノ理

由ヲ承リタイ

○國務大臣(勝桂之助君) 提案ノ理由
ニモ申上ゲマシタ通り、此ノ補償打切
リヲ斯様ナ課税ノ方法ニ依リマスル時
ニハ、公平ヲ失スル憾ミアルコト
ハ、總括的ニ申上ゲテ置キマシタ、
此ノ戰時補償ノ打切りヲ昨年ノ八
月十五日ノ線デ其ノ以前ニ支拂ハナ
カツタモノニ付キマシテハ、一切ヲ
打切ルト云フ建前ニ致シマシタ結果、
斯様ナコトガ出來ルノデアリマスルケ
レドモ、是ハ已ムヲ得ナイコトト存ジ
テ居リマス

○有馬忠三郎君 其ノ點ノ國務大臣ト
シテノ御答辯ハ是以上申上ゲマセス、
私ハ政府委員ガ持ツテ居ル理由ガマダ
アルト思フ、例ヘバ是非非常ニ面倒
イ、小サイモノハ口ガ非常ニ多イ、斯
ナモノヲ一々ヤツテ居ツタンデヤ迎
モタマラスト云フヤウナ、昨日モ誰方
カ仰シマツタコトガアルヤウニ記憶シ
マスガ、兎角面倒臭ガルト云フヤウナ
コトモ想像出來ルノデアリマス、若
シ金額ガ非常ニ上ルト云フヤウナコト
ガアレバ、今日ノ國家財政上、斯クノ
如キコトモ已ムヲ得ヌト云フコトモア
ルカモ知レヌ、サウデナケレバ是其
ノ官吏ノ怠慢癡カラ來ルノデアリマス
ルカラ、此ノ通り看過スルコトハ出來
ナイ、國務大臣ノ御答辯ハ諒ト致シマ
シタガ、此ノ以外ニ私ハ出來テモ、ヤ
レルノニシナイノデヤナイカト云フ疑
ガアルカラ御尋ヲスルノデアリマス、
特ニ政府委員ニ伺ヒマス

○國務大臣(勝桂之助君) 此ノ問題ニ
付キマシテハ、政府内部デモ色々細カイ
研究ヲ致シマシテ有ラヌル色々ナ場合
ヲ考ヘマシテ、出來ルだけ公平ニト云
フコトデ考ヘタノデアリマスルケレド

モ、別ニ私ガ申上ゲマシタヤウナ理由
デアア色々ナ事情モアリマスルガ、左
様ニ決定致シマシタ譯デ、別ニ手數ノ
煩瑣、ソレ等ノ事務的ノ理由デ斯様ニ
決シタ譯デハ毛頭ゴザイマセヌノデア
リマス、左様御了承願ヒタウゴザイ
マス

○有馬忠三郎君 ソレデハ宜シウゴザ
イマス

○板谷順助君 委員長、銀行局長來テ
居リマスカ

○委員(三土忠造君) 來テ居リマス
シタイト思ヒマス、此ノ金融再建整備
法案ノ中ニ整理負債ト指定シ負債ト云
フ文字ガアリマスガ、其ノ區別、ソレ
カラ大藏大臣ガ指定スルコト云フ言葉ガ
使ハレテ居ルノデアリマスルガ、是ハ
一體ドウ云フ範圍ニ於テ使ハレルノカ
ト云フコトノ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(福田赳夫君) 此ノ整理債
務ト云フノハ、法案ノ第十二條ノ御覽
戴キタイト思ヒマスガ、ソコデ此ノ第
十二條ノ、第二項ニ「前項ノ整理債務
とは、舊勸定に關する債務(責任準備
金及び支拂備金に關する債務を含む)
のうち、主務大臣ノ指定する債務(以
下指定債務といふ)以外のもをい
ふ。」ト斯様ニ規定ニ依リマシテ整理債
務ト指定債務ト云フモノガ金融機關ノ
舊勸定ノ債務ノ中ニ分割サレルノデア
リマス、而シテ此ノ指定債務ト申シマス
ハ、是ハ舊勸定ニ置キマシタ資産ノ
中、優先的ニ支拂フ可能ナラシメルト
云フ種類ノモノヲ指定セムトスルモノ
デアリマシテ、ソレ以外ノモノヲ以テ
整理債務ト致ス、サウシテ此ノ整理債
務ト云フモノハ指定債務ニ遅レマシテ
辨濟サレル、逆ニ申シマスルコト、債務

モ、別ニ私ガ申上ゲマシタヤウナ理由
デアア色々ナ事情モアリマスルガ、左
様ニ決定致シマシタ譯デ、別ニ手數ノ
煩瑣、ソレ等ノ事務的ノ理由デ斯様ニ
決シタ譯デハ毛頭ゴザイマセヌノデア
リマス、左様御了承願ヒタウゴザイ
マス

整理ノ場合ニ於キマシテ先ツ整理債務、ヤナイノデハナイデスカ、例ヘバデノ方ハ整理サレル、サウシテ資産ニ餘裕ノアル場合ニ於キマシテハ、整理債務ト云フモノハ残ツテ來ルトス様ナ關係ニナルノデアリマス、而シテ主務大臣ノ指定スル債務ト申シマスノハ、只今考ヘテ居リマスルモノハ公租公課、ソレカラ舊勘定ノ管理保全ニ要スル費用、ソレカラ新勘定、又新銀行ニ對スル所ノ債務、左様サモノヲ指定債務トシテ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ種類ノ債務ハ一般ノ預貯金等ノ即チ整理債務ヨリハ優先シテ支拂ヲ實行シヨウト、斯様ナ趣旨デアリマス。

○板谷順助君 サウスト、今御話ノ整理債務ノ中ニハ第二封鎖金ヲ含シテ居ルト云ノ意味ニ解スルノデスカ
○政府委員(福田起夫君) 是ハ總テ第二封鎖預金ノ對象トスルモノデアリマス、第一封鎖預金ニアリマシテハ、總テ是ハ新勘定ノ方ニ行ツテ居リマス、第二封鎖預金ニ於キマシテモ、場合ニ依リマシテハ整理債務ガ出テ來ル、斯様ナ規定デアリマス
○板谷順助君 今御話ノ指定負債ノ債權者ト云フモノノ範圍ガ私能ク分ラヌシ、此ノ二十四條ノ法案ニ依リマスルト云フト、先ヅ第一ニ積立金ヲ充當シテ株主ノ九割、會社ニ對スル所ノ百萬圓ノ五割、十萬圓ノ三割、其ノ次ニ法人ノ預金ノ殘額、更ニ又株式ノ一割、此處デモ株式ハ空ツボデ返サヌ、其ノ後ニ於テ、尙殘ツタ場合ニ於テ、整理債務ノ債權者、所謂今御話ノ第二封鎖預金、ソコデ始メテ指定債務ノ債權者ガ其ノ義務ヲ負フ、其ノ後ニ政府補償ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、一體御話ノ指定債務ノ範圍ト云フモノハ今アナタガ御話ノ程度デ

ノデアリマス、ソレデ指定債務ノ中ニ於キマシテモ、只今考ヘテ居リマスルノハ、新銀行ニ對スル債務、是ハ最後迄確保スルノデアリマス、是ダケハ指定債務ノ中デ格別ノモノデアリマシテ、是ハ他ノ整理債務ガ先ヅ飛ビ、指定債務ガ次ニ飛ビト云フ後ニ於キマシテモ是ダケハ確保スル、サウ致シマスカト云フト、結局舊勘定ガ整理ノ最終段階ニナリマシテ、新勘定カラ舊勘定ニ對スル貸シガ殘ル、即チ舊勘定ノ新勘定ニ對スル債務ダケハ殘ツテ居ル、此ノ殘ツタ額ニ對シマシテ政府ハ國家補償ヲ致ス、左様ナコトニナリマスト新勘定ハ八月十一日現在ノ勘定ニ於キマシテ停止セラレ、資産負債見合ノ所ノ勘定ニナルノデアリマス、之ニ依リマシテ新勘定ノ自由預金、第一封鎖預金、是ハ總テ確保サレル、斯様ナ仕組ニナツテ居ルノデアリマス、只今大問題ニナルト仰シタル點ハ左様ナ新銀行ニ對スル債務ガドウナルカト云フ點ニ觸レテノコトダラウト思フノデアリマスガ、此ノ仕組ニ依リマシテ新勘定ノ預金ト云フモノハ絕對ニ確保サレル、斯様ナ譯デアリマス
○板谷順助君 我ハ何モ新銀行ニ對スル所ノコトヲ聽イテ居ルノデアリマセ、要スルニ此ノ二十四條ノ法案カラ行キマスルト云フト、最後ニ指定債務ノ債權者ハ之ヲ負擔スルト云フコトガ書イテアル、今此ノ指定債務ト云フモノハ公租公課ノヤウナコトヲアナタハ言ツテ居ルケレドモ、兎ニ角之ヲ負擔スルト云フ責任ガ此ノ法案ニ書イテアル、ダカラ私ハ恐ラクハ今申上ゲマス、日本銀行或ハ中央統合銀行又ハ農林中央金庫ノ如キモノノ此ノ貸付

金ガ相當ナル、是ハ殆ド新勘定ニ廻ツテ居ルノデ、其ノ金ヲ國民一般ノ犧牲ニシテ、ナゼソレヲ此ノ金融機關整備法案ニ織込マスカト、斯ウ云フノデス、ドウ云フ理由デ織込マスカ
○政府委員(福田起夫君) 今回ノ金融機關ノ勘定ヲ分離スルニ當リマシテ、新勘定、舊勘定ヲ分ケルニ當リマシテ、此ノ金融機關間ノ債權債務ト云フモノハ特別ノ扱ヲ致シマシテ、總テ銀行「アローバ」ノ勘定ニ戻シタ形ニ於キマシテ整理ヲシテ見タイ、斯様ナコトヲ考ヘタ譯デアリマス、ト申シマスノハ、是ハ金融機關ノ同業者ノ預リ金ト云フモノハ、是ハ業務運轉上ノモノデアリマシテ、出入リモ非常ニ多イノデアリマス、ソコデ是ハ金融機關全體ト致シテ見マシタ、大體一體トシテ見テ宜シインデヤナイカ、ソレカラモウ一ツハ、左様ナ性質ノモノデアリマスルカラ、一應其ノ銀行ニ引戻シテ計算スルノガ適當デヤナイカト云フコトデ、是ハ特別ノ扱ヒト致シマシテ、總テ銀行間ノ勘定ト云フモノハ新勘定ニシテ行ク、債權モ債務モ新勘定ニ持ツテ行クト云フ建前ヲ執ツタデアリマス、其ノ結果場合ニ依リマシテ多少ノ負擔ト云フモノガ、一般ノ債權者ニ行クト云フコトモアラワカト思フノデアリマスガ、此ノ仕組ニ依リマシテ、マア出來タ所ノ損失ト云フモノハ、國家ニ於テ補償スルト云フヤウナ點トモ併セ考ヘマシテ、先ヅ已ムヲ得ザル措置デハナイカト、斯様ニ存ジテ居リマス
○板谷順助君 アナタノ答辯ハ答辯ニナツテ居リマセス、私ノ御尋スルノハ、新勘定ニ廻シタノハ政府ノ機關ダ、政府ノ機關ノ金ヲ殆ド全部新勘定ニ廻シテ居ル、而シテ此ノ金融機關ノ

整備ニ當ツテ、御承知ノ通り私ガ今申上ゲマシタル通り、或ハ株主ニ對シテモ預金者ニ對シテモ、ソレヲ皆負擔ヲサシテ、其ノ後デヤラウト云ツタツテモウ空ツボニナツテ、負債ヲ充當スルト云フヤウナ場合ハ、恐ラクハ私ハ起キナイト思フ、先ヅ第一ニ政府ガ犧牲ヲ拂フガ當然デヤナイカ、アナタノ答辯ハ答辯ニナツテ居リマセス、賸國務大臣ニ之ニ對スルハツキリシタ御答辯ヲ願ヒマス
○國務大臣(藤井之助君) 結局政府ノ補償シテ居リマスルモノハ、預金者ニ對シマシテハ、新勘定ニ廻シマスル自由預金或ハ第一封鎖預金、此ノ分ハ絕對ニ政府ガ保證スルノデアリマシテ、其ノ點ハ最後ノ金融機關ノ決済ノ際ニ金融機關ガ支拂ノ出來マセス場合ハ、其ノ金額ハ政府ガ百萬圓ノ範圍内ニ於キマシテ之ヲ補填スル、斯ウ云フ點ニ於キマシテ、最後ノ點ハ政府ガ補償スル譯デアリマス、又保險ニ付キマシテモ一萬圓迄ノ保險金ヲ支拂ニ付キマシテハ、政府ガ最後迄之ヲ保證スル、左様ニ相成ツテ居リマスルノデ、其ノ點ニ付ナハ、國民、預金者、被保險者ニ對シマシテ不安ハ懷カセナイヤウニ致シテ居ル譯デアリマシテ、其ノ間ノ色々計算ノ方法ハ探リマスルケレドモ、結果ニ於キマシテハ政府ハ補償致シマシテ、今ノ新勘定及ビ第一封鎖預金、是ハ絕對ニ保護シテ居ルンダ、斯様ニ御了承願ヒタイト思ヒマス
○板谷順助君 我ノ御尋シテ居ルノハサウ云フ意味デハアリマセス、要スルニデスネ、要スルニ其ノ政府ノ機關ガ先ヅ以テ相當ノ犧牲ヲ拂ハルベキデ、然ルニ國民ニ有ラニ犧牲ヲ拂ハシ

整備ニ當ツテ、御承知ノ通り私ガ今申上ゲマシタル通り、或ハ株主ニ對シテモ預金者ニ對シテモ、ソレヲ皆負擔ヲサシテ、其ノ後デヤラウト云ツタツテモウ空ツボニナツテ、負債ヲ充當スルト云フヤウナ場合ハ、恐ラクハ私ハ起キナイト思フ、先ヅ第一ニ政府ガ犧牲ヲ拂フガ當然デヤナイカ、アナタノ答辯ハ答辯ニナツテ居リマセス、賸國務大臣ニ之ニ對スルハツキリシタ御答辯ヲ願ヒマス
○國務大臣(藤井之助君) 結局政府ノ補償シテ居リマスルモノハ、預金者ニ對シマシテハ、新勘定ニ廻シマスル自由預金或ハ第一封鎖預金、此ノ分ハ絕對ニ政府ガ保證スルノデアリマシテ、其ノ點ハ最後ノ金融機關ノ決済ノ際ニ金融機關ガ支拂ノ出來マセス場合ハ、其ノ金額ハ政府ガ百萬圓ノ範圍内ニ於キマシテ之ヲ補填スル、斯ウ云フ點ニ於キマシテ、最後ノ點ハ政府ガ補償スル譯デアリマス、又保險ニ付キマシテモ一萬圓迄ノ保險金ヲ支拂ニ付キマシテハ、政府ガ最後迄之ヲ保證スル、左様ニ相成ツテ居リマスルノデ、其ノ點ニ付ナハ、國民、預金者、被保險者ニ對シマシテ不安ハ懷カセナイヤウニ致シテ居ル譯デアリマシテ、其ノ間ノ色々計算ノ方法ハ探リマスルケレドモ、結果ニ於キマシテハ政府ハ補償致シマシテ、今ノ新勘定及ビ第一封鎖預金、是ハ絕對ニ保護シテ居ルンダ、斯様ニ御了承願ヒタイト思ヒマス
○板谷順助君 我ノ御尋シテ居ルノハサウ云フ意味デハアリマセス、要スルニデスネ、要スルニ其ノ政府ノ機關ガ先ヅ以テ相當ノ犧牲ヲ拂ハルベキデ、然ルニ國民ニ有ラニ犧牲ヲ拂ハシ

整備ニ當ツテ、御承知ノ通り私ガ今申上ゲマシタル通り、或ハ株主ニ對シテモ預金者ニ對シテモ、ソレヲ皆負擔ヲサシテ、其ノ後デヤラウト云ツタツテモウ空ツボニナツテ、負債ヲ充當スルト云フヤウナ場合ハ、恐ラクハ私ハ起キナイト思フ、先ヅ第一ニ政府ガ犧牲ヲ拂フガ當然デヤナイカ、アナタノ答辯ハ答辯ニナツテ居リマセス、賸國務大臣ニ之ニ對スルハツキリシタ御答辯ヲ願ヒマス
○國務大臣(藤井之助君) 結局政府ノ補償シテ居リマスルモノハ、預金者ニ對シマシテハ、新勘定ニ廻シマスル自由預金或ハ第一封鎖預金、此ノ分ハ絕對ニ政府ガ保證スルノデアリマシテ、其ノ點ハ最後ノ金融機關ノ決済ノ際ニ金融機關ガ支拂ノ出來マセス場合ハ、其ノ金額ハ政府ガ百萬圓ノ範圍内ニ於キマシテ之ヲ補填スル、斯ウ云フ點ニ於キマシテ、最後ノ點ハ政府ガ補償スル譯デアリマス、又保險ニ付キマシテモ一萬圓迄ノ保險金ヲ支拂ニ付キマシテハ、政府ガ最後迄之ヲ保證スル、左様ニ相成ツテ居リマスルノデ、其ノ點ニ付ナハ、國民、預金者、被保險者ニ對シマシテ不安ハ懷カセナイヤウニ致シテ居ル譯デアリマシテ、其ノ間ノ色々計算ノ方法ハ探リマスルケレドモ、結果ニ於キマシテハ政府ハ補償致シマシテ、今ノ新勘定及ビ第一封鎖預金、是ハ絕對ニ保護シテ居ルンダ、斯様ニ御了承願ヒタイト思ヒマス
○板谷順助君 我ノ御尋シテ居ルノハサウ云フ意味デハアリマセス、要スルニデスネ、要スルニ其ノ政府ノ機關ガ先ヅ以テ相當ノ犧牲ヲ拂ハルベキデ、然ルニ國民ニ有ラニ犧牲ヲ拂ハシ

テ、其ノ後デ政府ガ補償スル、或ハ新
勘定ニ廻ツタ金融機關ガ之ヲ負擔スル
ト云ウテモ、先ツ第一ニ政府ガ優先的
ニヤルベキモノデアル、國民ニ多大ノ
迷惑ヲ掛ケテ、其ノ後デ政府ガ尻拭ヒ
ヲスルト云フコトハイカナイ、今日國
家非常ノ場合ニ於テ、國民ハ財産稅ヲ
取ラレテモ、補償ヲ打切ラレテモ、或
程度迄忍ビ居ル、一體政府ガ何ノ爲
ニ自分ガ責任ヲ取ラヌカト云フ、私ハ
斯ウ云フ意味デ御尋シテ居ル

○國務大臣(陸桂之助君) 全體ノ今同
ノ補償打切りノ課稅方法ニアリマス其
ノ根本ノ考ヘ方ノ問題デアリマシテ、
誠ニ此ノ犧牲ヲバ色々、國民ノ債權
者、株主等ニ掛ケルコトハ甚ダ忍ビナ
イ所デアリマスレドモ、結局此ノ
戰爭ニ起因シマシタ國家ノ莫大ノ財
政上ノ缺陷、是ヲ救ヒ、又企業ガ戰
争ニ基イテ出來マシタ所謂製鐵資本ヲ
整理致シマシテ立テ直シマスニハ、
先ツ企業、又金融機關、又サウ云フ直
接ノ金融機關、企業ノ株主バカリデア
リマセデ、其ノ債權者ニ先ツ此ノ戰
争カラ齎サレタ負擔ヲバ忍ビ戴キマ
シテ、最後ノ結果ヲバ政府ガ保證ス
ル、斯様ノ建前ニスルノガ宜シイノ
ダ、外ニモ色々考ヘ方モゴザイマス、
今御話ノヤウニ、先ツ政府ガ先ニ自分
デ斯ウ云フヤウナ損失ニ付テノ負擔ヲ
ナシテ、後バ株主及債權者等ニ行
クノガ當然ダ、サウ云フ考ヘ方モ出ル
ノデアリマスレドモ、是モ總ニ提
案ノ理由ニ述ベマシタヤウナ色々ノ研
究ノ結果、斯様ノ方法ニ依ルノハ已ム
ヲ得ナイシ、又之ニ依ルノガ最善デア
ルト、斯様ニ結論ガ到達シマシテ成リ
マシタ譯デ、考ヘ方ニ依リマスレバ御
説ノヤウナ風ニ行ク道モアツタノデア

リマスルケレドモ、政府ハ其ノ事ヲ取
リマセデ、只今形付ケラレタヤウナ
一聯ノ斯ウ云フ仕組デ行キタイ、行ク
ノダ、左様ニ相定マリマシタ次第デア
リマス、御了承願ヒタイノデアリマス
○板谷順助君 私が御尋シテ居ルノ
ハ、政府ノ補償ハ最後デモ宜シイ、宜
シイガダ、例ヘバ日本銀行ノ三百五十
億或ハ其ノ他統合銀行、農林申
央金庫ノ如キモノハ、此ノ貸付
金ニ對スルデスナ、之ヲ優先的
ニ取扱フノガ甚ダ不都合ダト斯ウ云フ
ノデス、之ヲ何故デス、何故金融機關
ノ此ノ方面ニ織リ込メテ居ニデス、俱
ニ此ノ苦シミヲ分ツ、所謂程度迄責
任ヲ負フト云フ其ノ態度ニ出ナイカト
云フ、之ヲ質問シテ居ルノデス、何モ
別ニ今ブナタノ御話ノヤウニ、國家ノ
保證ハ成ル程整理シテ見ナケレバ分ラ
ス、百億ト云フタコトコト恐ラクハ是
ハドウ云フ程度ニナルカ分ラス、私ハ
斯シナコトデ今一萬五千圓ノ第一封鎖
ヲ保證スルカ、或ハ又戰災ノ五萬圓
ヲ保證スルカ、殊ニ重大問題ハ郵便
貯金デアリマス、是等ニ對スル、是ハ
百億ヲ超エチヤイカスト云フコトデア
ルガ、果シテ出來ルカドウカ、私ハ非
常ニ不安ニ思フテ居ル、ソレハ兎ニ角
トシテ、今申上ゲタノハ政府ガ強制的
ニ貸付サシタ所ノ日本銀行其ノ他ノ
金融機關、政府ノ金融機關、之ヲ總テ
新勘定ニ廻シテ、サウシテ國民ニ非常
ナ重負負擔サセルト云フノハ不都合
デヤナイカ、斯ウ云フノデス、是ハ出
來ヌ譯ハナイノデス

○政府委員(福田進夫君) 政府機關ト
申シマシテ色々アルノデアリマスル
ガ、其ノ中デ日本銀行ダケハ今回ノ整
理ニ當リマシテハ、仰シヤル通り特別

ノ扱ヲ致シタノデアリマス、而シテ日
本銀行ノ貸金ト云フモノハ新勘定ニ於
テ計上スルト云フ風ナ取扱ヲ致シタノ
デアリマスガ、結局此ノ日本銀行ト云
フモノモ、今日ノ措置其ノ他色々ノ事
情ニ依リマシテ、相當ノ打撃ヲ受ケテ
來ル模様デアリマス、而シテ此ノ日本
銀行ノ左様ニ出ル所ノ赤字ト云フモノ
ハ、結局廻リ廻リマシテ國家ノ負擔ニ
ナラザルヲ得ナイモノデアリマシテ、
今回ノ一聯ノ措置ノ考ヘ方トモ關聯致
シマシテ、日本銀行ノ一般ノ貸出ト云
フモノハ新勘定デ之ヲ整理スル、而シ
テ日本銀行ノ貸出ヲ確保スルコト云フ建
前ヲ採ツタノデアリマス、併シナガラ御
説ノ通り、左様ナ措置ハ執リマシタノ
デスガ、日本銀行ガ此ノ重大ナ經濟界
ノ變轉期ニ於キマシテ犧牲ヲ一切分擔
シナイ、斯ウ云フ建前ヲ採ルノモ極メ
テ不適當ナ措置ダトハ思フノデアリマ
ス、左様ナ見地ニ於キマシテ、日本銀
行ニ於キマシテモ今回整理ニ付キマシ
テ應分ノ分擔ヲシ、責任ヲ擔フ、斯様
ナ措置ハ是非執リタイ、斯様ニ考ヘテ
居リマス

○板谷順助君 我ハ今ノ答辯ニハ満足
致シマセヌ、何レ大藏大臣ガ御出席ニ
ナリマシタナラバ、直接御尋シタイト
思ヒマス
○小山虎吉君 委員長、私ハ此ノ問題
ニ關聯シテチヨット御伺シタイ、大變
重要ナンデスカラ、如何デゴザイマス
カ
○委員長(三土忠造君) 關聯ハ成ルベ
ク止メテ行カウト云フノデス、議事ノ
進行デ……
○小山虎吉君 是ハ私ハ板谷委員ト意
見ヲ同ジウスルノデ、非常ニ重大ナコ

トト思フノデ、チヨット聴キタイと思
フノデアリマス
○委員長(三土忠造君) イヤ、大藏大
臣ガ來タラオヤリニナツタラドウデス
カ、其ノ時……ソレデハ片倉兼太郎君
○片倉兼太郎君 我ハ本委員會ニ委託
シタリマシタ法案ニ付キマシテ、本會
議最ニ委員會、又昨日懇談會ニ臨ン
デ、總理及ビ關係大臣カラ御説明ガア
リマシテ、御苦心ノ點モ能ク分ツテ、
敬意ヲ表スル次第デアリマスガ、此ノ
總テノ法案ガ不統一ト申シマスガ、亂
暴ト申シマスガ、國民ニ取リ不公平デ
アリ矛盾デアツテ、幾多ノ批判ハアリ
セウシ、又法案ニ付テモ幾多コトガ
アルコトトハ存ジマスルガ、私ハ敢テ
我が國トシテ已ムヲ得ザルコトデアリ
マスノデ、此ノ法案ニ對スル所ノ批判ト
云フヤウナコトハ何ハナイ積リデ居
リマス、唯本案ノ施行ニ當リマシテ、國
民ニ對シテ公平深切ニ取扱ハナケレバ
ナラヌコトハ、私ガ申上ゲル迄モナ
ク、當然デアルコトト存ジマスルガ、
唯私ガ是カラ伺ヒタイト思フコトハ、
各方面ノ實際ノ取扱ツテ居ル者ガ、解
釋ガ皆違ツテ居ルヤウデアリマス、或
ハ大藏本省デアルトカ、或ハ稅務署デ
アルトカ、日銀當局デアルトカ云フモ
ノガ、悉ク其ノ御話ガ多少ヅツ意味ガ
違ツテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリ
マス、私ハ直接デアリマセヌカラ分リ
マセヌガ、其ノ取扱ツテ居ル實際ノ者
カラ見ルト、幾ラカツツ違ツテ居ルヤ
ウデ、現在整理ニ當ツテ居ル者ト致シ
マシテハ、非常ニ困ルヤウナコトガ
多イヤウニ存ズルノデアリマス、其
ノコトニ付テハ私ハ出來ルダケ各關
係ノ所デ御打合せ願ツテ、サウシテ

御決定ニナツテ、其ノコトヲ爲サラナ
イヤウニシテ、或ハ「ラヂオ」デアルト
カ、新聞デアルトカ云フモノニ依ツテ
國民ニ知ラシテ、取扱ヲスル者ガ其ノ
コトガドウ云フコトデアラウトモ、仕
事ノ出來ルヤウニ私ハサシテ戴キタイ
ト思フコトヲ御願スルノデアリマス、
又各新聞ノ方モサウデアリマス、我ガ
國民ノ一人トシテ此ノ補償打切其ノ他
ノ法案ガ國民ニ非常ナ關係ヲ及シ、又
折角取扱ヒニナツタコトガ、萬一考ガ
違ツテ居ルヤウナコトガアレバ再度ヤ
リ直サナケレバナラヌト云フ矛盾モ起
ルノデアリマスカラ、ドウカ御協力ヲ
願ツテ各新聞トシテモ御打合せヲ願
フ國民ニ早ク知ラセル、サウシテ正確
ナコトヲ知ラセルヤウニ御配慮ヲ願
フ置キタイト思フノデアリマス、私ハ
此ノ法案ニ對スル取扱デ既ニ御發表ニ
ナツテ居ルコトモアルカハ存ジマセヌ
ガ、私竊聞ニシテマダ存ジナイヤウナ
コトヲ二三伺ツテ、サウシテ大臣ノ御
説明デナクモ、政府委員ノ御説明デ
取扱ニ當ツテ居ル方ニ御伺フ致シタイ
ト存ズル次第デアリマス、第一ハ企業
再建整備法案ニ付デアリマスガ、戰
時補償特別稅ヲ課セラレタル損失額ト
云フヤウナコトノ中ニ、在外資産トカ
或ハ戰時補償ノ打切りニ依リマス損失
ガ僅少ナ場合ニ於テ、會社ノ存續ガ容
易デアル、樂ニ出來ルヤウナ場合ト雖
モ、之ヲ解散スルコトニ差支ガナイノ
デアリマセウカ、又解散サスルト云フ
コトニ付テハ許可ノ必要ガアルモノ
デアリマセウカ、之ヲ一ツ伺ヒタイノ
デアリマス、ソレカラ第二ハ特別損失
ノ「カバ」デアリマスガ、在外資産ト
カ戰時補償特別稅トカ、其ノ他ノ損失
ニ依リ生ズル場合ニ於テ、第一ニ積立

第四部第三十一類 戰時補償特別措置法案特別委員會議事速記第二號 昭和二十一年十月八日【貴族院】

金ヲ以テ充ツルト云フコトデアリマス、其ノ次ハ資産ノ見積ニ依ツテ之ヲ許可ヲシ、又資本金ノ十分ノ九ヲ償却シテ償還額ノ十分ノ四、ソレカラ資本金ノ十分ノ一ト云フコトデ、其ノ次ハ償還額ノ十分ノ三ト云フコトデ、之ヲ「カバ」スルコトニナツテ居リマスガ、其ノ當期ノ利益金ニ付テハ如何ナルコトヲ望ムコトガ出來ルノデアリマセウカ、或ハ是ハ何過目ニ「カバ」ラヌル時ニ、當期ノ利益金ヲ加ヘルモノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、從ツテ此ノ利益金ハ御承知ノ通り平素デアリマスレバ當然税金モ付クノデアリマス、利益金トシテ計上サレル以上ハ其ノ利益金トシテ之ヲ賦課スルモノデアリマセウカ、或ハ税金ハ賦課シナイデ「カバ」スルモノニ對シテハ普通ノ積立金、其ノ他所有物ノ見積ト云フヤウナモノト同ジコトニスルモノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマセウカ、承ル所ニ依リマスレバ在外資産ニ充當スル爲ニ本期ノ利益金ヲ使ツタ場合ハ税金ハ課カラナイノダ、併シ戰時補償ニ對スル、或ハ特別預金ニ對スル所ノモノニ充當シタ場合ハ税金ヲ賦課スルコト云フヤウナコト市中デハ申シテ居リマスガ、之ニ對スル御答ヲ願ヒタイ、第三ハ損失ニ對スル補償順序ノ中デ資本金ノ十分ノ九ト云フノガアリマス、是ハ公稱資本金ヲ御指シニナルノデアリマスガ、或ハ之ニ對シテハ拂込ノ資本金ヲ指サレルノデアリマスガ、恐ラク公稱資本金ヲ指サレルコトト思ヒマスガ、サウ云フコトニナリマス、是ガ三番目ノ詰リ補償順序デアリマス、サウスレバ場合ニ依レバ未拂込ノ徴收シナケレバナラヌ場合ニ於キマシテモ、未拂込ガ満足ニ徴

收出來ナイヤウナ場合ニハ、恐ラク整備計畫ト云フモノガ減々々々ニナツテシマフト思フノデアリマス、之ニ對スル政府ノ所感ハ如何デアリマセウカ、ソレヲ一ツ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ在外地ニ於ケル銀行其ノ借入ハドウ云フ取扱ラスルカ、矢張り内地銀行ト同ジコトニ計上シテ、整備計畫ヲ立テテモ宜イデアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイ、其ノ次ハ或ハ是ハ今度ハ財産稅迄參リマスガ、

○委員長(三土忠造君) 片倉君、其ノ邊デ一應打切ツタラ如何デスカ、政府委員、

○政府委員(三木秋義君) 只今ノ第一點ノ御質問デゴザイマスガ、資産内容ノ相當良イ會社ガ解散ラシテモ宜イカドウカト云フ點デアリマスガ、解散スルカ在續スルカハ、専ラ整備計畫ノ中デ決メルノデアリマスケレドモ、其ノ場合ニ於テ、事業ノ内容其ノ他カラ考ヘテ、解散ノ方ガ宜イト御考ニナリマシタナラバ、解散ノ整備計畫ヲ立テテ御認可ヲ申請サレテ一向差支ナイト思ヒマス、唯其ノ場合ニ於テ、日本ノ國ノ爲ニドウシテモ殘サナケレバナラヌ企業デアリマシタ場合ハ、政府側ニ於テ之ヲ認可シナイ場合ガアルカモ知レマセウ、其ノ點ヲ御了承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第二點ノ利益金ノ關係デアリマスガ、是ハ當然當期ノ利益金ガ一番最初ノ損失負擔ラシテ戴クト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ利益金ハ一切税金ヲ負擔シタモノガ賦課サレルカト云フ點デアリマスガ、一應税金ヲ差引イタル額デ計算シテ戴クトニナリマス、尙税金ノ點ニ付キマシテハ大藏省カラ主税局長ガ後デ詳細御説明申上ゲマス、第三點ノ資本金ノ關係

デアリマスガ、十分ノ九ヲ負擔スルコトニナツテ居リマスガ、是ハ當然公稱資本金ヲ指ス譯デアリマシテ、未拂込ハ此ノ中ニ入ツテ居リマス、從ツテ此ノ場合ニ、未拂込ヲ事實徴收スルコトガ必要ナ場合ガ起キルデヤナイカ、ソレガ整備計畫ニ影響シナイカト云フ御質問ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、我々誠ニ仰ツシヤル通りデアリマス、我々モ此ノ未拂込徴收ノ點ニ付テ、今後整備計畫ヲ實行致シマス場合ニ、非常ニ大キナ問題ヲ起スデアラウ、又非常ニ困難ガアルデアラウト云フコトヲ豫測シテ居リマスケレドモ、唯之ヲ出來ルダケ圓滑ニヤツテ參リタイト考ヘマシテ、商法ニ對スル特例ヲ設ケルトカ、或ハ昨日閣議大臣カラ御話ガアリマシタヤウニ、株式ノ引受機關ヲ設ケルトカ、其ノ他ノ合理的ナ具體的ノ措置ヲ講ジテ、出來ルダケ之ヲ早期ニ解決シテ參リタイト考ヘテ居リマス、第四點ニ付キマシテハ松尾政府委員ヨリ御答ヘ致シマス

○政府委員(松尾金藏君) 最後ノ御質問ノ點ハ在外地銀行カラノ借入金ヲ今度ノ解散ノ場合ニドウ扱フカト云フ御質問ト承リマシタガ、此ノ點ハ解散ノ場合ニハ、在外資産ニ付テノ損失額ノドウ云フ風ニ計上スルカト云フ點ニ係リテ來ルノデアリマス、此ノ計算ノ仕方ハ、在外資産ニ付キマシテ、其ノ債務ト債權ヲ「プラス・マイナス」ラ差引イテ、損失額ヲ計上スルカ、或ハサウシナイデ在外資産ニ付テ、「プラス」ハ「プラス」トシテ掲ゲ、「マイナス」ハ「マイナス」トシテ掲ゲ、二方ニ掲ゲルヤウナ損益計算ノ方法ヲ取ルカト云フ點ガ尙問題ガゴザイマスノデ、今度此ノ施行命令ヲ出シマス迄更ニ研究ラシテ明

確ニ致シタイト存ジマス

○片倉兼太郎君 今ノ御質問申上ゲマシタ中ノ第二ノ問題デアリマスガ、是迄損失額ヲ「カバ」スル爲ニ當期利益金ノ税金ヲ御取リニナルト云フコトニナレバ、恐ラク私ハ全部所謂管理管理會社ニナツテシマフト思フ、假ニ一千万ノ利益金ヲ出シテ六百萬モ七百萬モ税金ヲ出スノハ馬鹿々々シイカラソナモノヲ出サナイノデ、其ノ儘會社ヲヤツテ行クト云フコトニ私ハナリハシナイカト思フ、ソレヲ憂フルノデス、又政府ガ補償打切リニ依ツテ生ズル所ノ損失ヲ今度利益金デ「カバ」スルト云フコトニナツタモノヲ其ノ儘私ハ平素ノ利益金ト同ジ扱ヒラレルト云フコトガ、果シテ會社ノ企業再建ト云フコトガ出來得ルモノカ、私ハ疑問ヲ持ツモノデアリマス、之ニ對シテハ政府トシテモ、相當ニ御考ニナツテ才置キニナラケレバ、恐ラク私ハ今度ハ此ノ利益金ト云フモノハ出サナイデ、皆經理會社ニナルヤウナコトニ相成ル處ガアルト思フノデアリマス、是ハ尙一ツ御考ヲ願フテ置キタイト思フ、ソレカラ第四項ノ問題デアリマスガ、私ノ御質問申上ゲマシタコトガ、或ハ言葉ガ足りヌノデ分リ難イト思ヒマスガ、在外資産ガ損失デアルトハ是ハ明白デアリマスガ、所謂帳簿カラ缺點トシテ除クノガ當然ト思フ、併シ在外ノ銀行カラ借入レタ場合ノ借入金ヲ如何ニ處置スルカト云フコト、之ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、唯私ハ見合フトカ見合ハナイトカト云フコトデナクテ、假ニ臺灣デ仕事ラシテ居ル東京ニ本社ヲ持ツテ居ル者ガ臺灣ノ銀行カラ三百萬圓借りテ居ルケレドモ、其ノ借リタ金ヲ如何ナル取扱ヒニ帳簿

上ニ記入スルコトガ宜イカ、又或ハ之ヲ打切ル時ニ向フノ臺灣銀行カラ恐ラク管理人ガ出テ居ル譯デハナイカラ、ソレハ或ハ十分ノ七ト云フモノデ打切ツタ計算ニシテ差支ナイモノカト云フコトヲ伺ヒタイデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 經理會社ニナルカナラナイカト云フ場合ニ、其ノ期ノ利益金ニ對シテ税引デ計算スルカ、稅込デ計算スルカト云フコトニ付キマシテハ、片倉委員ノ仰シヤル通り日頃ノ場合ト違ヒマスノデ、税金ヲ引カナイ所デ計算スルヤウニ考ヘテハドウカ、ト斯ウ云フ氣持ヲ以テマシテ折角關係方面ト話ラシテ居ル所デゴザイマス

○片倉兼太郎君 ソレデハ企業整備法案ノ質問ハ是デ打切リマス

○男爵倉富君 極小サナ問題デアリマスガ、金融機關ノ再建整備法案ノ第七條ノ暫定評價基準及確定評價基準ト云フノハ、昨日來ノ御質問ノ評價ノ問題ガ關係方面トノ關係デ今日迄何フコトガ出來ナケレバ強ヒテ伺ヒマセウガ、差支ナケレバ大體暫定評價基準ト確定評價基準ト云フコトハドウ云フ風ニ了解スレバ宜イカト云フコトニ付テ、若シモ御差支ナケレバ簡單ナコトデモ宜シウゴザイマスガ、説明ヲ承リタイ、ソレカラ其ノ次ニハ金融機關ノ再建整備法ノ二十二條ニ最終處理費引當金ヲ計上シナケレバナラヌト云フ規定ガアリマス、是ガ恐ラク舊勘定ニ對スル舊勘定ノ最終處理費ノ引當金ダト思ヒマスカラ、新勘定ノ舊勘定ニ對スル貸シトナルノドラウト思ヒマス、此ノ最終處理費ト云フモノノ算定ドウ云フ風ニ一應ヤルノカ、或ハマア人件費ダトカ、何トカ云フモノヲ刻明ニ記載ス

○片倉兼太郎君 今ノ御質問申上ゲマシタ中ノ第二ノ問題デアリマスガ、是迄損失額ヲ「カバ」スル爲ニ當期利益金ノ税金ヲ御取リニナルト云フコトニナレバ、恐ラク私ハ全部所謂管理管理會社ニナツテシマフト思フ、假ニ一千万ノ利益金ヲ出シテ六百萬モ七百萬モ税金ヲ出スノハ馬鹿々々シイカラソナモノヲ出サナイノデ、其ノ儘會社ヲヤツテ行クト云フコトニ私ハナリハシナイカト思フ、ソレヲ憂フルノデス、又政府ガ補償打切リニ依ツテ生ズル所ノ損失ヲ今度利益金デ「カバ」スルト云フコトニナツタモノヲ其ノ儘私ハ平素ノ利益金ト同ジ扱ヒラレルト云フコトガ、果シテ會社ノ企業再建ト云フコトガ出來得ルモノカ、私ハ疑問ヲ持ツモノデアリマス、之ニ對シテハ政府トシテモ、相當ニ御考ニナツテ才置キニナラケレバ、恐ラク私ハ今度ハ此ノ利益金ト云フモノハ出サナイデ、皆經理會社ニナルヤウナコトニ相成ル處ガアルト思フノデアリマス、是ハ尙一ツ御考ヲ願フテ置キタイト思フ、ソレカラ第四項ノ問題デアリマスガ、私ノ御質問申上ゲマシタコトガ、或ハ言葉ガ足りヌノデ分リ難イト思ヒマスガ、在外資産ガ損失デアルトハ是ハ明白デアリマスガ、所謂帳簿カラ缺點トシテ除クノガ當然ト思フ、併シ在外ノ銀行カラ借入レタ場合ノ借入金ヲ如何ニ處置スルカト云フコト、之ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、唯私ハ見合フトカ見合ハナイトカト云フコトデナクテ、假ニ臺灣デ仕事ラシテ居ル東京ニ本社ヲ持ツテ居ル者ガ臺灣ノ銀行カラ三百萬圓借りテ居ルケレドモ、其ノ借リタ金ヲ如何ナル取扱ヒニ帳簿

上ニ記入スルコトガ宜イカ、又或ハ之ヲ打切ル時ニ向フノ臺灣銀行カラ恐ラク管理人ガ出テ居ル譯デハナイカラ、ソレハ或ハ十分ノ七ト云フモノデ打切ツタ計算ニシテ差支ナイモノカト云フコトヲ伺ヒタイデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 經理會社ニナルカナラナイカト云フ場合ニ、其ノ期ノ利益金ニ對シテ税引デ計算スルカ、稅込デ計算スルカト云フコトニ付キマシテハ、片倉委員ノ仰シヤル通り日頃ノ場合ト違ヒマスノデ、税金ヲ引カナイ所デ計算スルヤウニ考ヘテハドウカ、ト斯ウ云フ氣持ヲ以テマシテ折角關係方面ト話ラシテ居ル所デゴザイマス

ルノカ、ト云フヤウナコトヲ御尋ね致シマスノハ、舊勘定ノ整理ヲヤツテ行ク間ニ大體ノ見當デ最終處理費ト云フモノヲ最初ニ計上シテ置キマス。ト云フト、後三行ツテ段々過不足ガ出テ來ヤシナイカ、サウ云フ場合ニドウ云フ風ナ處理ヲ爲サル御見込カト云フコト、ソレカラ其ノ次ニハ三十三條デドウシテモ「カバ」ノ付カナカッタ損失ニ對シテハ補償ヲ政府ガ爲サル、ソレハ國債デ交付サレルヤウニ見エルノデアリマスガ、之ヲ結局額面金額ト發行價格トノ其處ニ若干ノ金額ノ相違ガ出テ來ルダラウト思ヒマス、之ヲ交付ヲ受ケマシタ金融機關ハ恐ラク交付發行價格デ以テ帳簿ノ整理ヲシヤシナイカ、其ノ後事情ノ變遷ニ依ツテ公債ノ時價ガ變ツテ參リマシタヤウナ場合ニ、其ノ公債ヲ將來日銀アタリニ擔保ニシテ金融ヲ付ケナケレバナラヌト云フヤウナ問題ガ起ツタ場合ニ、日銀ガ其ノ時ニ擔保價格ヲドウ見ルカ、銀行ノ方デハ最初ノ受ケタ時ノ發行價格デ計算ガ整理サレテモ、其ノ後價格ノ變動ガアツテ、ソレガ日銀ノ擔保ニナツタ時ニ價格ノ變動ガアルト云フコトニナリマス。ト、金額ノ大キイモノトスレバ、金融機關ノ整理ニ若干ノ影響ヲシヤシナイカト云フ感シガアルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ事務當局カラ勿論結構デアリマスガ、大體ノ御考ヲ承リタリ、ソレカラ最後ニ四十一條デ新勘定ヲ新金融機關ニ讓渡スト云フヤウナ構想ガ見エテ居ルノデアリマス、是ハ恐ラク他ノ銀行ニ合併スルト云フヤウナ場合ハ問題ハ比較ノナイト思ヒマスガ、整理ノ爲ニ第二銀行ヲ作ラナケレバナラヌト云フヤウナ時ニ、其ノ新ニ出來ル第二銀行ト云フモノノ規模トカ、資

本ノ構成ト云フヤウナモノヲ銀行法ノ現在ノ規定ニ依リマス。ト云フコト、六大都市ノ銀行ハ資本金ガヨク分リマセメ、五百萬圓以下デハイケンナイト云フヤウナ規定ガアツタト思ヒマス、今度ノ第二銀行ノ設立ト云フモノガ矢張り銀行法ノ規定ニ拘束サレルノカ、或ハ現在ノ銀行ノ詰リ第二銀行トシテ仕事ヲヤツテ行クニ差支ナイ程度ノ資本金ノ構成デ宜イノカト云フヤウナ點ニ付テ簡單デ宜シウゴザイマスカラ御考ヲ承リタリト思ヒマス。

○政府委員(福田越夫君) 先ツ御尋ねノ評價基準ニ關スル點デアリマスガ、金融機關ニアリマシテハ企業ト異リマシテ暫定評價基準ト確定評價基準ト此ノ二ツノ基準ヲ設ケルコトニ致シタノデアリマスガ、其ノ理由ハ金融機關ニアリマシテハ早ク勘定ノ見透シヲ付ケサセル、サウシテ見透シノ付イタ部分ノ支拂ヲ先ヅ行ヒタイト、斯様ナ趣旨カラデアリマスガ、大體ノ仕組ヲ申上ゲマス、此ノ法律案ガ通りマス、直グ評價基準ト云フモノヲ作成致シテ之ヲ發表スルコトニ相成ルノデアリマス、其ノ評價基準準ヲ基テ致シマシテ、只今ノ所大體十一月末迄迄ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、十一月末迄迄ニ企業側ニ於キマシテ企業側ノ假計算ヲ致シマシテ、サウシテソレヲ金融機關ニ通告スル譯デアリマス、ソコデ金融機關ハソレヲ受ケマシテ金融機關側ノ大體ノ見透シヲ立テ、其ノ場合ニ於キマシテ此ノ金融機關ガ見透シヲ立テ場合ニ於キマシテ、斯様ナ標準デヤツタ宜カラウト云フコトヲ政府ニ於テ指示スルノデアリマス、其ノ標準ガ暫定評價基準デアリマシテ、只今ノ所ハ一月一日現在ニ於

キマシテ暫定評價基準ヲ作定スル、左様ナコトヲ考ヘテ居リマス、サウシテ此ノ一月一日ニ暫定評價基準ヲ公表致シマシテ、ソレニ基キマシテ、金融機關ハ整理ヲ致シマシテ、大體二月十五日迄迄ニ其ノ評價基準ニ依ル所ノ評價額ヲ全部完了スル、即チ其ノ二月十五日以降ニ於キマシテハ先程申上ゲマシタヤウナ此ノ舊勘定預金ノ見透シニ依ル所ノ支拂ト云フモノガ可能ニナリマシテ、サウシテ二月末、三月ニハ第二封鎖預金モ何ガシカ支拂ヒ出來ル、斯ウ云フコトニ相成リマス、確定評價基準ノ方ハ、是ハ物件毎ニ隨時公表致シテ參リマス、是ハ最終處理ノ參考ニナル譯デアリマス、最終處理ノ參考ニナル譯デアリマス、ソレカラ次ニ御尋ねノ點ハ第二十二條ニ關聯致シマシテ、此ノ最終處理引當金ト云フモノハドウ云フ意味ノコトデアルカト云フコトヲ存ジマスガ、是ハ極ク見透シニ依リマシテ經費ヲ計上致シマス。ト、萬一ソレデ足りナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ新勘定ニ於テ負擔サセルヤウナコトヲ只今考ヘテ居リマス、ソレカラ此ノ第二十六條ニ關聯致シマス。所ノ金融機關ノ事業讓渡ノ場合デアリマス、此ノ事業讓渡ト申シマスノハ、第二銀行ヲ作リマシテ、サウシテ其ノ第二銀行ニ事業ヲ讓渡スル場合ト、ソレカラ既存ノ銀行ニ事業ヲ讓渡スル場合ト、此ノ二ツノ場合ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、第二銀行ヲ作ル場合ニ於キマシテハ、只今御質問ノ銀行法ノ制限ニ依ルカト云フ點、此ノ點ニ付キマシテハ、只今ノ所此ノ銀行法ノ制限ニ依リマシテ、例ヘバ資本金ニ付キマシテハ資本金二百萬圓以上ト云フコトヲ堅持スル

方針デアリマス、ソレカラ次ノ御質問ハ第三十三條ノ補償條項ニ關スル點デアリマス。ルガ、此ノ國債ヲ交付致シマシテソレガ將來値下リヲシタト云フヤウナ場合ニハドウナルカト云フヤウナ御話デアリマス。ルガ、國債ニ付キマシテハ只今ノ所是ハ市價ガ發行價格ヲ下ルト云フヤウナコトノナイヤウナ措置ヲ講ズルト共ニ、其ノ爲ニハ國債ヲ以テマシテ日本銀行カラ借入スルコト云フヤウナ場合ニ、是ガ不當ニ低イ値段デ評價サレルト云フヤウナコトノナイヤウナ……是ハ申上ゲル迄モナクサウ云フ方針デ行キタイト云フ風ニ存ジテ居リマス。

○男爵倉富君 暫定評價基準ト確定評價基準ト算定ノ基礎ト云フコト、今ノ御話ハ大體此ノ法律ガ出來マシテ、是ガドウ云フ風ニ動イテ行クカ、例ヘバ一月ニ暫定評價基準ヲ發表シテ、ソレニ依ツテ整理サレテ、二月十五日迄迄ニヤルト云フヤウナ、ソレカラ確定評價基準ト云フノハ最終處理ノ評價基準デアリマス。ト、此ノ間カラ新聞ニモ發表サレテ居リマシテ、大體其ノ動キ方ニ付テハ一應分ツテ居ツタノデアリマス、御尋ねノ點ハ評價基準ヲ、是ハ今ノ御話デモ企業會社ノ或程度ノ見透シガ付イテ、ソレヲ銀行ノ方デ檢討シテ見ナケレバ金融機關ノ整理ハ出來ナイ、サウ仰シヤツテシマヘバソレ迄ノ問題ニナルノデスガ、大體評價ノ基準ト云フヤウナモノヲドウ云フ風ニ考ヘルカト云フヤウナコトニ付テ、何等カソコニ御示シナナルモノガアツタラベキナイト思ツタノデゴザイマスガ、ソレヲ押問答シテ居リマシテ十分私ノ承リタイトコトヲ聽キ得ナ

カツタノデアリマスガ、質問ハ是デ止メテ置キマス。

○委員長(三土忠造君) 片倉君、先ニ御質問ノ第四點カ知ラン、マダ答辯ガナカツタト思ヒマスガ……

○片倉兼太郎君 在外地ノ銀行ノコトニ付テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(松尾金藏君) 我先程説明ガ不十分デゴザイマシタガ、在外地銀行、例ヘバ先程ノ例デ御觸レニナリマシタ臺灣銀行ノ借入金ヲ今後ドウスルカト云フ點ハ、大藏省ノ方デモ未決定デゴザイマス。ノデ、計算ノ仕方トシテハ一應債務ヲ其ノ儘計上シテ戴イテ置ク以外ニハ方法ハナカラウト思ヒマス。

○片倉兼太郎君 私が今迄御質問申上ゲタコトデモ、御考ニナルト云フコトガ四項ノ申既ニ三點バカリアルヤウデアリマス、斯ウ云フコトハ早ク御決メテ願ツテ、サウシテ早ク爲サラナケレバ、既ニ又管理會社ノ計畫案ナドモ來月十日迄ニハ出サナケレバナラヌヤウニ私共存ジテ居ルノデアリマス、一日モ早く御決メニナラナケレバ、會社ノ當事者トシテハ仕事ヲスルコトガ出來得ナイノデアリマス、從ツテ整理案モ出來得ルコトガムツカシイト思ヒマスカラ、一日デモ早く、ドウ云フ風ナコトニナルカハ存ジマセマスガ、所謂先程私が申シタ通り、出來得ルダケ斯ウ云フ機會デアリマス。カラ、國民ニ深切ニ、サウシテ公平ニナルヤウニ、一ツ御配慮ヲ戴キタイトコトヲ御願ヒ致シマシテ私ハ質問ヲ打切りマス。

○委員長(三土忠造君) 小山完吾君「御留守デス」ト呼ブ者アリ」

メ私ガ此處申シマシタコトヲ堅ク守
ラレマシテ、此ノ四案ノ中デ關聯スルモ
ノノ質問ヲスルモ思フ居タラシ
デスガ、實際ハサウハ行カヌヤウデアリ
マスカラ、各委員ノ御質問モ終リマシタ
デアリマスカラ、此ノ際片岡君：
○片岡直方君 私ハ企業再建整備法ノ
第六條ノ七、詰リ第二會社設立ノ問
題、之ニ付テ御尋ヲシタイノデアリ
マス、大體日本經濟再建ノ爲ニハ、必
要ナ重要産業トシテハ、ドンナ損失ガ
ゴザイマシテモ第二會社ヲ設立スル
コト、又舊債權ヲ整理シテ著實ニ
再建ニ乗出スト云フコトハ、是ハモウ
國民ノ誰モ異議ガナイ所デアリマス、
政府ガ企業再建整備法及ビ整備計畫ニ
於テ考ヘテ居ラレマス第二會社ノ構
想ト云フモノハ、ドウ云フモノデア
カト云フコトヲ詳細ニ説明シテ戴キ
イト思ヒマス、具體的ニ申スラバ、
大體第七號ニズツト書イテアルコト
アリマスガ、之ニ付テ御尋シタイノ
デスガ、特別經理會社カラ現物ノ出資
評價ハドウスルノデアルカ、又評價
高クスレバ大體ニ於テ再建第二會社
云フモノハ、水膨れ資産ヲ受取ルコト
ニナツテ、非常ニ不健全ナ發足ヲシ
ケレバナラス、ソレカラ又製品ノ原價
高ヲ來スト云フコトニナルノデアリ
マス、又反對ニ評價ヲ低クスルト、不
當ニ債權者ヲ害スルト云フコトニナル
デアリマス、此ノ點政府ノ御考ニナ
テ居ル評價ノ基準ハドウ云フモノ
ルカ、ソレカラ現物出資ニ對シテ發行
シマス株式ノ賣出方法ハドウ云フ
アルカ、ソレカラ更ニ株式ノ舊債權
トノ關係ハドウ云フ風ニナルカト云
コト、ソレカラ企業再建整備法ノ第二

十六條デアリマスガ、ソレニ依リマ
スルト云フト、株式又ハ處分益ハ舊債
權者ニ歸屬スルト云フ考ヘ方デアリ
マシテ、是非非常ニ重要ナ規定デア
ルと思フデアリマス、之ヲ能ク靜カ
ニ拜見シマス、イツ迄モ最後迄此ノ
舊債權者ト云フモノガ債權ノ追求ヲ
受ケルコト云フモノニナツテ、果シ
テ本當ニ此ノ企業再建整備法行ケ
ルカドウカ、結局ハ企業再建整備
法ト云フモノハ、斯ウ云フ風ニ
底テ終ルノデヤナイカ、斯ウ云フ
考ヘル、之ニ付テ政府ノ御所見ヲ
承リタイ
○政府委員(三木秋義君) 第二會社
ノ設立ガ此ノ再建整備法ノ一ツノ大
キナ眼目ニナツテ居ル譯ナラナイ
デアリマスガ、今後事業ノ經營ノ爲
ニ必要トスル設備、原材料並ニ勞務
者等ハ、之ヲ極度ニ切詰メマシテ、
出來ルだけ切詰メテ、スツキリシ
タ形ニ於テ第二會社ノ方ニ移シマ
シテ、第二會社ヲ本當ノ清算形ニ
於テ發足セシメタイ、斯様ニ考ヘ
テ居リマス、從ヒマシテ當然只今
ノ出資スベキ物件ノ評價ト云フ點ガ
問題ニナツテ來ル譯デアリマスガ、
勘クトモ現在ノ事業ヲ繼續スルコ
トニ依ツテ赤字ヲ出サナイヤウニ
十分ニ、現在ノ九公ニ於テ採算ノ
合フヤウナ形デ以テヤツテ參リ
タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、當
然然資産ノ評價ト云フモノハ、
此ノ第二會社ニ關スル限リ、相當
「シグアイ」ニ査定ヲシナケレバ
イケンイデヤナカラウカト云フ風
ナ考ヘ方デシテ居リマス、ソレ
カラ此ノ場合ノ株式ノ割出シヲ
ドウスルカト云フ問題デアリマス
ガ、此ノ引受機關ノ株式ヲドウ
スル風ニ分散スルカト云フコト
ス、當然ノ普通ノ考ヘ方デアリ
マス

ナラバ、從來ノ舊會社ガ之ヲ引
受ケルベキ筈デアリマスガ、舊會
社ガ概ネ財團關係ノ他ニナル向
ガ多イダラウト云フコトモ考ヘ
ラレマス、我々ノ一應ノ考ヘ方
ト致シマシテハ、場合ニ依ツテハ
從業員ニ分散スルトカ、或ハ取
引先、其ノ他ノ消費者ノ方ニ之
ヲ引受ケテ戴クコト云フヤウナ
措置ガ必要デナイダラウカ、或
ハ又未拂込ノ場合ノ株式ノ處分
株式同ジヤウナ方式ニ依リマシ
テ、必要ナル引受ケサセルト云
フヤウナ方法モ講ジテ置カケレ
バイカス、斯様ニ思フノデアリ
マス、ソレカラ舊債權者ト株式
トノ關係ト云フ御趣旨ガハツキ
致シマス、御質問ノ御趣旨ハ、恐
ラク舊債權者ト株式トニ轉化
出來ナイカト云フ御質問デア
ラウト云フ存ジマス、サウ云
フヤウナ意味デゴザイマシタ
ナラバ、是ハ整備計畫ノ中ニ書
イテ戴キマシテ、斯ウ云フヤ
リ方ニ於テ株式ト轉化スルノ
ダト云フコトデ、ソレガ認可
ニナリマスレバソレデ結構ダ
ト思ヒマス、唯左様ナ場合ニ
於ケバ、相當多額ノ債權者側
ニ移リマシテ、ソレニ依ツテ
事業ノ經營ガ「コントリール」
サレルト云フヤウナコトガ
アリマシタ場合ニ於ケバ、是ハ
當該事業ノ活動ヲ阻害スル
コト云フコトモ考ヘラレ
マス、之ニ對シテハ其ノ株主
權ノ行使ニ付キマシテハ、
場合ニ依ツテハ制限スル、或
ハ其ノ株式ヲ特別ナ管理
機關ニ委託スルコト云フ
ヤウナ措置ガ別途ニ講ゼ
ラレナケレバナラス、ソ
レカラ第二十六條ノ處分
資産ノ處分益ヲ、舊債權者
ノ打切ツタ債權ニ返還
スルト云フヤウナ問題
デアリマス、片岡委員ノ御

問ノ通り、誠ニ此ノ點ハ困難
ナ問題デアリマス、特ニ會社ノ
資産ノ處分ト云フモノガ、今
後ノ情勢カラ言ヒマシ
テ非常ニ困難デアラウ、從
ツテ斯ウ云フコトヲ若シヤ
リマスルナラバ、相當ニ整
備ガ延引スル、長ビクト
云フコトモ考ヘラレマス
ルシ、又イツ迄モ此ノ關係
ガ續クコト云フコトデ、會
社ノ經營者ノ意氣モ沮喪
セシメルト云フコトモ
實ハ考ヘラレルトデアリ
マシテ、是ハ大キナ問題
デアルト云フ風ニ思ヒ
マス、唯何分ニモ實際
處分致シマシタ結果ガ利
益ニナツタト云フヤウ
ナ場合ハ、先ニ債權者側
ニ相當大キナ迷惑ヲ掛
ケテ居ル、デスカラ其ノ迷
惑ヲ是ハ御返シスル
ノガ當然デヤナイカト云
フヤウナ考ヘ方カラ、一
應此處ニハ書イテ居リ
マス、併シ此ノ問題モ
只今申シマシタヤウニ、
相當經濟的ニ、或ハ又今
後ノ再建整備ノ爲ニ支
障ヲ來タキヤウナ場合
ハ依ツテハ考ヘラレ
マス、將來ノ經濟情勢
ノ如何ニ依リマシテハ、
斯ウ云フ點ニ付キマシ
テ、何等カノ措置ガ必
要デナイダラウト云フ
コトニ致シテ、今後ノ問
題トシテ此ノ問題ハ殘
シテ置キタイ、斯様ニ考
ヘテ居リマス
○片岡直方君 次ノ問題
ニ入リマス、此ノ企業
再建整備法ノ附則ヲ見
マスト、理由書ノ所
ヲ拜見致シマス、非
常ニ大キナ改正ガ加
ヘラレテ居ルノデア
リマス、實ハ私議論
スルノデアリマスガ、一
應政府委員ノ御尋
シタイノデアリマス
ガ、大體企業再建
整備法ノ改正デア
レバ、本當ハ純理論
カラ言ヘバ、改正案
ヲ出シテ訂正ヲ爲
スノガ本當デハナイ
カト思ヒマス、ソ
レ今度斯ウ云フ附
則ノ方デ御出シ

シタ、偶々私調ベマシテ發見
シタノデアリマスガ、恐
ラクハ多クノ方ガ御承
知ナイノデヤナイカ、
斯ウ云フコトヲ實ハ心
配スルノデアリマス、
ソレデ民主化ノ今日
ニ於ケバ、矢張り何
トカ之ガ分ルヤウニ、
政府委員ハ非常ニ技術
ノ方ハオ上手ナ
デスカラ、斯ウ云フ風
ニ織込シテモ濟ム譯
デスガ、國民ハ非常
ニ困ル、偶々發見
シテ驚イタ、ソレハ
出來ル譯デス理窟
ハ……法律ヲ以テ
法律ヲ改正スルノハ
宜イ譯デスガ、ソ
レヲドウ云フ譯デ
オヤリニナツタカ、
已ムヨリ得ズオヤ
リニナツタカ、已ム
ヨリ得ズオヤリニナ
ツタカ、思ヒマス
ガ、是ハ強ヒテ理窟
ヲ言フノデヤナ
クシテ、輕イ意味
ニ於テ御尋ネ致
シマス、ソレカラ本
論ニ入リマス、此ノ
條文ヲ讀ムコトハ
省略致シマシテ、
從來ハ戰時補償、
ソレカラ在外資
産ニ依ル損失ト
云フモノガアリ
マシテモ、會社ノ
財産ノ時價又ハ
取得價格、帳簿
價格ノ差額
デアアル財
産、之ニ評價
益ヲ出シ得
ル含ミガア
ツテ、之ヲ積立
金トシテ損失
ヲ補ヘル會
社ハ特別經理
會社カラ除外
ノ認可ガ得
ラレタノ
デアリマス、然
ルニ此ノ改正
案ニ依リマ
スト、評價益
ヲ出シ得ル
含ミノアル
ト云フコトハ
マア別ト致
シマシテ、矢
張り四十頁
デスガ、八月
十日ノ決算
ノ事業年度
ノ利益金ト積
立金ト云フ
モノノ損失
ヲ價ヘナイ
會社ト云フ
會社ハ總
テ特種會社
ニスル、斯
ウ云フ風ニ
ナルノデア
リマス、詰
リ特別會社
ノ數ガ非常
ニ今迄ヨリ
殖エテ來ル、
斯ウ云フ
コトニナ
リハシナイ
カト云フ
コトヲ憂
フルノデア
リマス、一
體ドレダ
ケノ數ガ殖
エルモノ
カ、御見込
ヲ承リタイ、
ムツカシ
イコトデ
スガ、御答
辯ガ出來
ナケレバ
宜シイノ
デスガ、是
ハ非常ニ
殖エテ來
ルヤウニ
思ヒマス、
之ヲ伺ヒ

タイ、ソレカラ何故ニ斯ウ云フヤウナ
改正ガ必要ニナツタト云フヤウナ實質
ナ理由ト效果ヲ承リタイノデアリマ
ス、ソレカラ企業再建整備法ノ第八條
ヲ拜見シマス、サウシマス、此ノ
八條ハ會社財産ノ評價換ニ付テ規定シ
テアルノデアリマスガ、其ノ内容ハ命
令、ソレカラ整備計畫ニ委任シテアル
ノデアリマス、政府ハ此ノ評價換ニ關
スル如何ナル具體的ノ案ヲ持ツテ居
レルカ、詰リ商法ノ二百八十五條ノ規
定ニ認メラレテ居リマスル事項、ソレ
カラ固定資産ニ付テハ取得價格迄評價
替ヲ認メル、斯ウナツテ居ルノデアリ
マスガ、之ニ對シテドウ御考ニナリマ
スカ、若シ只今評價替ト云フモノガ十
分ニ認メラレモノデアリマシタラ、
只今申上ゲマシタ附則ノ改正ハ實質的
ニハ何等意義ガナイ、斯ウ云フ風ニ考
ヘルノデアリマシテ、不必要ニ徒ラニ
會社ノ經理事務ト云フモノヲ煩雜ナラ
シメルヤウニナリ、生産再開ト云フコ
トニ非常ニ意氣込シデヤルト云フコト
ガ、實質ニ於テハ逆ニナツテ來ル、日
本ノ經濟ニ取ツテハ非常ナ損失ニナル
ノデハナイカト、斯ウ云フ風ニモ考ヘ
ル、又ソレト反對ニ評價替ト云フモノ
ヲ極メテ嚴格ニスルト云フ、或ハ實質上
評價替ト云フモノヲ認メルト云フコト
デアレバ、特別經理會社ノ多クハ資本
ノ切捨テ、ソレカラ債權ノ切捨テト云
フモノヲ行フコトハ當然デアリマス、
我が國經濟界ノ影響モ非常ニ甚大ナモ
ノデアルト、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、
混亂ヲ來スコトハ明カデアルト斯ウ云
フ風ニ考ヘルノデアリマス、是等ニ付
テ政府ノ所見ヲ政府委員デ宜シワゴザ
イマス、一ツ詳細ニ御説明ヲ願ヒタイ
○政府委員(三木秋義) 非常ニ重大

ナ法律事項ヲ附則デ改正スルノハ不
當デハナイカト云フ御質問デハ誠ニ恐
レ入ルノデゴザイマスガ、實ハ此ノ問
題ハ相當重大デゴザイマスケレドモ、
特ニ一項目立テ、其ノ爲ノ改正案ヲ
出スト云フデケノ問題デモゴザイマセ
ヌシ、傍、應急措置法ノ姉妹篇トシテ
此ノ再建整備法ガ出テ居リマスヤウナ
關係ニナツテ居リマスノデ、當然一本
ノ法律ト考ヘマシテ、茲ニ附則デ以テ
改正ヲ致シタ譯デアリマス、唯斯様ナ
重大ナ事項ヲ附則デ改正ヲ致シマシタ
コトニ付キマシテハ、今後其ノ趣旨徹
底ノ方法ハ是ハ政府ノ責任ニ於テ十分
ニヤツテ參リタイト考ヘテ居リマス、
ソレカラ其ノ内容デゴザイマスルガ、
從來商法ノ許ス範圍内ノ評價替ヲ以
テ、尙ソレニ積立金ヲ加算シマシテ、
今度ノ補償打切りノ損失ヲ填補出來マ
スル場合ニハ、特別經理會社ノ除外ノ
申請ハ出來タノデアリマスガ、若シサ
ウ云フコトヲ致シマスルナラバ、ソレ
ヲ非常ニ若シ「ルーズ」ニ致シマスルナ
ラバ、不當ニ評價替ヲ出シ、之ニ依ツ
テ不當ナ利益ヲ出ス、場合ニ依ツテハ
ニ依ツテ様々ノ企業ノ實體ヲ脆弱化セ
シメルト云フ虞モアリマスルノデ、荷
モ評價替ヲ出シテ特別ニ損失ヲ填補ス
ルト云フ場合ニ於テハ、總テ之ヲ整備
計畫ニ於テ計上セシメ、整備計畫ニ於
テ之ヲ認可致シマシテ、之ヲ嚴重ニ監
視シテ行カウ、詰リ本法ノ再建整備法
ノ制定ノ趣旨ガ、日本ノ經濟ノ再建整
備ト云フコトニアリマスル以上、實質
上團體會社ハ今後作リタクナイ、左様
ナ意味ニ於キマシテ、出來ルデケ經理
内容ノ立派ナモノヲ作ツテ行カナケレ
バナラナイト云フヤウナ趣旨ニ於
キマシテ、特ニ斯ウ云フ改正ヲ

加ヘマシテ、資産内容ヲ優良化
スル、資産内容ニ穴ヲ殘サナイト云フ
ヤリ方ヲ致シテ參リタイ、認可ニ依ツ
テソレヲ見テ行ク、不當ニ評價替ヲ出
スヤウナコトガナイヤウニ致シタイ、
斯様ナ考デ特ニ此ノ一項目ヲ加ヘタ大
第デアリマス、唯之ヲ加ヘルコトニ依
リマシテ、非常ニ多クノ會社ガ、比較
的優良ナ會社ガ、特別經理會社ニ包含
サレルノデハナイカト云フヤウナ御質
問ノ趣旨デゴザイマスルガ、誠ニ仰シ
ヤル通りデアリマス、唯此ノ場合ニ於
キマシテモ、我々ト致シマシテハ、優
良會社ニ付キマシテハ出來ルデケ速カ
ニ認可ノ指令ヲ出シテ、今後ノ經濟活
動ニ支障ノナイヤウニ致シテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス、尙之ニ依ツテドウ
位ノ會社ガ新タニ特別經理會社ニナル
ノカト云フ御質問デゴザイマスルガ、
此ノ點ハ數字のニハ誠ニ困難ナモノデ
アリマスルガ、只今ノ見込ト致シマシ
テハ一應資本金二十萬圓以上ノ會社ガ
全國ニ一萬二千位ゴザイマス、特ニ整
備計畫ヲ出シマスル百萬圓以上ノ會社
ニ付キマシテハ、非常ニ其ノ數ガ減ツ
テ參リマスノデ、從ヒマシテ此ノ規定
ヲ新タニ加ヘマシタコトニ依リマシ
テ、極メテ多クノ會社ガ新タニ此ノ網
ニ掛ツテ來ル、特別經理會社ニナルト
云フコトハ、我々ハ餘リ期待ヲシテ居
ラナイ次第デアリマス、尙又商法ノ許
ス範圍内ノ評價替ヲ許スカドウカト云フ
問題デアリマスルガ、今度ノ整備計畫
ノ中ニ書キマスル所ノ資産評價ノ點ニ
付キマシテハ、我々ト致シマシテハ資
産ノ内容ガ極メテ弱シナイ以上ハ出
來ルデケ企業者側ニ有利ナ解釋ヲ致シ
テ參リタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス
ノデ、當然商法ノ規定ノ許ス範圍内ノ

評價ト云フモノハ許サレテ然ルベキデ
ヤナイダラウカト云フ風ニ考ヘマス、
併シサウ云フコトヲヤルナラバ、新タ
ニ附則ノ改正ヲ要シナイデヤナイカト
云フ御質問ノ趣旨ハ誠ニ御尤モデア
リマスルガ、左様ナ場合ニ於キマシテ
モ不當ニ評價替ヲ出ス：要ラナイ評
價替ヲ出サシメナイヤウニ、矢張り整
備計畫ニ於テ之ヲ監視シテ參ルト云フ
コトガ必要デヤナイカ、斯様ニ考ヘテ
居ル次第デアリマス、尙評價ノ基準ヲ
一體ドウスルノカト云フ御質問デアリ
マスルガ、我々ノ一應ノ考ヘ方ト致シ
マシテハ、評價基準ニ付キマシテハ履
ミ、各大臣カラモ御説明ガゴザイマシ
タガ、餘ニ廿イ決定ト申シマスガ、是ハ
今後ノ經濟再建ノ爲ニ絕對ニ避ケナケ
レバナラナイ、本法ノ立法ノ趣旨ガ、
固ヨリ日本ノ經濟ノ再建ト云フコトニ
アリマスル以上ハ、當然其ノ趣旨ニ副
ウタ評價基準ト云フモノガ作ラレテ參
ラナケレバナラナト、斯様ニ考ヘテ居
リマス、從ヒマシテ一應ノ評價基準ノ
只今ノ考ヘ方ト致シマシテハ、出來ル
デケ評價基準ハ簡單明瞭ナモノニ致シ
テ參リタイト云フヤウナコト、ソレカ
ラ又日本ノ經濟ノ再建ニ支障ヲ來サナ
イヤウニ、其ノ事業ノ基礎ヲ弱化セシ
メナイヤウニ評價基準ヲ作ツテ行カ
ナケレバナラナイト云フコト、ソレカラ
又物價水準トノ關係ヲドウ考ヘルノカ
ト云フコトデアリマスルガ、少クトモ
現在ノ物價水準ト云フモノヲ是レ以上
ニ引上ゲナイト云フヤウナモノデナケ
レバナラナイ、從ヒマシテ或程度安全
率ヲ見マシテ、基準ト致シマシテハ、
現在ノ物價水準ヨリモ幾分下目ノ基準
ト云フモノヲ考ヘテ參ラナケレバナラ
ナイノデヤナカラウカト云フヤウナコ

トモ實ハ考ヘテ居リマス、尙又モツト
具體的ナ問題ト致シマシテハ、原材料
等ニ付キマシテハ、當然⑤ガ適用
サレドモ、現在ノ事業ノ實體カラ
言ヒマスルナラバ、原材料ト雖モ、
以テヤツタ場合ニ於テハ、概ネ赤字ニ
ナル場合ガ多ク云フヤウナコトモ考
ヘテ參ラナケレバナラナイ、又鑛山一
ツ例ニ採リマシテモ、現在一般ノ取引
價格ガ⑥以下ニ下ツテ居ルト云フヤウ
ナ場合モ考ヘラレマスルノデ、サウ云
フヤウナ場合ニ於テハ、其ノ下ツタ、
⑥以下ニナツタモノガ時價ヲ取ラナケ
レバナラナイト云フコトモ考ヘテ參ラ
ナケレバナラナト思ヒマス、尙株式或
ハ固定資産ノ評價等ニ付キマシテハ、
是ハ相當問題ガ多カラウカト思ヒマス
ガ、株式ノ評價ニ付キマシテハ、是ハ
主トシテ財産稅ノ評價委員會ト同ジヤ
ウナ考ヘ方デ進シテ參リタイト思ヒマ
スルガ、固定資産ノ評價ノ問題ハ、實
ハ最モ問題デゴザイマス、我々ト致シ
マシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、
事業ノ基礎ノ安固ク期スルト云フ建前
ヲ以テヤリタイト思ヒマスガ、之モ債
權者ニ迷惑ヲ掛ケナイ、餘リ不當ナル
迷惑ヲ掛ケナイト云フ點ト兼合ヒニコ
トニナリマスルノデ、其ノ點ヲ考ヘテ
參リタイ、尙又今後ノ問題ト致シマシ
テハ、日本ノ經濟ノ復興、回復ヲ圖リ
マスル爲ニハ、ドウシテモ自由貿易ニ
ナツタ場合ノコトヲ考ヘテ參ラナケレ
バナラナト思ヒマスルノデ、今後日本
ガ自由貿易ニ回復致シマシテモ、例ヘ
バ鐵礦デアルトカ、或ハ硫安デアルト
カ、其ノ他ノ國際商品ニ付テ、十分他
國ト立打チノ出來ルヤウナ基礎ヲ此ノ

際作ツテ行カケレバナラナイノガヤ
ナイカト、斯様ニ考ヘマスルノデ、サ
ウ云フ點カラモ在定ノ評價基準ト云フ
モノヲ、或程度引下ゲタモノデ考ヘテ
參ラナケレバナラナイノデナイカト
云フコトモ考ヘテ居リマス、尙其ノ他
ニ豫斷ヲ見ルカドウカ、或ハ複成價
格ヲ見ルカドウカト云フコトヲ、或ハ
又別途ノ考ト致シマシテ、事業ノ收益
還元法ヲ採用スルカドウカト云フヤウ
ハ問題モゴザイマス、斯ウ云フヤリ方
ハ、基準ヲ作りマス場合ノ非常ナ大キ
ナ問題デアリマスルノデ、只今關係方
面トモ十分協議ヲ遂ゲツ、アリマス
デ、早急ニ此ノ問題ヲ解決シテ參リタ
イト考ヘテ居リマス、尙外ノ其ノ他ノ
問題ト致シマシテハ、業種別ノ評價基
準ト云フモノヲ作ツタラドウカト云フ
ヤウナ問題モアルト思ヒマス、サウ云
フ各般ノ問題ニ付キマシテハ、只今各
關係省方面及ビ其ノ他ノ關係方面トモ
協議中デゴザイマスノデ、暫ク御待チ
ヲ願ヒタイト存ジマス、各方面ノ御意
見モ承リ、殊ニ又經濟再建整備委員會
ニ付議致シマシテ、終局的ナ、最後の
ナ決定ヲ致シテ參リタイト思ツテ居リ
マス

求權毎ニ一萬圓、ソレハ控除シテ全
體十萬圓ハ超エナイノデ、控除ハ出
來ナイ、斯ウ云フ風ニナツテ居リマ
ス、其ノ百「パーセント」課稅サレハ
斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、此ノ場
合ニ私ノ御尋シタイコトハ、保險金ノ
拂込總額ガ右ノ課稅ニ於キマス課稅
額ヲ超過シタル時ハ、其ノ超過
シタル金額ハ全額ヲ取ラレルト云
フコトニナルノデアリマスガ、
併シ此ノ戰時補償特別措置法ト云フモ
ノハ、其ノ理由書ニ書イテアリマスル
ガ、戰時補償請求權ニ對スル課稅ノ措
置ト云フモノガ目的デアリマス、サウ
ナリマス、戰時補償請求權ニ付モ
込ノ保險料ハ返還請求權ト云フモノヲ
打切ツテ拂込保險料ヲ取ルト云フコト
ハ、國ガ取ツテシマウト云フコトハ、
何トナシニ不當利得ヲ居ルヤウナ
感ジガスルノデアリマスガ、此ノ意味
ニ於キマシテ、戰爭保險契約ニ於ケル
拂込ガ濟ンデ居ル、斯ウ云ツタヤウナ
保險金ト云フモノハ課稅價格カラ控除
スルノガ至當デハナイカト思ヒマス
ガ、之ニ付テ御意見ヲ政府カラ承リ
タイ

置トシテ、一律ニサウ云フ請求權ハ全
部打切ラレタ譯デアリマス、御了承ヲ
願ヒマス
○片岡直方君 ソレカラ最後ニ何ヒタ
イノデアリマスガ、是ハ前渡金ノ問題
ヲチヨツト御尋シタイ、是デ御終ヒデ
アリマス、終戰前ニ斯ウシテ前渡金ト
云フモノガアリマス、是ハ一體ドウ云
フ風ニナルノカ、今ノ法案ニ依リマス
ト云フト第一條ニ規定シテアリマスル
ガ、之ニ依リマス、第一號ニ規定シ
テアリマスガ、辨濟期ガ八月十五日
前デアツタモノデ既ニ決濟ノ濟ンダモノ
ハ戰時補償特別稅ノ課稅ノ對象ニナラ
ヌト、斯ウ云フ規定ガアルノデアリマ
ス、サウ云フコトハゴザイマスカラ、
之ニ關聯シテ御伺ヒシタイノデアリマ
スルガ、終戰前ニ於テ、政府カラ受ケタ
前渡金ト云フモノハ、決濟ガ、或ハ一
部決濟ト認メラレマシテ、戰時ノ補償
特別稅ヲ課セラレナイノデアルカドウ
カト云フ點ヲ先ツ御伺ヒタイト思
ヒマス

テ居ツタ、終戰前ニ、其ノ中デ以テ十
門ノ引渡シガ濟ンダト云フコトデアリ
マスレバ、其ノ百萬圓ノ前渡金ハ當然
十門ノ代金ニ當ツテ居ル譯デアリマス
カラ、是ハ支拂ハ濟ンデ居ルモノト考
ヘマス、併シ其ノ前渡金ガ、例ヘバ五
百萬圓デアツタ、十門ノ引渡シガ濟ン
ダト云フ場合ハ、百萬圓ハ支拂ガ濟ン
デ居リマスガ、殘リノ四百萬圓ニ付テ
ハ、實際行ハレタ所ヲ見マス、他ノ
完成品代ト相殺シテ居リマスカラ、或
ハ損害賠償ノ金ニ引當テ、其ノ損害賠
償請求權ノ方ト相殺シテ居リマスガ、
其ノ方ハ八月十五日以前ニ決濟ガアツタ
ト見得ナイト思ヒマス、此ノ點ニ付キ
マシテハ、色々私ノ方デモ考ヘマシ
テ、若シ相殺ガ濟ンダナラバ其ノ規定
ヲ入レルヤウニ思ツタ色々研究シテ
見タノデアリマスガ、關係省トモ交渉
ノ結論トシテハ、ソレハ入レナイト云
フコトニナリマシテ、只今申上ゲタヤ
ウナコトニナツタト思ヒマス

ト云フヤウナ分ニ付キマシテハ、ソレ
ニ對應スル分ハ八月十五日以前ニ仕拂ガ
濟ンデ居ルモノト云フ風ニハ解シ得ナ
イモノト思ヒマス
○片岡直方君 最後ニモウ一點何ヒタ
イノデアリマスガ、過拂ノ前渡金ト云
フモノハドウ云フコトニナツテ居リマ
スカ
○政府委員(渡邊喜久造君) 過拂ノ前
渡金ハ從來ノ實際ヤツテ居ル所ヲ見マ
ス、外ノ方ノ分ト相殺サレテ居リマ
スカ、相殺サスル分ガナクツテ結局
過拂ニナツタ儘ト云フモノニ付キマシ
テハ、政府ノ方デ以テ返還命令書ヲ出
シテ居リマス、ソレデ既ニ返還ノ濟ン
デ居ルモノモゴザイマス、現在ソレ
ノ取立デノ最中デアルト云フモノモゴ
ザイマス
○片岡直方君 私ノ質問ハ終リマス
ガ、昨日國務大臣ニ御尋ネ致シマシ
テマダ御答辭ヲ得テ居リマセマ經濟再
建整備委員會ノ構成ノ御説明デアリマ
スガ、是ハ時間ガ過ギマシタカラ今デ
ナクトモ宜シイノデアリマスガ、盡カ
ラデモ結構デアリマスカラ詳細ニ御説
明ヲ願ヒマス
○國務大臣(藤井之助君) 今説明出來
マス
○片岡直方君 後ノ此ノ二ツノ質問ハ
簡單ナモノデゴザイマスカラ、簡單ニ
質問シタイノデアリマス、是ハ戰時補
償特別措置法案ノ一番終ヒニ「理由」ガ
ゴザイマシテ、之ヲ拜見致シマス、
是ハ後デ申上ゲマスガ、之ニ關聯シテ
參ルノデアリマスガ、之ニ付テ先ニ御
尋シタイコトハ、戰時補償特別措置法
案ノ第十條ノ別表ニ、之ヲ拜見致シマ
ス、ソレガ戰爭保險契約ニ依ル所ノ
請求權ト云フモノハ、納稅ノ義務者ガ
個人ノ場合五萬圓、法人ノ場合一請

求權毎ニ一萬圓、ソレハ控除シテ全
體十萬圓ハ超エナイノデ、控除ハ出
來ナイ、斯ウ云フ風ニナツテ居リマ
ス、其ノ百「パーセント」課稅サレハ
斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、此ノ場
合ニ私ノ御尋シタイコトハ、保險金ノ
拂込總額ガ右ノ課稅ニ於キマス課稅
額ヲ超過シタル時ハ、其ノ超過
シタル金額ハ全額ヲ取ラレルト云
フコトニナルノデアリマスガ、
併シ此ノ戰時補償特別措置法ト云フモ
ノハ、其ノ理由書ニ書イテアリマスル
ガ、戰時補償請求權ニ對スル課稅ノ措
置ト云フモノガ目的デアリマス、サウ
ナリマス、戰時補償請求權ニ付モ
込ノ保險料ハ返還請求權ト云フモノヲ
打切ツテ拂込保險料ヲ取ルト云フコト
ハ、國ガ取ツテシマウト云フコトハ、
何トナシニ不當利得ヲ居ルヤウナ
感ジガスルノデアリマスガ、此ノ意味
ニ於キマシテ、戰爭保險契約ニ於ケル
拂込ガ濟ンデ居ル、斯ウ云ツタヤウナ
保險金ト云フモノハ課稅價格カラ控除
スルノガ至當デハナイカト思ヒマス
ガ、之ニ付テ御意見ヲ政府カラ承リ
タイ

毎二ハツバカリノ各地方ノ委員會ヲ置キマシテ、之ヲ行政事務局ノ管下ニ置キマス、ソレカラ其ノ外ニ各都府縣ノ委員會ヲ別ニ設ケルコトニナツテ居リマス、ソレカラ中央ノ委員會ハ是ハ關係各方面ト云ヒマシテモ産業、經濟、言論界其ノ他ノ衆議院、貴族院モ當然入ル譯デゴザイマスガ、其ノ他ノ各方面ノ知識經驗者ヲ入レル譯デアリマスガ、特ニ此ノ際ニ勞働界ノ代表ヲ入レルカドウカト云フコトガ大キナ問題デアリマスルガ、此ノ再建整備ガ對勞務者ノ關係ガ非常ナ大キナ問題デアルト思ヒマスルノデ、我々ハ特ニ勞働界ノ代表ヲモ此ノ委員會ニ加入セシメタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ此ノ中央ノ委員會ハ之ヲ三ツノ部會ニ分ケマス、第一ハ綜合部會デアリマシテ、之ニハ例ヘバ評價基準デアルトカ、或ハ未拂込ノ徵收ニ付テドウ云フ方法ヲ講ズルカト云フヤウナ、一般のナ政策的ナ問題ヲ此ノ綜合部會ニ於テ決定致シマス、ソレカラ其ノ次ハ、第二ニ、審査第一會、第三ニ、審査第二會ト云フモノヲ置キマスガ、其ノ審査第一會ニ於テマシテハ一般ノ企業ニ付キマシテノ重要事項、特ニ整備計畫ノ認可ト云フヤウナコトヲ此處デヤツテ審リマス、ソレカラ審査第二會ノ方ハ、専ラ金融機關ノ關係ニ付キマシテ重要事項ヲ決定シテ參ル、斯ウ云フ仕組ニ考ヘテ居リマス、綜合部會ノ部會長ハ、只今ノ處安定期本部ノ然ルベキ方ニ御願ヒ致シタイ、ソレカラ審査第一會ノ方ハ商工次官ガ部會長ニナリマス、審査第二會ノ方ハ大藏次官ガ部會長ニナリマス、斯様ニ致シテ居リマス、只今內定致シテ居ル構成ハ此ノ程度デアリマス

午後一時十五分休憩

午後一時十九分開會

○委員長(三土忠造君) 先刻小山君ヨリ發言ヲ求メラレマシタガ、時間ノ關係上午後二時シマス、午後一時十五分カラヤリマス、休憩致シマス

○委員(三土忠造君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、小山完吉君

○小山完吉君 昨ハホンノ唯一言カニ言御答ヲ得レバ宜イデアリマスガ、十二條ノ規定デゴザイマスガ、「民法第三十四條ノ規定により設立した法人その他の營利を目的としな法人又は團體で命令で定めるものが、この法律施行の際現に」云々ト書イテアリマスガ、其ノ命令デ決定メタル法人、恐ラク是ハ公益法人ダラウト思ハレルノデスガ、ドウ云フモノガ入ルノデゴザイマセウカ、此ノ中ニ、例ヘバ私ハ更に一步詳細シテ中上デマスレバ、學校教育ニ關係シテ居ルノデスガ、此ノ命令ニ學校ノヤウナモノモ入ルノデスカ、大臣デナクテモ宜シイデス

○政府委員(池田勇人君) 御答ヘ申上ゲマス、此ノ戰時補償特別措置法第十二條ニ現ハレテ居リマスル法人ハ御話ノ如ク慈善團體、宗教團體、教育團體等ガ入ルコトニナツテ居リマス

○小山完吉君 サウスルト此ノ教育團體ノ戰時補償ニ類スルコトヲ審議スルニ當ツテハ、矢張りリドノ位ノ程度ニ免除スルト云フコトハ、特別審査委員會ニ掛ケテ御決メニナル、斯ウ云フ御所見デゴザイマスカ

○政府委員(池田勇人君) 左様デゴザイマス

○小山完吉君 ソレカラ尙先刻ノ日本銀行ノ話ハ、元々板谷サシノ質問デスカラ板谷サシノ質問ニ讓ツテ置キマス

○委員(三土忠造君) 大河內委員カラ財産稅ニ移ル前ニ、是迄ノ議題ノ中ニ關聯シタコトニ付テ御聽キニナリタイコトガ御アリダサウデスカ、大河內子爵

○子爵大河內輝雄君 昨ハハチヨット伺フノデアリマスガ、日本銀行ノ貸出金ハ是ハ關係ナイサウデゴザイマスガ、金額ハ四百二十三億五百萬圓、斯ウ云フ風ニ資料ニ出テ居リマスガ、左様承知シテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 宜シウゴザイマス

○子爵大河內輝雄君 尙伺ヒマスガ、是ハ只今參考書ヲ頂戴シタノデアリマスガ、此ノ參考書ニ依リマス、特殊銀行等債券二十八億三千四百萬圓、ソレカラ國外關係債券十四億五百八十三萬二千圓トアリマスガ、ソレカラマダ國外關係貸付金、ソレガ三億二千九百萬圓、之ヲ三ツ密セタ位ノモノガ今度關係シテ來ルト思ヒマスガ、サウ承知シテ宜シウゴザイマスカ、數字ノコトデスカラドウナカラデモ……

○政府委員(福田越夫君) 預金部ニアリマシテハ八月末現在六百五十一億圓ノ勘定ニナツテ居リマスルガ、此ノ勘定ノ中借方ノ部ヲ御覽願ヒタイト思ヒマス、內譯ハ左様ニナツテ居リマスルガ、此ノ中外地關係ノモノガ約四十億デアリマス、此ノ外地關係ノモノハ今同整理原則ニ依リマスル、先ヅ大體是ハ赤ト見ナケレバイカスト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ尙內地關係ノモノニ致シマシテモ、取立困難ナモノモ相當起ルト思ヒマス、總觀致シマスト二十億位ニ見テ居ルノデアリマス

ガ、二十億以內ニ見テ居リマスルガ、サウ致シマスト赤全體ガ六十億ト云フヤウナ見當ニ相成リマス、只今極メテ大難把デアリマスルガ、損失ハ其ノ位ニ認メテ居リマス

○子爵大河內輝雄君 之ヲ全部積立金デ償却ガ出來ナイダラウト思ヒマスガ、サウスルト幾ララ積立金デ補填シテ、ソレカラ幾ラ一般會計カラ出シマスノデスカ、數字ダケデ宜シウゴザイマス

○政府委員(福田越夫君) 積立金ハ二十二億六千萬圓デアリマス、從ヒマシテ此ノ六十億ノ中二十二億六千萬圓ト云フモノハ、積立金ニ依ツテ償却シ得ルト斯様ニ考ヘマス、サウスルト差額ガ三十七億圓トナルノデアリマスルガ、是ガ一般會計カラ考慮ヲ要スルト云フ風ニ考ヘラレマス

○子爵大河內輝雄君 昨ハソレデ宜シウゴザイマスガ、序デニ財産稅ニ入りマシテ宜シウゴザイマスカ

○委員(三土忠造君) 此ノ際ニ伊江男爵カラ、チヨット沖繩縣ニ關スル此ノ法案ニ關係シタ問題ヲ、委員外ノ質問ヲ許シテ戴キタイト云フコトデアリマスガ、許可致シテ御異議ゴザイマセヌカ

○異議ナシト呼フ者アリ

○委員外議員(男爵伊江朝助君) 會期切迫ノ際ニ、特ニ委員外ノ質問ヲ御許シ下スツタ委員長ニ對シテ厚ク感謝ヲ致シマス、同時ニ多數御質問ノ際、特ニ御許シ下サツタ諸君ニ對シテ深謝ヲ致シマス、戰時補償特別法案ヲ見マスルト云フト、納稅義務者ハ法律ヲ施行スル際、現ニ戰時補償請求權ヲ持ツテ居ル者、又ハ本法施行前ニソレニ付テ決濟ヲ受ケタ者、諸リ企業整備措置

法デ、特殊決濟ヲ受ケタ者、戰爭保險ヲ特殊預金デ賣ツタ者、終戰後現金決濟ヲ受ケタ者等デアリマス、而シテ是等ノ義務者ノ中ニ、戰爭保險ヤ個人ノ強制疎開ニ付テ、納稅義務者ガ個人ノ場合ハ、請求權者毎ニ五萬圓、法人ノ場合ハ、請求權者毎ニ一萬圓ヲ控除サレルコトニナツテ居リマス、然ルニ別表中南洋群島及ビ沖繩ニアル、戰爭保險契約者ノ保險金ニ對シマシテハ、免稅ハ各請求權者毎ニ一萬圓ト差別のニ取扱ハレテ居リマス、南洋群島ハ兎モ角ト致シマシテ、沖繩縣ヲ南洋群島ト一緒ニ特殊取扱ヒニシタ點ニ付テ伺ヒタイト思フノデアリマス、思フニ現在沖繩ハ「マツカール」司令部ノ指令ニ依ツテ日本ノ行政權ガ及バナイ爲ニ、外地取扱ヒニサレタノデアリマセウガ、是ハ沖繩縣民ニ對シテ少シ同情ノナイ取扱ヒデアルト思ヒマス、現在沖繩ニ對シテ行政權ヲ施行シナイト云フコトハ、「マツカール」司令部ノ、占領地ニ對スル行政の監視上ノ一時的措置デアリマシテ、永久ニ日本カラ分離スルト云フ確定の措置ヲ意味スルモノデハナイト思ヒマス、其ノ證據ニハ「マツカール」司令部ノ「聲書」ニ依リマスルト、明カニ此ノ措置ハ「ボツダム」宣言ニ依リモノデハナイト云フ意味ノ但書ガ附イテ居ルノデアリマス、而モ沖繩縣民ハ戰爭中強制的ニ疎開サセラレタ者ガ約七萬人モ居リマス、又同地ニ於キマシテ十數萬人ノ人命ト、數千萬圓ノ財産ヲ失ツテ居リマス、而シテ縣民ノ忠誠心ハ沖繩各地ニ於キマシテ、第一線ハ沖繩縣民ガ當ツテ、能ク不完全ナ武器ト無防備ヲ以テシテ數千萬ノ強敵ト戰ツタノデアリマス、其ノ證據ニハ數萬ノ正規ノ軍隊

ガ無條件降伏ヲシテ居ル際ニ、沖繩ノ青年男女及ビ中等學校ノ生徒ガ、「海行カバ」合唱シテ枕ヲ並ベテ死シタリ。事實ガアルノデアリマス、斯クノ如ク日本防備ニ甚大ナル犠牲ヲ拂ハシメタル忠勇ナル國民ニ對シテ、單ナル一時の行政措置ノ爲ニ、無慈悲ニモ請求權ヲ削除シテ多分ノ納稅ヲ強ヒルガ如キハ、政府ノ御處理ニ對シテ誠ニ遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス、私ハ近イ將來ニ是キマシテ、現在ノ「マツカール」司令部ノ行政措置ガ、必ズヤ解除サレルモノト確信スルモノデアリマス、又同時ニ斯クアラナケレバナシト念願スル一人デアリマス、斯クノ如キ事情ノ下ニ於テ設定セラレタル法律案ノ中ニ、差別待遇ヲ置クト云フコトハ、政府ヨリ自分ノ領土ヲ放棄スルト云フヤウナ感ゾ與ヘルコトハ、是非非常ニ遺憾ニ堪ヘナイコトデアリマス、沖繩縣人ノ戰爭保險ハ大凡一億圓デアリマス、而シテ一萬圓ノ請求權トシテ計算致シマスナラバ、總額約三千萬圓程度デアリ、五萬圓トシテ計算致シマスナラバ五千萬圓程度ノモノナリマス、即チ一萬圓以下ノ請求權者ガ多數アツテ、五萬圓ニ引上ゲマシテモ其ノ金額ハ二千五百萬圓程度ノ増加ニシカナライノデアリマス、沖繩縣人ハ疎開者、非疎開者共ニ殆ド全財産ヲ犠牲ニサレタ被害者デアリマス、戰爭保險金ヲ以テ些少ナガラモ生活ヲ維持シテ行カウトスルモノデアリマス、斯カル今次ノ戰爭ノ最大犠牲者ニ對シテ特別扱ヒヲ以テ苛酷ナル徵稅ヲシヨウトスノハ如何ナル理由デアリマセウカ、ル尙現在ハ沖繩縣人ノ疎開者達ハ目下歸還スル者ガ多數アルノデアリマス、是等ノ人々ハ「マツカール」司令部ノ同情

アル措置ニ依ツテ特殊ノ預金カラ一人當リ現金一千萬圓ヲ引出シ、尙殘額ハ通帳ヲ持歸ルコトヲ許サレテ居ルノデアリマス、斯カル同情アル措置ト、此ノ法案トハ、沖繩縣人ノ請求權ヲ特別扱ヒニスルコトトハ誠ニ逆ノ感ゾヲ致スノデアリマス、以上ノ理由ハ沖繩縣ニ對スル戰爭保險契約ノ被保險者ニ對シマシテ個人一萬圓ト限定サレタノハ無理ト思フノデアリマス、大藏大臣ハ之ヲ日本一般並ニ五萬圓ニ訂正サレル御意思ハナイノデアリマス、以上ノ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○國務大臣(石橋湛山君) 此ノ點ハドウ云フ風ニ取扱フコト云フコトハ、日本政府トシテモ研究致シマシタノデアリマス、結局將來ノコトハ兎ニ角トシテ、差詰モ沖繩ハ本法施行地外ト云フコトニシテ、聯合國司令部ノ意思デサウ決メラレタ譯デアリマス、マア其ノ間ニモ色々折衝ガアツタノデアリマス、結局茲ニ法律ニアリマスヤウニ、沖繩等ノ人達ニ對シテハ一萬圓限度シカ之ヲ認メルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ事情ニナツタ譯デアリマス、尙沖繩ノ住宅ノ復興等ニ付キマシテハ「アメリカ」ガヤツテ居ル譯デアリマス、ソレニ對シテ日本カラ、今度ノ追加豫算ニ現レテ居リマスヤウニ、其ノ資料等一億圓送ル、向フヘ日本ノ財政負擔ニ依ツテ送ルコトニ相成ツテ居リマス、マア左様ナコトデ現狀ニ於テハ彼處ハ特別扱ヒヲ受ケザルヲ得ナイ政治情勢ニアル、其ノ政治的關係カラス様ナコトニナツテ居ル次第デアリマス、御質問ノ御趣意ハ甚ダ御尤モト思ヒマス、現狀ニ於テハ日本政府トシテ之ヲ修正スルコトガ出來ナイ事情ニアルコトヲ御了承願ヒマス

○委員外議員(男爵伊江朝助君) 實ハ斯ウ云フ小サナ地方問題ニ對シマシテ貴重ナ時間ヲ費ヤスコトハ甚ダ相濟マスト思ヒマス、實ハ沖繩縣ノ被害者ノ連中、大藏省ニ參リマシテ、ドウカ内地同様ニ一ツ五萬圓ニ引上ゲテ戴キタイト云フ希望ヲ申述ベタノデアリマス、サウシタラ大藏省ノ事務當局ガ前方ハ朝鮮、臺灣ヲ見テ見、少シモ賈ハヌデヤ、一萬圓デモ結構デヤ、ナカト云ハレテ非常ニ憤慨ヲ致シマシテ、之ヲ「マツカール」司令部ニ直接陳情スルト云フコトヲ申シテ居リマシタカラ、私ハサウ云フ國家ノ問題「マツカール」司令部ニ言ツテ呉レタハ困ル、ソコデ私大藏大臣ニ御伺スルカラト云ツテ私ノ此ノ質問ヲシタル次第デアリマス、尙附加ヘテ申上ゲマメリカ、私サツキ申上ゲマシタ通り「アメリカ」ハ決シテ向フ領土ノスツカリ取ツテシマノト云フ考ハナイ、一ダリ私ハ確信ヲ致スト云フコトヲサツキ申上ゲマシタガ、實ハ日本銀行券ヲ通用シテ宜シイ、小學校ノ國定教科書ヲ皆日本同様ニシテ宜シイト云フ指令ヲ聽イタノデアリマス、私ハ前途ニ對シテ非常ニ樂觀シテ居ルノデアリマス、大藏大臣ノ已ムヲ得ズト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ政局ノ事情已ムヲ得ナイイカモ知レマセウカ、兎ニ角沖繩縣人ノ斯クノ如キ大被害ヲ被ツテ非常ニ困ツテ居ルコト云フコトダケヲ一ツ大藏大臣ニ御記憶ヲ願ヒマシテ一層ノ御同情ヲ願ヒタイト思ヒマス、以上申上ゲテ置キマス

○委員長(三土忠造君) 是デ只今議題ニシテ居リマシタ四ツノ法律案ノ質疑ハ一應打切ツタコトニ致シマシテ、後思ヒ付イタ御質問ガアリマシタラ：：是デ一應オ終ヒニ致シマス、財産稅法案、之ニ伴フ財産稅等收入金特別會計法案、此ノ二ツヲ一括シテ議題トシテ御質問願ヒタイト思ヒマス、通告順ニ依リマシテ橋本辰二郎君

○橋本辰二郎君 私ハ質疑ニ入ル前ニ政府側ニ御願ヒ致シテ置キマス、此ノ三號委員室ハ皆聲ノ反對ガ頗ル惡ク致シマシテ、御答辯ガ室内全部ニ徹底セヌヤウナ感ミガアリマス、恐入リマシテ成ルベク聲ノ大キクシテ御答辯ヲラムコトヲ御願ヒ致シマス、ソレカラ補償打切りノ如キ國民トノ公約ヲ無視シテ國民ヨリ背信ノ議リヲ受ケルコトヲ甘シセラレマシテ、又私有財産法ヲ否認シ、憲法違反ノ嫌疑アル如キ此ノ財産稅ヲ忍ビテ御提出ニナリマシタル所以ノモノハ、餘儀ナキ事情ノアルカノヤウニ私ハ承リマシタ、併シ其ノコトハ事實デアルカドウカハ私ハ存ジマセモ、假ニソレガ事實デアルト致シマシテモ、ソレハ自明ノコトデアリマス、此ノ議場ニ於キマシテハ表面ニ現ハレタコトニ付テ論議スベキカト存ジマス、私ハ所謂野人禮ニ綱ハズニ無遠慮ニ質問ヲ致シカモ知レマセウカ、併シトガラ私ノ質問ニ御答辯ガ時局柄不適當ト御認ニナリマスナラバ答辯ヲ留保セラレテモ宜シウガイマス、又事務ニ關スル御答辯ハ政府委員ヲシテ御答辯ニナリマシテ結構デゴザイマス、ソレデハ是ヨリ質問ニ入リマス、一昨日ノ本議場ニ於キマシテ、大藏大臣ハ此ノ法律ニ依ツテ豫期スル所ノ收入、即チ四百三十五億圓ガ不足シタ場合ニ於テハ免稅點ヲ引下ゲテ五萬圓ニスルモ差支ナイト云フ意思ノ御説明ガアリマシタ、サウ致シマス、此ノ四百三十五億圓ト云フ大藏省ノ計數ハ杜撰ナモノデアツテ、自信ガ置ケナイト云フコトニナリハシナイカト思ヒマス、自ラ提案シタモノニ對シテ自ラ疑ヲ抱クト云フコトハ如何ナモノデアルカト私ハ思ヒマス、尙五萬圓ニ引下ゲテモ差支ナイト仰セニナル以上、五萬圓ニ引下ゲタ場合ニ於テハ十萬圓ヨリ五萬圓迄ノ間ニ於テ幾何ノ收入ヲ得ラレカト云フ御見込ガ付イテ居ルト思ヒマス、先ヅ其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) 若シ四百三十五億圓ノ收入ヲ今御審議ヲ願ツテ居リマス財産稅ニ依リマシテ非常ニ之ヲ削減コトガアルナラバ、十萬圓以下五萬圓迄ノモノニ課稅スルコトガアルカモ知レナイト云フノハ、是ハ原則ノ問題デアリマシテ、之ニハ實ハ私ハ稅制ノコトハ能ク知リマセウカ、アメリカ「ブタリデ」ハ左様ナ方法ヲ採リマシテ、例ヘバ此ノ前日本ノ財産稅ノ研究ニ態々來タ「チャート」ト云フ人ノ案ノ如キハ「エー・ピー・シー」ト云フ三階級ニ分ケマシテ、先ヅ「エー」ノ階級ヲ取ル、ソレカラ次ニ「ピー」ノ階級ヲ取ル、ソレデ所期ノ豫算ニ達シナイ場合ハ「初メデ」シ「ノ階級ヲ取ル、斯ウ云フヤウナヤリ方ガ外國ニアル、ソレハ色々ナ意味ガアルデアリマセウカ、一ツハ左様ニ致シマス、其ノ「エー・ピー」階級、即チ今度ノ此ノ稅法ニ依リマスレバ、十萬圓以上ノ資産ニ對スル課稅、其ノ課稅ヲ監視スルコトニナル、詰リソコニ非常ニ足リナイト云フコトデアレバ、今度自分ノ方ヘ掛ツテ來ルカモ知レナイト云フ民衆ノ監視ガ強クナルト云フヤウナ意味モアル譯ダト云フコトモ聞イテ居リマス、兎ニ角左様ナ譯デ、所謂「シー・クラス」ト云フモ

ノノ課税ハ、事實ハシナイケレドモ、取ルコトガアルベシト云フヤウナ制度モ類例ノナイコトハナイト聞イテ居ルノデアリマスガ、併シハソレトハ又別デアリマスガ、無論政府ハ四百三十五億圓ノ收入ニ確信ヲ持ツテ調査ヲシテ居ル譯デアリマスガ、併シ只今申上ゲマシテ理由モアリ、ソレ又其ノ爲ニハ、所謂第三者ノ通告制度ト云フヤウナモノモ今同ノ税法ニ加ヘタヤウナ譯デ、多少ソコト新シイ、今迄ノ日本ノ税法トシテハ新シイ分子ヲ其處ヘ含メテアル譯デアリマス、但シ十萬圓以下五萬圓迄ト云フノハ、税法ノ中ニハ入レズニ、唯左様ナコトモアルカモ知レナイト云フ大藏大臣ノ聲明ダケニ止メテ置イタ次第デアリマス、實際ハ、繰返シテ申上ゲマシマス、四百三十五億圓ノ歳入ニハ、無論十萬圓以上ノ資産ノ納税デ足リルカト考ヘテ居リマス、ソレカラ萬一十萬圓以下ノ課税ヲスルト云フヤウナコトニナリマスレバ、是ハ此ノ税法ト又別ニ御審議ヲ願フテ、新シイ税法ニ依ルベキモノト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○橋本展二郎君 五萬圓ニ引下ゲル場合ニ於テ、別ノ法案ヲ御提出ニナルコトハ、是ハ當然デアリマスガ、兎ニ角此ノ不足ノ生ジテ場合ニ於テハ、斯クノ如キ手段ヲ執ルト云フコトヲ仰セニナレバ、其ノ不足スル場合ニ對シテ、超過スル場合モ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、若シ豫定ノ四百三十五億圓ヲ超過シタ場合ニ於テハ如何ナル手段ヲ御執リニナリマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ相當研究シテ居リマスカラ、左様ニ無暗ニ超過スルコトモナイト考ヘテ居リマス、併シ若シ超過シタ場合ニハ、ソレハ別

段差支ハナイ譯デアリマシテ、不足ノ場合ダケノ話デアリマス

○橋本展二郎君 多々益々、辨ズル如キ超過差支ナイト云フコトハ其ノ意ヲ得スデスネ、ソレモ普通ト課税デアレバ是ハ怨スベシ、併シナガラズクノ如キデスネ、殆ド國民ノ財産ヲ沒收スル如キ高率ノ税制ニ於テ、超過シテモ一向差支ナイト云フコトハ、甚ダドウモ其ノ意ヲ得ヌト思ヒマスガ、ソレデ宜シインデスカ

○國務大臣(石橋湛山君) ソレハ超過ニモ依リマスネ、大藏大臣ノ聲明モ、著シク不足シタ場合ト云フノデアリマシテ、此ノ計算ニ著シク超過スルト云フヤウナコトガアリマシタラ、是ハモウ甚ダ計算杜撰ナ譯デアリマシテ、相濟マナイ譯デアリマスガ、併シ其ノ場合ニモ、萬一左様ナ誤リガアツタトスレバ、是ハ誤リガアツタラ申譯アリマセヌガ、超過シタラドウモト云フコトニハ相成ラナイノデアリナカト思フノデアリマス、アノ際明ハ飽ク迄モ不足シタ場合ダケノコトデアリマシテ、超過シタ場合ノコトニ付テハ考ヘテ居ナイノデアリマス

○橋本展二郎君 本税ハ物税ガ非常ニ多イト思ヒマス、私等ノ推算ニ依リマスレバ、現金ハ四分ノ一位ノモノデアツテ、アトハ主トシテ物納デアラウト思ヒマスガ、此ノ物納ニ付キマシテハ、其ノ物納ノ種類ハ、納税者ノ任意ニ御任セニナリマスガ、又ハ政府ニ於キマシテ其ノ種類ヲ御指定ニナルノデアリマセウカ、如何デゴザイマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 政府ニ於テ順序ヲ指定スル積デアリマスガ、其ノ點ハ尙詳シク主税局長カラ申上ゲマス

○政府委員(池田勇人君) 財産税ノ物

納致シマス場合ノ種類、並ニ順序ハ勅令デ規定スル考デゴザイマス、ソレデ金錢デ納付スルコトガ困難デアツタ場合ニハ、其ノ困難ナ部分ニ付キマシテ、先ツ國債、社債ノ物納ヲ認メ、又ソレモ困難デアリマス場合ニハ、株式、不動産ノ物納ヲ認メ、ソレモマダ足リナイト云フ時ニハ、動産ノ物納ヲ認メル考デゴザイマス、而シテ個々ノ株式或ハ不動産ニ付キマシテハ、納税者ト稅務當局ト協議ヲ致シマシテ決メタイト考ヘテ居リマス

○橋本展二郎君 御答辭ニ依リマス、現金、有價證券等ハ有リギリ取上ゲル、其ノ不足シタ分ヲ不動産ニ課ケルト云フ、斯ウ云フコトニ解シテ宜インデアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 現金ハ御持チニナツテ居ルモノヲ全部ト云フ考ヲ持ツテ居リマセヌ、納税者ノ方ニ於キマシテ、只今ノ如ク第一封鎖預金ハ餘程少クナツテ居リマスノデ、餘リ第一封鎖預金カラノ納税ハ期待出來ナイト思ヒマス、併シ其ノ方ガ新圓等ヲ澤山御持チノ場合ニハ、新圓ヲ出シテ賈フコトモアルト考ヘテ居リマス

○橋本展二郎君 新圓ヲ退藏シテ居ル人ガ税金ニ出スト云フコトハ、是ハ想像ガ出來ナイ譯デスガ、例ヘバ第二封鎖預金ニ關スル課税ハ第二封鎖預金ヨリ取り、株式ニ對スル課税ハ株式ノ内ヨリ取ルト、斯ウ云フ按分の二行ヲノデアリマスルガ、總體見透シテ、サウシテ全額ニ滿テラダケドノ財産カラデモ御取りニナルト云フ意味デアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 舊勘定ニ屬スル第二封鎖預金ニ對シマシテハ、其ノ第二封鎖預金ニ課税ニナル財産稅ヲ納

メ得ル規定ヲ置イテ居リマス、其ノ他ノ財産ニ付キマシテハ按分ト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ

○橋本展二郎君 其ノ點ハ分リマシタ、次ニ新券ノ獲得者デアリマスガ、御承知ノ通り戰爭中ヨリシテ、我が國ノ富ヲ移動、再分配ト云フモノハ相當範圍ニ互ツテ負担ニ行ハレテ居ツタノデアリマス、ソコデ從來ノ中産階級ト云フモノハ、企業整備デ職業ヲ怠ハレル等、其ノ他ノ關係デ漸次凋落ヲ致シマシタ、此ノ反對ニ當時徒手空拳デアツタ連中ハ著シク頭ヲ持上ゲマシテ、所謂新興所得階級ト云フモノヲ作ツタコトハ御承知デアリマセウ、處ガ此ノ現象ハデスネ、單ニ戰時中ニ止マラス、終戰後ニ於テ特ニ其ノ勢ヲ盛ニ致シタノデアリマス、ソレデ本年三月、通貨ノ封鎖後ニ於キマシテモ、其ノ勢ト云フモノハ一層猛烈ヲ極メマシテ、今日新圓ノ獲得者ト云フモノハ無數ニ出テ居リマス、三月ノ末ニ於テ日本銀行券ガ百六十億ニ減ツタガ、今日デハ六百億ニ増シタト云ヒマスルガ、其ノ通貨増發ノ三分ノ二以上ハ新券ノ所有者ノ手中ニ在ルト云フコトデアリマス、元來此ノ新券ニ依ツテ富ヲ成シタ人々ハ實ハ餘リ好マシクナイ手段ニ依リマシテ、利潤ノ追求ニ没頭致シマシタ人々ガ多イカノヤウニ思ヒマス、ソレデ思フニ任セマシテ金錢ヲ湯水ノ如ク浪費シテ居ル形跡ガアリマス、道義ノ頹廢ヲ來ス原因モ一ハ茲ニ在ル、又「インフレーション」激成スル原因モ亦茲ニ在ルト思ヒマス、是等ノ新券連中ヲ其ノ爲メニ傍觀、放任スルト云フコトハ、社會道徳ノ上カラ見テモ、是ハ看過スベキ問題デハナイト思ヒマス、殊ニ其ノ爲メス所ハ、所謂多ク

ハ關行爲デアリマス、又正シキ行ヒノ下ニ相當ナ利潤ヲ得テ居ル人モ無論其ノ中ニアリマセウガ、多數ハイカガハシキ手段ニ依ツテ得タモノノ見ルモ差支ナイト思ヒマス、是等ノ人ハ課税ハ確カニ連脱致シテ居ル、税金ト云フモノヲ果シテドノ位負擔シテ居ルカト云フコトヲ私等ハ知リマセヌガ、少クモ其ノ大部分ハ課税ヲ免レテ居ルト看做サナケレバナリマセヌ、是等ノ對シマシテ、政府ハ何等カノ手段ヲ執ラナケレバナラヌト思ヒマスルガ、如何ナル御準備ガアリマスルカ、其ノ點ヲ承リタイ、且又斯ウ云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、此ノ附儲ケタ連中ト云フモノハ、日本ノ讀者ノ多數ノ意圖ハ勿論、進駐軍ノ意圖ニモ反シマシテ、却テ戰爭ヲ歡迎スルカノ心持ヲ宣揚スルト云フヤウナコトニナリマシタカト思ヒマス、是ハ實ニ由々シキ問題ト思ヒマスルガ、是等ノ對シマシテ大藏省トシテ如何ナル處置ヲ御執リニナルカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) 御質問ノ御趣意ハ結局此ノ新圓ナルモノヲドウスルカト云フコトニナルト思ヒマスガ、先程豫算總會デモ其ノ問題ニ付テ御答シタ譯デアリマス、結局今最後ノ御言葉ノ中ニ、サウ云フ新圓ヲ今澤山ニ獲得シタヤウナ連中ハ戰爭ヲ希望スルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、左様ナコトハ恐ラアルマシテハ思フノデアリマス、唯何處迄モ斯ウ云フ今日ノヤウナ變態ノ經濟ガ續イテ、新圓舊圓ノ區別ガアルコトハ希望シテ居ルダラウト思ヒマス、詰リ新圓、舊圓ノ區別ガアリ、ソレカラ又色々ノ統制等ガアルト云フコトガ、彼等ガ跳梁シ得ル結局原因デアリマス、デアリマスカラ、此

シテ日本政府ガドコ迄ヤルノカト云フコトモ分リマセヌ、我々トシテハ、假ニ商工省等ノ計算シテ居ツタヤウナ數百億圓ノ解體費、荷造費、運賃ガ要ルト云フコトハ、今日ノ日本ノ財政狀態トシテ負擔シ得ル所デハナイノデアリマシテ、從ツテ若シ此ノ問題ガ交渉案件ニナリマス場合ニハ、一ツ工場渡、現場デノ工場デ渡スト云ノ位ノ、一ツ交渉ヲシテ貰ヒタイト云フコトハ常ニ申シテ居リマス、併シ是モ唯申シテ居ルダケデアリマシテ、マダ其ノ交渉等ノ段階ニ入ツテ居リマセヌ、斯様ナ譯デアリマスカラ、從ツテ賠償施設ニ對スル補償ト云フコトモ、何カノ方法ヲ取ラナケレバナラヌ、全額補償ト云フコトガ可能デアルノカ、或ハサウ云フコトガ公平ナノデアルノカ、今度ノ戰時補償特別措置法ニモ見合セナケレバナラヌ問題デアリマスノデ、其ノ點モ考慮ハ致シテ居リマスガ、賠償施設其ノモノノ金額サヘモハツキリシナイ譯デアリマスカラ、從ツテ何等ノ結論ニ到達シテ居ナイ譯デアリマス

○樺木辰二郎君 重ネテ承リマスガ、政府於キマシテ、是ハ誠ニ氣ノ毒ダカラ補償ハ出來ルダケシテ、幾分カ救済デモシテヤラウト云フ思召ハアルモノト解シテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 勿論如何ナル場合デモ、今回ノ戰時補償特別措置法ニ於テモ同様デアリマスガ、左様ナ氣持ヲ持つテ居ルコトハ持つテ居リマス、是ハ財政負擔ノ問題、其ノ他ノ處置トノ鈞合ノ問題其ノ他ヲ考慮シナケレバナラヌ譯デアリマスガ、出來ルダケノコトハ致シタイガ、猶ドレダケノコトヲスベキカト云フコトハ決ツテ居リマセヌ

○橋本辰二郎君 恩召ノ程ハ分リマシ
タ、内地ニ於ケル所ノ賠償ノ對象物ニ
對シテ、及フ限リノ補償ハシテヤラウ
ト云フ御深切ナル恩召ガ政府ニアルト
云フコトヲ承リマシテ私ハ非常ニ喜ビ
マス、然ラバ是ガ海外ニ於キマシテノ
法人、個人ノ資産モ同ジク聯合國側ヨ
リ之ヲ殆ド接收セラレテ居リマス、是
モ接收セラレテ居リマス、先方デハ賠償
ノ對象ト見テ居リマス、内地ニ於
ケル所ノ工場其ノ他ノ賠償對象物ニ對
シテ補償シテヤラウト云フ御深切ガア
リトスレバ、外地ニ於キマシテモ同一
ノ境遇ニアル者ニ對シテハ、之ヲ矢張
リ補償シテヤラウト云フ恩召ノアルモ
ノト解シテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(石橋湛山君) 勿論出來ル
ダケノコトハ致シタイト考ヘテ居リマ
ス、唯併シ此ノ外地ノ資産ニ付キマシ
テハ、チヨツト申上ゲテ置キマスガ、
マダ賠償トシテ付テ行クノヤラドウ
ヤラ性質ハ未ダハツキリ致シテ居リマ
セス、殊ニ此ノ産業施設ノ如キハ、大
體賠償物資トシテ、或ハ戰利品トシテ
持ツテ行カレル、或ハソコデ讓渡サレ
ルノデハナイカト、是ハ想像スルノデ
アリマスガ、個人ノ財産、土地デスト
カ、家屋デアリマスとか云フヤウナ個
人ノ財産ニ付テハ、全然其ノ性質ガド
ウナリマスモノカ、ハツキリ致シマセ
ヌ、サウ云フ譯デ、只今外地ノソレ等
資産ニ付テノ計算ハ政府トシテ行ツテ
居リマスガ、之ノ處置ハ先方ガハツキ
リシナイモノデスカラ、コチラモハツ
キリ出來ナイ、斯ウ云フ譯デアリマス
○橋本辰二郎君 次ニ現在ノ金利ニ付
キマシテハ、ドウ云フ御考ヲ御持チニ
ナツテ居ルデセウカ、近ク是ハ引上ゲ
ナケレバナラヌト云フヤウナ御考デア

リマセウカ、如何デゴザイマセウカ
○國務大臣(石橋湛山君) 是モ屢々、何
カノ機會デ申上ゲタコトデアリマス
ガ、現在ノ金利ノ水準ハ、物價水準ス
ラハツキリシナイノデアリマスガ、ソ
レ以上ニ金利ノ水準ト云フモノガ、市
場ガナイモノデスカラハツキリ致シマ
セス、併シナガラ日本ガ標準ナ敗戦ノ
結果、資本ヲ失ツタト云フ點カ見マ
シテ、原則トシテハ、金利ハドウモ現
在ヨリモ高カラザルヲ得ナイモノト、
斯ウ考ヘテ居リマス、但シ外資デモ入
ルト云フコトニナレバ是ハ別ナコトニ
相成リマスガ、是モ今色々ノ點デ以
テ考究ヲ致シテ居ル次第デアリマス
○橋本辰二郎君 財産稅ノ收入ノ大部
分ヲ物納デ占ムルト云フコトハ先程申
上ゲマシタガ、其ノ物納ハ早晚換金、
即チ金ニ換ヘナケレバナリマセヌガ、
其ノ處置ニ付キマシテハ、ドウ云フ方
法ヲ御執リニナル御積リカ、ソレヲ承
リタイ

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ財産稅
ノ物納デ入ルモノバカリデハナク、全
國的ニ、國ノ、國有財産ニナツテ居リ
マスモノニ付キマシテハ、何等カ新シ
イ處理ノ方法ヲ講ジタイト存ジマシ
テ、只今研究ヲ致シテ居リマス、ソレ
ニハ民間ノサウ云フ方面ノソレハ、ノ
專門家ノ援助モ受ケラレルヤウナ方式
ヲ考究致シタイト存ジテ居ル次第デア
リマス
○橋本辰二郎君 此ノ物納ヲ金ニ換ヘ
ルト云フコトハ容易ナコトデハナイト
存ジマスルガ、二十一年度ノ歳入ノ不
足ニ補填スル爲ニ用ヒラレル金額モ少
ナカラヌト思ヒマスガ、是モナカ
政府ノ御期待ノ通りニ、果シテ政府ノ
必要トスル時ニ、其ノ金ガ入ルカドウ

カト云フコトハ、大變私ハドウモ疑ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、殊ニ不動産
ノ如キモノハ是ハ澤山ナ幾億ト云フ筆
數ニ上ルモノデアリマシテ、之ヲ保管
スルニ致シマシテモ大變ナコトデアラ
ウト思ヒマシテ、是ハ何カノ特別ノ機
關ヲ御推ヘニナラナケレバ、現在ノ政
府ノ御役人ノ手ニハ到底負ヘナイト私
ハ考ヘマス、ソレカラ有價證券ニ致シ
マシテモ、大藏大臣ハ其ノ方ノ專門家
デキラツシヤルノデ御承知ノ通りニ、
市場ニ於テ一萬株ヲ賣付ケヨウトスレ
バ容易ナコトデナイ、必ズ其ノ株ノ相
場ハ激落ヲ致シマス、市場ト云フモノ
ハ餘程廣イヤウニシテ割合ニ狭イモノ
デアリマシテ、是モナカ
困難ガ伴
フト思ヒマス、又不動産ノ如キモノニ
付キマシテハ、隨分國費ニ準ズベキ所
ノ貴重ナル建造物モ多アルト思ヒマ
ス、而シテ之ヲ買ヒ得ル人間ハドウ云
フ種類ノ者カト言ヘバ、詰リ是迄ノ資
産階級ハ悉ク不動産カラ或モノヲ皆提
供スルノデ、無論之ヲ買フ力ト云フモ
ノハナイノデアリマス、而シテ之ヲ買
ヒ得ル者ハ先程私ノ申シマシタ好マシ
カラザル新金獲得者デアアル、新金獲得
者ヲシテ安莊ナル邸宅ニ昂然トシテ住
居シ、又ハ何等ノ趣味ノナイ何等ノ鑑
賞力ノナイ者ニ對シテ、國費ノ書畫
骨董類ヲ持タセルト云フコトハイカガ
ハシイカト思ヒマス、是等ハ丁度沐猴
ニシテ冠スルヤウナ形ヲ呈シマシテ、
甚ダ面白カラヌ結果ヲ生ズルノデハナ
カラウカト云フコトヲ私ハ恐レマスノ
デ、此ノ物納ノ御處分ニ付キマシテ
ハ、餘程御考ヲ御願ヒ致シタイト思ヒ
マス、其ノ點ハ宜シウゴザイマス、次
ニ是ハ政府ニ於キマシテハ、國民ノ最
低生活ヲ保障スルト云フ準備ガアルカ

○橋本辰二郎君 然ラバ私ノ意思ヲ大
臣ヨリ厚生大臣ニ御傳ヘ願ヒタイト
思フ、此ノ財産稅ノ如キ殆ド私有財産
ヲ無視シテ沒收ニ等シイヤウナ法律ノ
課稅ヲ斷行セラレル以上ハ其ノ影響ト
云フモノハ實ニ甚大ナモノガアリマ
ス、是レ實ニ社會ノ大革命デアリマ
ス、之ガ爲ニ父祖傳來安樂ニ生活セル
人々モ本稅ノ徵收ニ依リマシテ年々急
迫ヲ昂メマス、遂ニハ破産ニ瀕シマシ
テ、生活ノ途ヲ失ヒ一家擧ツテ路頭ニ
迷フド云フ者ガ續出スルト云フコトハ
疑問ノ餘地ハナイノデアリマス、現ニ
相續稅ヲ三回收メレバ如何ナル大家モ
沒落スルト言ハレテ居リマス、斯ウ云
フ類例カラ見マスレバ、必ズヤ此ノ稅
ノ徵收後ニ於キマシテハ餘リ長イ期間
ニ亘ラズシテ、實ニ氣ノ毒ナヤウナ狀
況ヲ現出スルト云フコトハ殆ド是ハ疑
ノ餘地ガナイト思ヒマス、元來斯ウ云
フ人々ハ先祖傳來善良ナル國民ト致シ
マシテ、國家ノ費用モ主トシテ此ノ附
屬ガ負擔ヲ致シテ居リマシタ、事業ノ
發展ニ致シマシテモ、國運ノ興隆ニモ
多大ノ貢獻ヲ致シマシテ、國家社會ニ
致セシ所ノ功勞ハ蓋シ顯著ナルモノガ
アルノデアリマス、加之平素國民ノ中
堅トシテ温厚ニシテ純美ナル品性ヲ備

ヘテ居ル、聯合國ト比肩シテ毫モ遜色
ノナイ立派ナル人々ノ集團デアツタノ
デアリマス、然ルニ是等ノ高尚ナル品
性ニ富ム所ノ人々ガ、此ノ財産稅納入
後ニ於キマシテ其ノ殘存セル僅カノ資
金ヲ以テ致シマシテハ、戰時中又ハ戰
後ノドサクサ紛レニ於キマシテ、疎腕
ヲ振ツテ暴富ヲ築キシ所ノ人々ト到底
角逐スルト云フコトハ出來ナイト思ヒ
マス、サスレバ必ズヤ是等ノ人々ハ氣
ノ毒ナル境遇ニ陥リ、沒落ニ瀕スルト
云フコトハ自明ノ理デアリマス、國家
社會ニ多大ノ貢獻ヲシタ人々ヲ財産稅ノ
爲ニ路頭ニ迷ハセルト云フコト
ヲ、政府ハ之ヲ傍觀シテ可ナリト
云フ道理ハナイノデアリマス、
デ政府ハ此ノ稅制ニ伴ヒマシテ、
必然發生スルコトノ疑ナキ此ノ權レム
ベキ所ノ過去ノ功勞者ニ對スル救済ノ
準備ニ對シ、遺憾ナキヲ期セラレムコ
トヲ私ハ切ニ祈リマス、此ノコトハド
ウカ厚生大臣ニ御傳ヘ願ヒトウゴザイ
マス、次ニ私ハ大藏省デヨク擬制資本
ト云フコトヲ言ハレマスガ、擬制資本
ト云フモノハドウ云フモノデアリマス
カ、一應ノ御説明ヲ御願ヒ致シマス
○國務大臣(石橋湛山君) 大藏省デハ
別段擬制資本ト云フコトヲ申シマセ
ス、私ハ實ハ擬制資本ト云フ、言葉ヲ
使フコトハ嫌ヒデ使ハナイノデアリマ
スガ、世間デ申シマス擬制資本ト云フ
ノハ、多分英語ノ「フィクショナル・キャ
ピタル」ト云フノデアリマシテ、實質
ハ火事デ燃エテシマツタリ、戰爭デ飛
ンデシマツテ居ルガ、ソレニ對スル金
ト云ヒマスガ、帳面上ノ資産ダケガ殘
ツテ居ル、貸借對照表デ言ヘバ、物ハ
ナイケレドモ、ソレニ對シテ資本ダケ
ガ立ツテ居ル、斯ウ云フモノヲ謂フノ

低生活ヲ保障スルト云フ準備ガアルカ
ドウカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒ
マス
○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ厚生大
臣カラデモ御答シタラ如何カト思ヒマ
スガ、私知ツテ居ル限リニ於テハ、現
在賃銀制度等ニ依ツテ最低生活ヲ保障
ト言ヒマスガ、サウ云フコトヲ考究ヲ
シテ居ルト思ヒマスガ、併シ現在マダ
ソレヲ全般的ニ實行スルト云フ段階ニ
ハ今日ノ所デハ入ツテ居ナイト存ジ
マス
○橋本辰二郎君 然ラバ私ノ意思ヲ大
臣ヨリ厚生大臣ニ御傳ヘ願ヒタイト
思フ、此ノ財産稅ノ如キ殆ド私有財産
ヲ無視シテ沒收ニ等シイヤウナ法律ノ
課稅ヲ斷行セラレル以上ハ其ノ影響ト
云フモノハ實ニ甚大ナモノガアリマ
ス、是レ實ニ社會ノ大革命デアリマ
ス、之ガ爲ニ父祖傳來安樂ニ生活セル
人々モ本稅ノ徵收ニ依リマシテ年々急
迫ヲ昂メマス、遂ニハ破産ニ瀕シマシ
テ、生活ノ途ヲ失ヒ一家擧ツテ路頭ニ
迷フド云フ者ガ續出スルト云フコトハ
疑問ノ餘地ハナイノデアリマス、現ニ
相續稅ヲ三回收メレバ如何ナル大家モ
沒落スルト言ハレテ居リマス、斯ウ云
フ類例カラ見マスレバ、必ズヤ此ノ稅
ノ徵收後ニ於キマシテハ餘リ長イ期間
ニ亘ラズシテ、實ニ氣ノ毒ナヤウナ狀
況ヲ現出スルト云フコトハ殆ド是ハ疑
ノ餘地ガナイト思ヒマス、元來斯ウ云
フ人々ハ先祖傳來善良ナル國民ト致シ
マシテ、國家ノ費用モ主トシテ此ノ附
屬ガ負擔ヲ致シテ居リマシタ、事業ノ
發展ニ致シマシテモ、國運ノ興隆ニモ
多大ノ貢獻ヲ致シマシテ、國家社會ニ
致セシ所ノ功勞ハ蓋シ顯著ナルモノガ
アルノデアリマス、加之平素國民ノ中
堅トシテ温厚ニシテ純美ナル品性ヲ備

○國務大臣(石橋湛山君) 大藏省デハ
別段擬制資本ト云フコトヲ申シマセ
ス、私ハ實ハ擬制資本ト云フ、言葉ヲ
使フコトハ嫌ヒデ使ハナイノデアリマ
スガ、世間デ申シマス擬制資本ト云フ
ノハ、多分英語ノ「フィクショナル・キャ
ピタル」ト云フノデアリマシテ、實質
ハ火事デ燃エテシマツタリ、戰爭デ飛
ンデシマツテ居ルガ、ソレニ對スル金
ト云ヒマスガ、帳面上ノ資産ダケガ殘
ツテ居ル、貸借對照表デ言ヘバ、物ハ
ナイケレドモ、ソレニ對シテ資本ダケ
ガ立ツテ居ル、斯ウ云フモノヲ謂フノ

○國務大臣(石橋湛山君) 大藏省デハ
別段擬制資本ト云フコトヲ申シマセ
ス、私ハ實ハ擬制資本ト云フ、言葉ヲ
使フコトハ嫌ヒデ使ハナイノデアリマ
スガ、世間デ申シマス擬制資本ト云フ
ノハ、多分英語ノ「フィクショナル・キャ
ピタル」ト云フノデアリマシテ、實質
ハ火事デ燃エテシマツタリ、戰爭デ飛
ンデシマツテ居ルガ、ソレニ對スル金
ト云ヒマスガ、帳面上ノ資産ダケガ殘
ツテ居ル、貸借對照表デ言ヘバ、物ハ
ナイケレドモ、ソレニ對シテ資本ダケ
ガ立ツテ居ル、斯ウ云フモノヲ謂フノ

ドラウト思ヒマス

○橋本辰二郎君 其ノ或方面デ稱ヘラレタル擬制資本ト云フコトニ對シテ大藏省モ共鳴セラレテ居ツテ、大藏省カラ發表セラレル文章ノ中ニ斯ウ云フ文字ヲ使ツタヤウナ例ガアルヤウニ記憶致シマスガ、ソノナコトハナイノデアリマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) ソレハゴザイマセウ、世間デ擬制資本ト云フテ居ルモノデスカラ、世間並ノ言葉ヲ使ツタコトハ、是ハアルト思ヒマス

○橋本辰二郎君 サウスルト膨脹シタル所ノ資本ニ對スル對象物ガナイ、金ダケ殘ツテ居ツテ物ガナト云フノヲ擬制資本ト謂フ、擬制資本ト云フモノヲ、之ヲ一掃スルニアラザレバ實際ノ經濟ノ再建及ビ經濟ノ民主化ハ出來ヌト仰セラレルガ、若シモ其ノ御意見ニ御同感デアリトスレバ、擬制資本ノ最モ甚ダシキハ公債デアリマス、公債ニ對シテハ何ノ物モ殘ツテ居リマセヌガ、其ノ擬制資本ヲ一掃スルト云フコトガ政府ノ主タル經濟再建ノ目的ナリトスレバ、公債ヲ打切ラレコトガ一番私ハ宜イト思ヒマスガ、之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ツテイラツシヤイマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 其ノ擬制資本ノ論ハナカノ、面倒ニナリマセウト思ヒマスガ、公債ノコトニ付テ御答ヲ申上ゲマス、公債ハ御承知ノヤウニ、日本ニ於テハ其ノ大部分ガ金融機關ノ所有デアリマス、殊ニ例ヘバ此處ニモアリマスケレドモ、先程ノ資料ノ中ニアルト思ヒマスガ、大藏省預金部ノ如キハ預ツテ居ル金ノ八割ガ國債デアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、此ノ國債ヲ打切ルトカ、或ハ國債

ノ利子ヲ下ゲル、國債ノ利子ヲ下ゲルト云フコトハ結局國債ヲ打切ルトコトデアリマスルガ、サウ云フコトヲスル場合ニハ、是ハ預金打切リト云フコトナノデス、ダカラ此ノ郵便貯金ヲ初メ、郵便貯金ノ八割方ハ國債ニナツテ居ル、郵便貯金ト見合ヒマス、此處ニモアリマスケレドモ、五百十七億圓、ソレニ對シテ四百七十六億圓ト云フモノガ國債ニナツテ居ル、其ノ他ノ色タノ預金ヲ入レマシテ、此ノ國債ト見合ヒマシテ、八割位ニナルノデアリマス、全國ノ金融機關デアリマス、郵便貯金迄入レマシテ、預金ノ五割ハ國債ニナツテ居リマス、デスカラ國債ヲ飛バスト云フコトハ預金ノ五割ヲ飛バスト云フコトデアリマシテ、是ハナカノ、容易ナラスコトト思ヒマス、左様ナコトヲ致シマシタナラバ、金融、通貨ノ安定トカ、或ハ經濟界ノ安定ト云フコトハ恐ラク得ラレナイ、斯様ニ考ヘマカスノデ、ソレガ果シテ擬制資本ナリヤ否ヤト云フコトハ別問題ト致シマシテ、私ハ實際トシテ斯様ナコトハ出來ナイ、又シテハナラス、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 公債ヲ打切ルト云フコトハ、非常ニ困難ダト云フコトハ、ソレハ私モ同感デアリマスルガ、併シナガラ今日ノ此ノ敗殘國ト致シマシテハ、總テ有ルモノハ悉ク是ハ提供シナケレバナラス、是ハ如何ナル人ニセヨ、如何ナル老若男女ニセヨ、悉ク自分ノ有ルモノモハ出シテ、後ノ整理ニ之ヲ提供スルト云フコトガ今日ノ場合はハ已ムヲ得ヌコトデハナカラウカト思ツテ、此ノ際ドウモ公債ヲ打切ルト云フコトハ最モ私等必要ナコトト思ヒマスルガ、政

府トシテハナカノ、之ニ對シテ色々エム點ガアルト云フコトハ當然デアリマス、然ラバ公債ノ利子ヲ改定スルト云フ御考ハアリマセヌカ、唯カ英國ノ「コンソール」國債ハ二分ト思ヒマスガ、アレハズツト二分置置ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、日本ノ公債モ今ノ三分五厘ニシテ置キマシテハ、恐ラク明年ハ金利ダケデ七十億ニ達シ、國民ノ所得ガ非常ニ激減シテ居ル時代ニ於キマシテ、公債ノ利拂ハナカノ、困難デアラウト思ヒマス、結局是ハ整理ノ意味ニ於テモ他ノ金融關係ハ色々ノモノアリマセウケレドモ、金利ヲ下ゲルト云フコトガ何トカ一ツ適當デハナカラウカト私ハ考ヘマスルガ、如何デゾイマセウカ

○國務大臣(石橋湛山君) 是モ英國ノヤウニ、マア英國デモ金融機關ハ或程度國債ハ持ツテ居リマスルガ、併シ英國アタリハ國債ノ、今日ハ知リマセヌガ、大分以前ノコトデアリマス、大部分ハ國民ガ直接ニ應募シマシテ、國民ガ持ツテ居テ呉レルノデアリマス、殊ニ「コンソール」ノ如キハ資産家ガ、世襲財產ノト申シマス、ト云フ風ニ持ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ又英國デハ金利ガ安イ、全般ノ金利水準ガ安イ、是等ノコトデ「コンソール」ナドト云フ特別ノモノガアルノデアリマスルガ、日本ニ於テ今金利ヲ二分ニ下ゲルト云フコトハ、日本ノ金利水準カラ言ウテ困難デアリマス、若シサウ云フコトヲヤレバ日本ノ金融機關ノ收入ガ減リマスカラ、從ツテ預金ノ金利ノ下ゲナケレバナラヌト云フヤウナ色々ナ惱ミガアリマシテ、是亦サウ簡單ニハ參リマセヌ、此ノ國債ノ利拂

ノ負擔ヲ如何ニスルカト云フコトハ、是ハ別途ニ考慮スベキモノデアリマシテ、直接國債其ノモノノ金利ヲ下ゲル、之ヲ打切ルト云フコトニ依ツテ爲スベカラザルモノト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 御意思ノアル所ハ承リマシタ、次ニ私ハ本法ニ付キマシテ伺ヒタイ、財產稅法第五條ニ「財產ノ所在ハ」ト云フコトガアリマスガ、ソレハドウ云フ意味デアリマセウカ、例ヲ擧ゲテ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 財產稅ノ納稅義務者ニハ無制限納稅義務者ト制限納稅義務者ト二ツニ岐レテ居リマス、無制限納稅義務者ハ其ノ者ノ有シテ居リマス全部ノ財產ニ課稅ニナリマス、其ノ財產ガ内地ニ在リマセウトモ、或ハ建前ハ外地ニ在リマセウトモ、全部ノ財產ニ課稅ニナリマス、併シ制限納稅義務者ハ、是ハ本邦ノ國籍ヲ有シナイデ、本法施行地、即チ内地ニ財產ヲ持ツテ居ル場合ニ納稅義務ガアリマス、又本邦ノ、日本ニ國籍ヲ持ツテ居ナイ人ガ内地ニ居リマス場合ニ付キマシテモ、内地ノ財產ニ付テノミ納稅義務ガアルノデゾイマス、從ヒマシテ財產ノ所在ヲ決メ置キマセウト、課稅上支障ガアリマスノデ、財產ノ所在ヲ決メテ居ル次第デアリマス、是ハ只今ノ相續稅法ニ付キマシテモ同様ニ規定シテ居リマス

○橋本辰二郎君 第十六條ノ末項ニ「調査時期において」云々トアリマスガ、此ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 第十六條ノ末項ニ付テ御説明申上ゲマス、財產稅ハ調査時期、即チ本年三月三日午前零時ノ財產ニ付テ課稅ニナルノデゾイマス、從ヒマシテ今度戰時補償特別措置法ニ依リマシテ特別補償稅ガ課稅リマシタ時ニハ、其ノ特別補償稅ハ財產價格カラ控除スルコトニ致シテ居リマス、併シ特別補償稅ハ御承知ノ如ク一定ノ控除ガゴザイマスカラ、其ノ控除金額ニ付キマシテハ、財產稅カラ控除シナイ、斯ウ云フ規定デゾイマス

○橋本辰二郎君 次ニ十九條ノ戰災、引揚者一人ニ付キ五千圓ヲ控除スルト云フコトガアリマスガ、戰災者又ハ引揚者一人ニ付五千圓ヲ課稅價格ヨリ控除スル、此ノ戰災者ノ範圍ハドウ云フモノヲ戰災者ト云フコトニナリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 戰災ニ依リマシテ住宅又ハ家財ヲ滅失セラレタ方デ而モ罹災者證明書ヲ交付ヲ受ケテ居ラル、方ト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 燒失シタ人ハ罹災者タルノ證明書ヲ持ツテ居リマスルガ、廣島市ヤ長崎市ノ如キ原子爆彈ニ依ツテ家ガ半壞以上ノ被害ヲ受ケ、而シテ其ノ復舊費ト云フモノハ數十萬圓ヲ要スルヤウナモノガ多クアルノデアリマス、是等ノモノハ矢張り此ノ戰災ノ災害ニ依ツテ蒙ツタ損害デアリマスガ、是ハ戰災者ト看做サナイノデアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 先程申上ゲマシタヤウニ、住宅、家財ニ付キマシテ戰災ヲ受ケラレタ方デゾイマスカラ、當然此ノ控除ノ恩典ニ與カリ得ルト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 其ノコトハ各稅務署ニデモ御通牒ヲ御出シナツタコトガアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 十九條ノ一

末項ニ「第一項ノ被災者及び引揚者の
範圍は、命令でこれを定める」と規定
致シ、勅令ヲ書クコトニ致シテ居リマ

○橋本辰二郎君 第二十四條ノ相續稅
ニ付テハ財産ヲ「各、これを區分」スル
ト云フコトガアリマスルガ、普通ノ場
合ニ於キマシテハ財産ノ區分ハシナイ
ノデアリマス

○政府委員(池田勇人君) 御話ノ通り
ニ從來相續人ハ、被相續人ノ所得等ニ
付キマシテ合算シテ納稅義務ヲ負擔ス
ルノガ通例デゴザイマスルガ、今回ノ
財産稅ニ於キマシテハ、被相續人ガ調
査時期後死亡致シマシテ場合ニハ、被
相續人ノ財産ト相續人ノ財産トハ別個
ニ課稅スルコトニ致シマシテ、併シ納
稅ノ義務ハ相續人ガ負擔スルコトニ致
シテ居リマス

○橋本辰二郎君 相續稅ハ財産價額ヨ
リ控除スルコト云フコトニ聞イテ居リマ
スルガ、是等ハ當然カモ知レマセヌガ
相續稅ヲ控除スルコト云フコトニナレ
バ、チヨツト世間カラ見マスレバ、相
續稅ノ負擔ダケハ免除スルヤウナ感ジ
ヲ惹起シマスガ、如何ナモノデアリマ
スカ

○政府委員(池田勇人君) 調査時期ニ
於テ相續稅ヲ負擔シテ、而モ延納ニナ
ツテ居ル、斯ウ言フ場合ニ於キマシテ
ハ相續稅ハ控除致シマス、併シ調査時
期後ノ財産カラハ控除ハ致シマセヌ、
○橋本辰二郎君 次ニ財産ノ評價ニ付
キマシテ申上ゲマスルガ、二十五條、
二十六條ニ「一定ノ倍數を乘じて算出
した」ト云フコトガアリマスルガ、是
ハ一定ノ倍數ト云フモノハ何デアリマ
スカ

○委員長(三土忠造君) 是ハ一ツ詳シ
ク説明シテ下サイ

○政府委員(池田勇人君) 二十五條、
二十六條ハ土地又ハ家屋ノ評價ニ
關スル規定デゴザイマス、御承知ノ如
ク、土地又ハ家屋ニ付キマシテハ、一
筆毎ニ賃賃價格ガ定ラレテ居リマス、
土地ニ付キマシテハ昭和十一年、家屋
ニ付キマシテハ昭和十七年ノ現在ニ依
リマシテ賃賃價格ガ付ケラレテ居リマ
ス、此ノ賃賃價格ニ一定ノ倍數ヲ乘ジ
マシテ、其ノ土地ナリ家屋ノ時價ヲ評
定シヨウト云フノガ此ノ規定デゴザイ
マス、而シテ一定ノ倍數ハドウ云フ風
ニ出スカト申シマスルト、土地又ハ家
屋ニ付キマシテハ、其ノ地區デ標準ニ
ナル土地又ハ家屋ノ一般取引價額ヲ調
査致シマシテ、サウシテ一般取引價額
ガ、其ノ土地又ハ家屋ニ對スル賃賃價
格ノ何倍ニ當ツテ居ルカト云フノヲ算
出致シマス、即チ標準ニナルベキ土地、
家屋ニ付キマシテ賃賃價格ノ何倍ニナ
ツテ居ルカ、其ノ倍數ヲ求メマシテ、
サウシテ其ノ倍數ヲ其ノ區域ノ土地又
ハ家屋ニ乘ジマシテ、全部ノ土地、家
屋ノ時價ヲ評定スル、斯ウ云フ考ヘ方
デゴザイマス、從ヒマシテ標準トナル
ベキ範圍ヲドウ云フ風ニ見ルカト云フ
コトニ付キマシテハ、二十六條ニ命令
デ定メル地區トナツテ居リマス、從ツ
テ此ノ地區ハ只今ノ所、市或ハ郡ヲ單
位ニ決メテ行キタイト思ツテ居リマ
ス、六大都市ニ付キマシテハ區ヲ單
位トシテ參リマス、從ヒマシテ、例ヘ
バ區ヲ單位ト致シマシテ場合ニ付キマ
シテハ、大體最高ノ倍數、最低ノ倍數、
中庸ノ倍數、此ノ三段階位ニ倍數ヲ決
メマシテ、サウシテ各其ノ倍數ハ區役
所或ハ市町村役場ニ倍數ヲ公示致シマ

ス、サウシテ又其ノ區域内ノ各土地
ニハ、此ノ土地ハ此ノ最高倍數
ヲ使フ土地、又ハ最低倍數ヲ使
フ土地ト明示スルコトニ致シテ
居ルノデアリマス、從ヒマシテ土地ニ
付キマシテハ田畑、雜種地、礦泉地、
各地目ニ付キマシテ倍數ヲ決メケレ
バナリマセヌ、又家屋ニ付キマシテ
モ、家屋ハ是ハ一本デ最高、最低、中
庸デ宜イト思ヒマスルガ、非常ニ澤山
ノ倍數ニナリ、非常ニ混ミ合ツテ參リ
マス、此ノ倍數ハ財務局ニ不動産評價
委員會ト云フモノヲ置キマシテ、サウ
シテ一般ノ方々ニ出テ職キマシテ、御
相談ノ上決メタイト考ヘテ居ルノデ
ザイマス、デ二十五條ニ於キマシテ括弧
デ書イテ居リマスルガ、田畑ニ付キマ
シテハ自作農創設特別措置法ニ基キマ
シテ、田ニ付キマシテハ賃賃價格ノ四
十倍、畑ニ付キマシテハ四十八倍ト云
フ規定デゴザイマス、財産稅ニ於キマ
シテ此ノ倍數ニ則ツテ決メタイ、唯
報獎金ガ與ヘラレマシテ場合ニ付キマ
シテハ、與ヘラレタ報獎金ハ其ノ土地
ノ價額ニ加算スル、斯ウ云フ考ヘ方デ
居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 土地ニ付キマシテハ
分リマシタガ、建物ニ付キマシテハ
ドウ云フ評價ヲ爲サルノデアリマセウ
カ、御承知ノ通り建築費ハ日華事變前
ニ比ベマシテ、今日ハ三十倍乃至四十
倍ニ暴騰致シテ居ル、今日ノ建築費ヲ
以テ標準トシテ建物ノ評價ヲスルコト
云フコトニナレバ非常ナ無理ガ立タウ
思ヒマスガ、ソレハドウ云フ風ナ方法
デ無理ノナイヤウナ緩和策ヲ御探リニ
ナルノデスカ

○政府委員(池田勇人君) 御話ノ如ク
建物ノ評價ニ付キマシテハ非常ナ困難

○政府委員(池田勇人君) 財産ノ評價
ニ付キマシテハ三月三日ノ現在ニ依ル
ガ原則デゴザイマス、唯其ノ後定メラレ
マシタ所謂限價價格ト云フモノニ付キ
マシテハ、其ノ後一定メラレタ價格ヲ
三月三日ニ溯リタイ、斯ウ云フ例外ヲ
置イッテ居リマス、而シテ又株式ニ付キ
マシテハ三月三日ノ現在ニ依ルト云フコ
トハ、實行上非常ニ不公平ナ場合ガア
リマスノデ、企業再建整備法、其ノ他
色々今出マシタ一聯ノ施策ニ依リマ
シテカラ後ノ株價ニ依ツテ、三月三日ノ
株ヲ評價シテ行キタイト考ヘテ居リマ
スカ

○政府委員(池田勇人君) 最近或種ノ
株ニ付キマシテハ三月三日ノ時價ヨリ
モ相當上ツテ居ルヤウニ見受ケラレマ
ス、斯カル場合ニ只今ノ時價デ行キマ
スト、引續イテ株ヲ所有シテ居ラレ
方ニハ何等差支ハゴザイマセヌガ、三
月三日直後非常ニ廉イ價額デ御賣リニ
ナツタ方ニ付キマシテハ、先程申上ゲ
マシタヤウニ苛酷ニ當ル所謂納稅ノ能
力ガナイト云フ風ナ場合モアリマスノ
デ、特別ノ規定ヲ置キマシテ善處シタ
イト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 三十六條ノ一ツ御説
明ヲ願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 今回ノ財産
稅ハ有ラユル財産ニ課稅スルコトニ致
シテ居リマス、併シ通常ノ生活ニ必要
ナ家具、什器ハ課稅シナイ、非課稅ニ
入レテ居リマス、然ラバ通常ノ生活ニ
必要ナ家具、什器トハ如何ナル範圍ノモ

サガアルノデゴザイマス、戰災地ト然
ラザル都市ニ於キマスル建物ノ時價ハ
相當差異ガアルノデゴザイマス、デ此
ノ評價ニ付キマシテハ、各財務局ノ不
動產評價委員會ニ諮問致シマシテ決メ
ルノデゴザイマスガ、ソレヨリ前ニ大
藏省ニ一ツ專門ノ方ナシカラ御集リ願
ヒマシテ、ドウ云フ所評價ノ基準デ
行クカ、財産全體ニ付キマシテノ評價
ノ基準、殊ニ家屋ニ付キマシテドウ云
フ風ニ考ヘ方デ行クカト云フコトハ篤
ト考慮致シタイト考ヘテ居リマス、東
京都内デハ一坪四千圓、斯ウ云フ呼
價モゴザイマス、又終戰前半年ニ於ケ
ル或區ノ賣買例ハ、一坪八百二十圓半
均ニ相成ツテ居リマス、何レノ價格ニ
依ルカト云フコトハ相當考慮シナケレ
バナラヌ重要ナ問題ダト思ツテ居リマ
スカ

○橋本辰二郎君 一般ノ財産ニ付テ
評價ノ時期ハ三月二日カ三日ニナツ
テ居ルヤウデアリマスルガ、調査時期ト
云フコトヲ書入レテアリマスガ、單リ
株式ノミニハ調査時期ト云フ文字ガア
リマセヌガ、是ハドウ云フ譯デアリマ
スカ

○政府委員(池田勇人君) 財産ノ評價
ニ付キマシテハ三月三日ノ現在ニ依ル
ガ原則デゴザイマス、唯其ノ後定メラレ
マシタ所謂限價價格ト云フモノニ付キ
マシテハ、其ノ後一定メラレタ價格ヲ
三月三日ニ溯リタイ、斯ウ云フ例外ヲ
置イッテ居リマス、而シテ又株式ニ付キ
マシテハ三月三日ノ現在ニ依ルト云フコ
トハ、實行上非常ニ不公平ナ場合ガア
リマスノデ、企業再建整備法、其ノ他
色々今出マシタ一聯ノ施策ニ依リマ
シテカラ後ノ株價ニ依ツテ、三月三日ノ
株ヲ評價シテ行キタイト考ヘテ居リマ
スカ

○政府委員(池田勇人君) 最近或種ノ
株ニ付キマシテハ三月三日ノ時價ヨリ
モ相當上ツテ居ルヤウニ見受ケラレマ
ス、斯カル場合ニ只今ノ時價デ行キマ
スト、引續イテ株ヲ所有シテ居ラレ
方ニハ何等差支ハゴザイマセヌガ、三
月三日直後非常ニ廉イ價額デ御賣リニ
ナツタ方ニ付キマシテハ、先程申上ゲ
マシタヤウニ苛酷ニ當ル所謂納稅ノ能
力ガナイト云フ風ナ場合モアリマスノ
デ、特別ノ規定ヲ置キマシテ善處シタ
イト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 三十六條ノ一ツ御説
明ヲ願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 今回ノ財産
稅ハ有ラユル財産ニ課稅スルコトニ致
シテ居リマス、併シ通常ノ生活ニ必要
ナ家具、什器ハ課稅シナイ、非課稅ニ
入レテ居リマス、然ラバ通常ノ生活ニ
必要ナ家具、什器トハ如何ナル範圍ノモ

○政府委員(池田勇人君) 最近或種ノ
株ニ付キマシテハ三月三日ノ時價ヨリ
モ相當上ツテ居ルヤウニ見受ケラレマ
ス、斯カル場合ニ只今ノ時價デ行キマ
スト、引續イテ株ヲ所有シテ居ラレ
方ニハ何等差支ハゴザイマセヌガ、三
月三日直後非常ニ廉イ價額デ御賣リニ
ナツタ方ニ付キマシテハ、先程申上ゲ
マシタヤウニ苛酷ニ當ル所謂納稅ノ能
力ガナイト云フ風ナ場合モアリマスノ
デ、特別ノ規定ヲ置キマシテ善處シタ
イト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 三十六條ノ一ツ御説
明ヲ願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 今回ノ財産
稅ハ有ラユル財産ニ課稅スルコトニ致
シテ居リマス、併シ通常ノ生活ニ必要
ナ家具、什器ハ課稅シナイ、非課稅ニ
入レテ居リマス、然ラバ通常ノ生活ニ
必要ナ家具、什器トハ如何ナル範圍ノモ

○政府委員(池田勇人君) 最近或種ノ
株ニ付キマシテハ三月三日ノ時價ヨリ
モ相當上ツテ居ルヤウニ見受ケラレマ
ス、斯カル場合ニ只今ノ時價デ行キマ
スト、引續イテ株ヲ所有シテ居ラレ
方ニハ何等差支ハゴザイマセヌガ、三
月三日直後非常ニ廉イ價額デ御賣リニ
ナツタ方ニ付キマシテハ、先程申上ゲ
マシタヤウニ苛酷ニ當ル所謂納稅ノ能
力ガナイト云フ風ナ場合モアリマスノ
デ、特別ノ規定ヲ置キマシテ善處シタ
イト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 三十六條ノ一ツ御説
明ヲ願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 今回ノ財産
稅ハ有ラユル財産ニ課稅スルコトニ致
シテ居リマス、併シ通常ノ生活ニ必要
ナ家具、什器ハ課稅シナイ、非課稅ニ
入レテ居リマス、然ラバ通常ノ生活ニ
必要ナ家具、什器トハ如何ナル範圍ノモ

○政府委員(池田勇人君) 最近或種ノ
株ニ付キマシテハ三月三日ノ時價ヨリ
モ相當上ツテ居ルヤウニ見受ケラレマ
ス、斯カル場合ニ只今ノ時價デ行キマ
スト、引續イテ株ヲ所有シテ居ラレ
方ニハ何等差支ハゴザイマセヌガ、三
月三日直後非常ニ廉イ價額デ御賣リニ
ナツタ方ニ付キマシテハ、先程申上ゲ
マシタヤウニ苛酷ニ當ル所謂納稅ノ能
力ガナイト云フ風ナ場合モアリマスノ
デ、特別ノ規定ヲ置キマシテ善處シタ
イト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 三十六條ノ一ツ御説
明ヲ願ヒマス

ノカ、斯ウ云フコトガ問題ニナ
リマス、而シテ今回ノ財産税ハ
納税者カラ自分ノ財産ヲ申告シテ
マシテ、サウシテ又其ノ申告ニ基
キ税率ヲ算出シテ納メテ、税務署ハ
初納税又ハ申告ニ關シテ建前ヲ執
ツテ居リマス、斯カル建前ヲ執リマ
シテ、通常ノ生活ニ必要ナ家具、
什器ト申シマスモハナカ、實際開
題トシテ申告ガシニカラウ、又申告
ガ非常ニマチノニナル、申告納税制
度ガ毀レテ参リマスノデ此ノ規定ヲ
キマシテ、所謂中庸ト見ラレモ、
付キマシテ、大體財産ニ對シテ通常
ノ生活ニ必要ナル家具、什器ヲドレ
ケ、通常ノ生活ニ必要ナル家具、什
器ヲ超エル家具、什器ハドレダケ、
超エル家具、什器ハドレダケ、斯ウ
フコトヲ調ベマシテ、所謂十萬圓カ
ラ五十萬圓ノ方ニ付キマシテハ、
什器ヲ除キテ一般財産ノ價額ニ對シ
マシテ一定ノ率ヲ乗ジテ算出シテ金
額ガ生活ニ通常必要ナル家具、什
器ヲ超エルト致シマシテ、一應其ノ
金額ヲ申告シテ、斯ウ云フ建前ヲ執
ツタノデゴザイマス、從ヒマシテ其
ノ二項ニゴザイマスヤウニ、所定ノ
率ヲ乗ジテ算出シテ生活ニ通常必要
ナル家具、什器ヲ超エルモノガ實際
ノ價額ヨリ非常ニ少カッタ、即チ其
ノ方ノ家具、什器ガ算出致シマシテ
金額ニ對シマシテ、一萬圓以上ヲ
超エルト云フ場合ニハ、サウ云フ算
出方法ニ依ラナイ、斯ウ云フ規定ヲ
第二項ニ入レテアルノデゴザイマス、
具體的ニ申シマスルト家具、什器以
外ノ財産ガ三十萬圓アツタ、此ノ方
ハ通常ノ生活ニ必要ナル家具、什器
ヲ超エルモノハ何程カト申シマス
ト、一萬五千圓ガ所謂餘分ノ家具、
什器、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス、
サ

ウシテ其ノ方ガ二萬六千圓持ツテ居
ル、必要以上ノ家具、什器ヲ二萬六千
圓持ツテ居ルト云フ時ニハ、一萬五千
圓ニハ依リマセス、二萬四千圓ダト云
フ場合ニハ一萬五千圓デ申告サツテ
結構ダ、斯ウ云フ規定デゴザイマス
○橋本辰二郎君 次ニ申告ニ付テ何ヒ
タイ、此ノ申告ハ承リマス一月ノ中
句頃ノヤウニ新聞ニ出テ居リマシタ
ガ、サウ致シマス、此ノ調査時期ノ
三月三日トハ約十箇月バカリノ差ガ
アル、今日御承知ノ通り財界ノ變動ト
云フモノハ朝ヲ以テタラ測ルコトハ出
来ナイヤウナ場合ガアリマス、況ヤ十
月モ經過シテ居リマス間ニハ財産ノ移
動ハ相當ニ行ハレタモノト見ナケレバ
ナリマセス、時日ノ相當經過シテ後
ニ於テハ實際事情ト違フコトガアルト
私ハ思ヒマス、是デモ一向差支ハナイ
ト御考ヘデスカ
○政府委員(池田勇人君) 調査時期ト
實際ノ徵稅ノ時ト相當時間ガ經過致シ
テ居リマスコトハ非常ニ遺憾デゴザ
イマスガ、是モ議會ノ遅レマシタ爲致シ
方ノナイ點デゴザイマス、唯私ハ實際
問題ト致シマシテ、サウ移動ガ頻繁ニ
行ハレテ居ルトハ考ヘテ居リマセス、
又移動ガアリマシタニ致シマシテモ、
所謂對價ハ其ノ方ガ持ツテ居ラレ
ルノデ、財産ガ非常ニ減失シタト云フ
ヤウナコトハ極少イノデハナイカト考
ヘテ居リマス
○橋本辰二郎君 次ニ納付デアリマス
ガ、申告期限後一箇月ト云フコトニナ
ツテ居リマスガ、一箇月デハ非常ニ私
ハ困難ダト思ヒマスガ、政府ニ於テハ
サウ云フ憂ヘハナイト云フ御見込デア
リマスカ
○政府委員(池田勇人君) 只今申上デ

マシタヤウニ申告納稅デアリマシテ、
納稅者ノ方ガ自分ノ財産ハ幾ノト
斯ウ計算ナスツテ、サウシテ申告期限
ハ只今ノ所デハ一月十五日ノ見込デ居
リマスガ、一箇月後ノ二月十五日ニ納
メテ戴ク前カラ御準備ヲ願ハバ大體出
來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス
○橋本辰二郎君 萬一納稅日ニ非常ニ
困難ナ場合ニ於テキマシテハ、猶豫スル
何カ規定ガ設ケテアリマスカ
○政府委員(池田勇人君) 物納ノ規定
竝ニ延納ノ規定モ置イテ居リマス
○橋本辰二郎君 第四十五條ノ預金、
貯金其ノ他債權等ニ付キマシテ、是等
ノ期限前ノ拂戻ガ納稅ノ爲ニ出來ル
ト云フコトデアリマスガ、其ノ利息ト
云フモノモ矢張り同様に取成テ宜イ
モノデアリマスカ
○政府委員(池田勇人君) 納稅ノ爲ニ
期限前ノ拂戻ノ請求モ出來マスシ、又
契約解除モ出來ルヤウニナツテ居リ
マス、サウシテサウ云フ場合ニ利子ヲ
ウスルカト云フ問題ハ、四十五條ノ末
項ニ「必要ニ事項ハ、命令デこれを定
める」ト書イテゴザイマシテ、此ノ命
令ニハ通常ノ利子モ附ケル、又其ノ爲
契約解除トカ或ハ期限前ノ拂戻ト云フ
風ナ場合ニ、保證金トカ手数料ハ取ラ
ナイ、斯ウ云フ風ナ規定ヲ設ケル積リ
デアリマス
○橋本辰二郎君 第六章ノ「課稅價格
ノ更正及び決定」ニ付テ御等シタイ
思ヒマス、是ハ申告者ノ申告ヲ不當ト
認メタル場合ニ於テハ、政府ニ於テ調
査シタル價格ニ更正スルト云フコトデ
アリマスガ、他人ノ財産ヲ見積ルト云
フコトハナカ、容易ナコトデナイ、
デアラウト思ヒマス、比較的教養ノ淺
イ收稅吏ガ果シテサウ云フモノヲ的確

ニ更正スルノ資格ガアルカドウカト云
フコト大イニ疑ハナキヤナラス、併
シハ在定委員會ニ掛ケルト云フコト
デアリマスガ、是迄ノ所得稅調査委員
會ナゾノ例ヲ見マスルト、調査委員
會ト云フモノハ調査委員自ラ實地ニ調
査シタルノデハナクシテ、單ニ書類ノ上
ノミデ之ヲ調査スルノデアリマスカ
ラ、矢張り原案ニ賛成スルト云フコ
トガ主ナルモノデアリマシテ、委員自
ラニ於テ之ヲ更正シタル例ハ誠ニ稀
デアリマスガ、是デモ是ハ宜イト云
フ、御考デアリマスガ、私ノ聞ク所ニ依
レバ、第一次歐洲戰爭中ノ英國ノ所得
稅ノ率ト云フモノハ相當高イモノデ、
處方ハハ申告稅デアツテ、詰リ申告者
ノ申告ガ非常ニ尊重シ、而シテ斯ク
如キ高率ナル所得稅ト云フモノハ、要
スルニ一種ノ國防費獻納ニ等シイモノ
デアル、處デ國防費ノ獻納ノ如キモノ
ハ、各人ノ意思ニ任セテ、政府ニ於テ
之ヲ強要スベキモノデヤナイト云フコ
トデ、大抵其ノ申告通りニテ收稅ヲシ
タト云フコトヲ聽イテ居リマスルガ、
此ノ財産稅ノ如キモノモ申告稅トスル
以上ハ、申告者ノ意思ヲ非常ニ尊重ス
ルト云フコトガ最も必要ト思ヒマス
ガ、是ハドウモ一々更正ヲ許スト云フ
途ヲ拓イタト云フコトハ、此ノ申告稅
ノ趣旨ニ反スルデハナイカト思ヒマス
ルガ、其ノ點如何デゴザイマセウカ
○政府委員(池田勇人君) 納稅者ノ意
思ヲ出來ルダケ尊重致シマスルガ、其
ノ申告ガ實際ノ課稅價格ヨリ違フテ居
ツタ場合、又申告ガ全然ナカッタ場合
ニ付キマシテハ、更正ノ手續ヲ執ルヨ
リ仕方ガナイト考ヘテ居リマス、而シ
テ今回ノ財産稅調査會ハ、所得調査委
員會トハ趣ヲ異ニ致シマシテ、納稅者

カラノ選舉デナシニ、大藏大臣ノ任命
セラレタ相當廣イ範圍ノ調査委員カラ
調査委員會ヲ形成シタイト考ヘテ居リ
マス
○橋本辰二郎君 是迄ノ所得稅調査委
員ハ選舉ニ依ツタノデスガ、今度ノ何
ハ大藏大臣カラノ御指名ニ依ツテ相當
強イモノダト云フガ、大藏大臣ノ御指
名ニ依ツタモノハ、所謂アタタ、御用委員
デハアリマセウカ、ソレハ政府ノ肩ヲ
持ツヨリ外ニハ方法ナインデス、斯ウ
云フコトデハドウモ稅ノ其ノ本當ノ精
神ニ私ハ副フモノデハナイト思ヒマ
ス、デモ是ハ一種ノ所見ヲ異ニシテ居
ルノデ、ソレハ宜ウザイマスガ、ソ
レカラ評價ノ異議ノアツタ場合ニハ、
其ノ物品ハ政府ノ讓渡スルト云フ命令
ヲ出スト云フコトデアリマスガ、其ノ
讓渡ノシタル所ノ代金ト云フモノハ、
現金デ御拂ニナルノデアリマスルカ、
如何デアリマスルカ
○政府委員(池田勇人君) 申告ノアリ
マシタ財産ニ付キマシテ、其ノ評價ガ
問題ニナリ、政府ガ更正決定ヲ致シ
マシタ場合、納稅者ガ其ノ政府ノ更正決
定ハ不當ナリト云フ異議ノ申立ガアリ
マシタ場合ニハ、政府ハ其ノ更正決定
ニ依ラズニ、納稅者ノ異議ノ申立ノ場
合ニ評價シテ、其ノ評價價格ニ依リマ
シテ買上ゲル制度ヲ設ケテ居ルノデ
ゴザイマス、而シテ其ノ對價ニ付キマ
シテハ、五十三條ノ三項ニ「前項ノ讓渡
ニ對する對價ノ支拂ハ、國債證券ノ交
付により、これをなすことができる」
國債證券ノ交付デ對價ヲ支拂フコトニ
致シテ居リマス
○橋本辰二郎君 只今ノ政府ノ買上
品ノ代金ハ國債ヲ以テ支拂フト云フコ
トデアリマスルガ、納稅ヲ延納ヲ許可セ

ラレタル人ガ此ノ國債ヲ以テ納税ニ代
用スルコトハ可能デアリマス
○政府委員(池田勇人君) 物納ハ原則
ト致シマシテ、三月三日ノ財産ヲ物納
スルト、斯ウ云フ建前ヲ執ツテ居リマ
ス、從ヒマシテ三月三日以後新タニ取
得致シマシタ公債ハ、物納ニ充テ得ラ
レナイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、
唯又此ノ場合ハ此ノ三月三日ノモノガ
之ニ代ツタノデゴザイマスルカラ、此
ノ國債ニ付キマシテハ物納ヲ認メテモ
差支ナイノデハナイカト考ヘテ居リ
マス

○橋本辰二郎君 第五十五條ノ御説明
ヲ願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 第五十五條ハ
調査時期ニ於テ財産ノ中ニ金融機關
經理應急措置令ニ依リマシテ、金融機
關ノ舊勘定ニ屬スルコトニナツタ預
金、貯金等ガアリマス場合ニ付キマシ
テハ、其ノ舊勘定ニ屬シマシタ預金、
貯金等ニ付キマシテ財産稅ガ課スル場
合ニハ、其ノ舊勘定ヲ、平タイ言葉デ申
シマス、他ノ財産ノ上積ミニ致シマ
シテ、財産稅額ヲ計算シ、又舊勘定ニ
屬シマス財産ヲ除キマシタ其ノ他ノ財
産稅ニ付ノ財産稅額ヲ計算シ、前ノ上
積ミニ致シマシタ總體ノ財産ニ對スル財
産稅額カラ其ノ他ノ財産ニ對スル財
産稅額ヲ控除致シマシタ金額ヲ此ノ舊
勘定預金カラ納メルコトガ出來ル、斯
ウ云フ規定ニ相成ツテ居ルノデゴザイ
マス

○橋本辰二郎君 次ニ六十四條ニ寄告
ノ制度ガ設ケテアリマシテ、稅額ノ百
分ノ二十五ヲ報償金トシテ交付スルト
云フコトニナツテ居リマスルガ、是ハ
或ハ必要カト思ヒマスルケレドモ、斯
ウ云フコトヲ御許シニナルト云フコト

ハ今日ノ社會狀勢上、政府自ライカガ
ハシ行動ヲ獎勵スルコト云フヤウナ嫌
ヒガ十分アルノデアリマスガ、此ノコ
トニ付キマシテ、政府ハ餘程御考ニナ
ツタノデアリマセウカ、嘗テ昭和七年
カ八年頃デアリマシタ、ゴロツキト言
ヒマスルカ、脅迫者ト云フヤウナモノ
ヲ檢舉スルコト云フコトガ行ハレマシ
テ、各警察デ報告、投書ヲ非常ニ歡迎
シタルガアリマス、處方其ノ投書ヲ
スル者ハ、嘗テ自分ガ不義理ナコトヲ
シテソレヲ責メラレタノヲ逆恨ミラ
シ、若シハ無心ヲ言フテ斷ハラレタ
者ヲ意地ニ持ツト云フコトデ、善良ナ
ル人ヲ陥レムガ爲メニ投書ヲシタ者ガ多
イノデアリマス、併シ今度ノ何ハ記名
ヲシテアリマスノデ、誣告ノ場合ニ於
テハ相當ノ制裁ガアリマスルノデ、其
ノ點ハ防ギ得ラレカト思ヒマスルケ
レドモ、此ノ際斯ウ云フ規定ヲ置キマ
スルコトハ、實ニ歎ハシイコト思ヒ
マスルガ、ドウ云フ御考デアリマセウ
カ、是ハ大臣ヨリ一ツ御答辯ヲ御願
ヒ致シタイと思ヒマス

○國務大臣(石橋達三君) 是ハ大分
研究ヲ致シマシタ、デ結論ハ利害交
アル譯デアリマシテ、一面カラ申セバ
斯様ニハツキリ法律デ以テ通告制度ヲ
置イタ方ガ、恐ラクハ此ノ財産稅ニ付
テハ丁度アノ最近ノ隱匿物資ナドニ付
テ隠イダヤウニ、色々ナ問題ガ騒ガ
ルノデヤナイカ、サウ云フ場合ニハ却
テハツキリシタ制度ヲ法律デ設ケテ置
ク方ガ詰ラヌ流言蜚語ヲ放テレル危險
ガナイ、斯ウ云フコトデ却テ宜イノデ
ヤナイカ、但シ其甚ダシイ誣告ヲスル
カ、或ハ之ニ口ヲ藉ツテ脅迫ヲスル
云フヤウナ者ガアレバ、是ハ嚴罰ヲ以
テ臨ム、脅迫等ニ付テハ普通ノ刑法ノ

處罰ガ行ハレマスシ、ソレカラ其ノ通
告ガ嘘デアアル、何カ故意ニ嘘ヲ言ウ
タ云フヤウナ場合ニハ、此ノ法律ニ依
リテ處罰スル、斯様ナコトデ十分其ノ點
ノ注意ヲ拂ヘバ、却テ此ノ條項ノアル
方ガ宜カラウ、斯ウ云フ結論ニ達シ
テデアリマス

○橋本辰二郎君 第七十條ニ收稅官吏
ノ検査ノ條項ガアリマスルガ、收稅官
吏ノ検査ニ付キマシテハ、弱イ營業者
ニ對シテハ隨分亂暴ナコトヲシタカ
ヤウニ聞イテ居リマスノデスガ、殊ニ
財産稅ニ對シマスル間則ト云フモノハ
非常ニ重イノデ、動モスレバ此ノ罰則
モ斯クノ如キモノガアルト云フコトデ、
善良ナル所ノ納稅者ヲ恐喝スルヤウナ
コトガ往々アルト思ヒマスガ、是等ノ
問題ニ付キマシテ、其ノ憂ノナイヤウ
ニ十分ナル一ツ御準備ガアルノデアリ
マセウカ

○政府委員(池田勇人君) 財産稅ノ調
査ニ當リマシテハ、本稅ガ非常ニ高イ
稅率デゴザイマシテ、又色々ナ點ガア
リマスノデ、相當キツイ罰則ニナツテ
居リマス、唯實際調査ニ當リマス者ニ
付キマシテハ、斯ウ云フ權限ガ與ヘラ
レマシテモ、行キ過ギニ互ラナイヤウ
ニ、十分我々ノ方デ監督シテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 第七十二條ト七十三
條ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(池田勇人君) 第七十二條
ハ財産稅納稅義務者ノ納稅地ヲ規定致
シタノデアリマス、「財産稅は、納稅義
務者ノ住所、この法律の施行地に住
所のないときは居所地をその納稅地と
する。但し、納稅義務者は、政府に申
告して、居所地を納稅地とすることが
できる。この法律の施行地に住所及び

居所のない納稅義務者は、命令の定め
るところにより、納稅地を定めて政府
に申告しなければならぬ。その申告
のないときは、政府が、その納稅地を
指定する。」此ノ書イテアル通りデア
リマス、第七十三條ハ、納稅義務者ガ納
稅地ニ現住シテ居ナイ時ハ納稅管理人
ヲ置カナケレバナラナイ、斯ウ云フ規
定デゴザイマス

○橋本辰二郎君 先ニ御説明ニナリマ
シタ第三十六條ニ付キマシテハ、ドウ
モハツキリセスト云フ説ガ大分アリマ
スガ、之ヲモウ一度繰返シテ詳シク一
ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(池田勇人君) 説明ガ下手
ナノデ誠ニ恐縮デゴザイマスルガ、三
十六條ヲ設ケマシタ趣旨ハ、先程申上
ゲマシタヤウニ、家庭用財産ノ中ニハ
本當ニ生活ニ必要ナ家具什器ト、又通
常ノ生活ニ必要ナ部分ヲ超エル家具什
器ガアルノデゴザイマス、而シテ通常
ノ生活ニ必要ナ家具什器ヲ超エル分ニ
對シマシテハ、財産稅ガ課稅ニナルノ
デアリマス、ソレデハ通常ノ生活ニ必
要ナル家具什器ヲ超エル分ト云フノハ
ドウ云フ風ナ基準デ見ルカト云フト、
納稅者ガ申告ナサル時ニ非常ニ御困リ
カト考ヘマスノデ、實際問題ト致シマ
シテ、十萬圓カラ五十萬圓ノ方ニ付キ
マシテ全國的ニ財務局デ調査致シマシ
タ、所謂勤勞ニ依ツテ生活シテ居ラレ
ル人ノ家具什器ハ全體ガドレ位デ、必
要以上ノ分ガドレダケ、又農家ノ人ハ
生産所得者ノ場合ハドウト、斯ウ云フ
風ニ全國各稅務署デ中問タルサウ云
フ種類ノ職業別ニ、十萬圓カラ五十萬
圓ノ方ノ財産ヲ調べ見タノデゴザイ
マス、其ノ場合ニ、通常ノ生活ニ必要

ナモノトハ大體著物ハ何枚、簞笥ハ何
箇ト、斯ウ云フ風ニズツト標準ヲ作リ
マシテヤツテ見マスツト云フト、大體具
今ノ所デハ五十萬圓ノ方ハ必要ヲ超エ
タ分ヲ二萬五千圓位御持チノヤウデア
リマス、三十萬圓ノ方ハ、先程申上ゲ
マシタヤウニ、一萬五千圓位ガ必要以
上ノモノト推定出來ルノデゴザイマ
ス、從ツテ率ハ家庭用ノ財産ヲ除キマ
シタ一般財産ニ付キマシテ、大體五
「パーセント」餘リニ相成ツテ居ルノデ
アリマス、從ツテ通常ノ場合ナラバ、四
十萬圓モ一般財産ノアル方ハ、生活ニ
通常必要ナ家具什器以外ノモノガ五
「パーセント」ノ二萬圓アルトシテ申
告ヲシテ置ケバ宜イ、唯其ノ方ガ實
際ニ骨董品ナドノ澤山御持チニナツ
テ居リマシテ、二萬圓以上五萬圓モ
六萬圓モアルト云フ時ニハ、五「パー
セント」ノ二萬圓デハ承知出來マ
セヌカラ、別ニ調ベテ申告ヲ第二項ナ
カデゴザイマス、從ツテ斯ウ云フ制度
ハ五十萬圓ヲ超エル方ニ付キマシテ
ハ、此ノ規定ハ置イテ居リマセヌ、今
同ノ納稅者ハ大體五十一萬二千圓位ヲ
豫定致シテ居リマス、五十萬圓ヲ超エ
ル方ハ、其ノ中三萬七千人位デゴザイ
マス、三萬七千人ノ方ニ付キマシテ
ハ、家庭用財産ニ付キマシテ十分調査
シテ行キタイ、併シ五十萬圓以下ノ方
ノ四萬七千何ボト云フ方ハ、原則トシ
テ第三十六條ノ規定ニ依ツテ申告ヲシ
テ置ケ、唯特殊ノ場合ニ多額ノ斯ウ云
フ標準以上ノ家具什器ヲ御持チノ方ニ
付キマシテハ、是ハ又今ノ二項ノ規定
ニ依リマシテ、別ニ申告ヲシテ置ケ、
斯ウ云フ考ヘ方デ此ノ規定ヲ置イタ次
第デゴザイマス

○橋本辰二郎君 只今ノ説明デ分リマ

シタガ、併シナガラ日華戦争前ニ於テ百圓ノ算額ハ、今日ハ三千圓モスルト云フノデスカラ、買入レタ時ノ價格デ評價スルカ、今日ノ時價ヲ以テ評價スルカニ依ツテソレハ非常ニ差ガ生ズルガ、ソレハドウ云フ方法デヤリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 家庭用動産ニ付キマシテハ、大體今ノ公定價格ニ依ツテ行キタイト思ヒマス、而シテ其ノ古物デアリマス場合ニハ、嚴密ニ申シマス、所謂耐用年數ニ依リマシテ評價減額認メルコトニ致シテ居リマス

○橋本辰二郎君 私人長時間發言ヲ御許シ戴イタノデアリマシテ、有難ウゴザイマシタ、是デ終リマス

○委員長(三土忠造君) 大河内君

○子爵大河内輝雄君 ソレデハ私大蔵大臣ニ對スル質問ヲ始メマス、大體私ノ質問ナラ政府委員デ間ニ合フドラウト思ヒマス、私ノ伺ヒタイノハ、最初ノハ、財産稅ハ斯ウ云フ風ニシテ御取リニナルノハ仕方アリマセスケレドモ、戰爭ニ依ツテ儲ケタ者カラ臨時利得稅ヲ是ヨリ先ニ御取リニナル方ガ宜クハナイカ、詰リ一口ニ言ヘバ、成金稅、戰爭デ儲ケタト云フノハ土藏間違ツテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フモノヲ先ニ取ツテシマツテ、尙ホ足りナイ所ハ外ノ稅ヲ以テヤツタラ宜イト思ヒマス、先ヅ之ヲ一番先ニ取ラレルト云フコトガ宜クハナイカト思フノデスガ、政府委員デ結構デス

○政府委員(池田勇人君) 當初ハ法人戰時利得稅或ハ個人財産增加稅等ヲ考ヘマシテ、戰爭利得ヲ徹底ノニ排除スルト云フ建前デヤツテ居リマシタガ、併シ其ノ後ニ於キマシテ軍需補償ヲ徹底ノ

ニ打切ルト斯ウ云フコトニナツテ参リマス、軍需補償ノ打切ト今回ノ財産稅デ、所謂戰爭利得者ハ概ネ元ノ木阿彌ニナルト斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、マダソレデモ先ヅ先ニ微ルベキデヤナイカト云フ御話デゴザイマスガ、實際問題ト致シマシテ、今ノヤウナ經濟界ノ狀況デハ、所謂初期財産稅終期財産ノ調査ガ困難デアリマス、戰時補償特別稅ノナイ場合、又第一封鎖、第二封鎖ノ區別ノナイ時ナラ財産稅ノ増加等モ考ヘラレマスガ、今回就ニ最近ノ色々ノ措置ニ依リマシテ、終期財産ノ算定ガ困難デゴザイマス、事實上財産稅ノ増加ハ出來マセス、從ツテ戰時補償特別稅ト此ノ財産稅トデ、戰爭利得ハ殆ド排除出來ルト云フ考ノ下ニ、財産增加稅ヲ取止メタノデゴザイマス

○子爵大河内輝雄君 實ハ私スツカリ參考書ナンカヲ讀メバ宜イノデスガ、讀ンデ居ル暇モナイシ、ソレニ夜ナゾモ電燈ガ参リマセスカラ殆ド讀マズニ來テ居ルノデスカラ、何ヲ伺フカ知レマセスガ、ソコハ一ツ御勸解ヲ願ヒタイ、ソレデ次ニ伺ヒタイノハ家族ノ關係デスガ、同居ノ家族ト別居ノ家族トハ稅ハ違ヒマスカ

○政府委員(池田勇人君) 三月三日現在ニ於キマシテ、同居家族ノ財産ハ合算シテ課稅スルコトニ致シテ居リマス、唯今回ハ疎開トカ、或ハ戰災等デ、通常ノ場合ナラ別居シテ居ルノニ、特ニ戰災關係其ノ他家屋ノ不足ノ爲ニ一緒ニナツテ居ルト云フヤウナ場合ニ、同居爲サツテ居ル方ナラバ、合算シナイ方法ヲ執リタイ、又從來ズツト一緒ニナツテ居ツタガ、偶々所謂疎開ト云フヤウナコトデ別ニナツテ居

ル、別ニナツテ居ルノガ異例ト云フ場合ニ付キマシテハ、三月三日現在ニ於テ別居サレテ居ツテモ一緒ニナル、斯ウ云フ風ニ實際問題ニ即シテ考ヘテ行キタイト思ヒマス

○子爵大河内輝雄君 能ク分リマシタソレカラ納付ノ順序ハ先程現金カラ公債ニナツテ、社債ニナツテ、株式ニナツテ、不動産ニナルト斯ウ云フ風ニ承知シタノデアリマスガドウ云フ譯デスウ云フ風ニ順序ヲ付ケタノデアリマスカ

○政府委員(池田勇人君) 先ヅ早ク換算シ得ルモノカラ選ンダスウ云フ譯デゴザイマス、ソレデ株式ト不動産トドツチヲ先キニ取ルカト云フ問題ガアルノデアリマスガ、株式ニ付キマシテハ、市場性ノアル株式トナイ株式トガアリマシテ、市場性ノアルモノナラバ、不動産ヨリモ株式ヲ先ニ致シマスガ、市場性ノナイモノハ、不動産ノ方ヲ先ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 ソレデ現金ハ、是ハ命令ニアルカモ知レマセスガ、一文無シニ取ラレテシマツタラ大變ナコトニナリマス、幾ラカ御殘シニナルト思ヒマスガ、ソレハドウ云フ風ニ

○政府委員(池田勇人君) 先程モ御答ヘ致シタノデアリマスガ、根コソギ現金ヲ出シテ戴クト、サウ云フ考ハ持ツテ居リマセス

○子爵大河内輝雄君 ソレヲ伺ツテ居ルノデヤナイ、幾ラ御殘シニナルカト云フコトヲ伺ツテ居ルノデス

○政府委員(池田勇人君) ソレハ個々ノ問題デゴザイマス、其ノ方ハドレダケ現金ヲ持ツテ居ルカ、又他ノ財産ハドレダケアルカ、サウシテ稅額ハ

ドレダケニナルカ、斯ウ云フコトヲ全部考ヘテ見テ、ソコデ決メルベキ問題デアリマス、例ヘバ現金ノ八割迄出シテ貰フコト云フコトデアリマシテモ、其ノ方ガ一萬圓シカ持ツテ居ラスノニ八千圓取ルト云フコトハ、是ハ酷デアリマス、併シ最近物價ラレマシテ、新圓デ三十萬圓モ五十萬圓モ持ツテ居ラレルヤウナ方ニハ、八割位現金デ納メテ戴イテモ結構ト思ヒマス、詰リ是ハ個々ノ場合迄考ヘテ決メナケレバナラヌト思ヒマス

○子爵大河内輝雄君 ソレデヤ二萬圓ナラ二萬圓切ツタラ如何デアリマス、何カ具體的ナ標準ガナケレバ是分ラナイ

○政府委員(池田勇人君) 實際問題トシテ、第一封鎖預金ヲ一萬圓迄持ツテ、ソレ以上ヲ稅ニ御充テ下サイト申上ゲルコトハ、是ハナカノムツカシイデハナイカト思ツテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 モウ少シハツキリ伺ヒタイノデスガ、私が態々斯ナ質問ヲ出シタノハ、商賣ヤツテ運轉資金ノ必要ナ人ニハ、サウ云フヤウナ多少例外ヲ認メナケレバナラス、現金收入ノアル方ハ宜シウゴザイマスケレドモ、是ナゾハドウシムコトモ出來ナイ、明日カラ困ツテシマス、此ノ所ハモウ少シ具體的ニ伺ヒマセストハツキリ致シマセス、一體ドウ云フ風ニヤル御積リナンデスカ

○政府委員(池田勇人君) 色々場合ガアリマスノデ、チヨット御答ヘ出來ナイト思フノデアリマス、實際營業者デアルトカ、或ハ農業者デアルトカ、或ハ又傭給者デアルトカ、サウシテ又第一封鎖預金ヲドレダケ持ツテ居ルカ、現金ヲドレダケ持ツテ居ルカ、斯

ウ云フコトカラ個々ノ場合ヲ考ヘテ、適當ニ判斷スルヨリ外ニ方法ハナイト思ヒマス、併シ我々ノ考ト致シマシテハ出來ルダケ現金或ハ第一封鎖預金デ納メテ戴キタイト云フ、此ノ原則ハ動キマセス

○子爵大河内輝雄君 是ハドウモ何デスナ、最低限度位ヲ決メテ呉レナイト實際困ツタ問題ニナル、ドウ云フ風ニ御決メニナルノダカ、是ハ勝手ニヤル不安心起シテ來ル、ソコデ此ノ位ノ金ハ殘シテヤルト云フ位ナコトハ明言サレテ然ルベキダト思フ、ドウ云フ譯サウ云フコトガ言ヘナイノデスカ、經濟安定ダト言フガ、チツトモ經濟安定ニハナラヌ

○政府委員(池田勇人君) 第一封鎖預金ヲ一萬五千圓持ツテ居ラレル方ガアリマシテ、之ニ對シテ二百圓ノ財産稅ヲ課稅サレテ居ル場合ガアルト致シマス、サウシタ時ニ、私ハドウシテモ一萬五千圓殘シテ置クノダト言ツテ、二百圓納メ場合ニ、物納ラセルト云フコトガアツテモ非常ニ變ナコトニナリマス、從ツテ稅額ハ其ノ人ノ資産狀況ヲ見テ決メルベキデアリマス、ソレデ此ノ一萬五千圓ト云フノハ金融緊急措置令ノ標準デアリマセウガ、此ノ一萬五千圓ヲ確保スルト云フ場合ニ、二百圓ノ稅額ヲ納メルノニ、土地ヲ賣ラカレバナラスト云フ場面モ起リマスカラ、個々ノ場合々々ニ依ツテ適當ニ處置シナケレバナラス問題デ、一萬圓メテ參リマス、却テ拔差ナラナイト斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 其ノ拔差ナラナイコトヲ私ハ希望シテ居ルノデアリマ

ス、是以上ハモウ意見ノ相違ニナリマス、大變因ツタコトダト云フコト
ダケヲ申上ゲテ置キマス、一應大臣ニ
伺ヒマスガ、私ノ申スコトハ一般ニ非
常ナ不安ヲ興ヘルト云フコトヲ御認
ナルドラウト思ヒマスガ、モウ少シ具
體的方法ヲ明示スルコトハ出來ナイ
モノデアリマス、又其ノ必要ヲ御認
ニナラナイデセウカ

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ稅務官
吏ト言ヒマス、當局ヲ御信用ニナラ
ヌカラデアリマス、昔酷ノコトヲシヤ
シナイカ、今ノ主稅局長ノ御答ハ、其
ノ場ニ當ツテ、今度ノモノハ申告稅デ
アルカラ、サウ云フコトモウマツ行カ
ヌドラウト言ハレ、バソレ迄ノコトデ
アリマスガ、稅務署ガ御相談役ニナツ
テ、サウ云フ場合ニ個々ノ方々ニ成ル
ベクヒドイ負擔ヲ掛ケズニ、又迷惑ヲ
掛ケヌヤウニ取立テ、政府ノ方デモ
出來レバ處分ノ容易ナモノヲ取リタ
リ、斯ウ云フコト相談デ行キタイト
云フ考ヘ方デアリマス、ソレデスカラ
餘リニ嚴重ナ様ヲ作リマス、今主稅
局長モ申シヤウニ、困ル場合モ生ズ
ルドラウト思ヒマス、其ノ點ハ能
ク一ツ研究シテ、無理ノナイヤウニ致
シタイト考ヘマス

○子爵大河内輝雄君 ソレデハソレハ
其ノ位ニシテ置キマス、次ニ是ハ政
府委員ニ御伺ヒ致シマスガ、物納ト金
納トノ割合ハ、先程橋本君モ斯ナモ
ノドラウト仰シヤイマシタガ、一體
ノ位ノ割合ニ見テオイデニナリマス
カ
○政府委員(池田勇人君) ナカノ物
納ト金納トノ割合ノ算出ガ非常ニ困ル
ノデアリマス、財產稅ヲ四百三十
五億圓ト見マシタ場合ニ、現金納付、
或ハ第一封鎖預金デノ納付ヲ九十二億

圓ヘ考ヘテ居リマス、サウシテ舊勘定
預金等デ入リマスモノガ七十五億圓、
國債、株式、社債、土地、其ノ他デ二
百四十七億圓、斯ウ一應ノ推算ヲ下シ
テ居ル次第デゴザイマス
○子爵大河内輝雄君 サウ致シマス、
チヨット伺ヒ落シマシタガ、不動產ハ
ドノ位ニナリマスカ
○政府委員(池田勇人君) 不動產ハ百
四十億圓トナリマス
○子爵大河内輝雄君 更ニ伺ヒマス
ガ、サウスルト、此ノ特別會計ニ於ケ
ル證券ノ發行額ハ最高幾ラ位ニナルノ
デアリマスカ
○政府委員(池田勇人君) 財產稅等ノ
特別會計カラ今年度一般會計ノ財源ニ
充テ、居リマス、ガ三百十億圓デアリマ
ス、而シテ財產稅ノ收入ニ於キマシ
テ、先程申上ゲマシタヤウニ九十二億
圓ノ現金或ハ第一封鎖預金ノ納入ガア
リマスガ、延納ノ點モ考ヘナケレバナ
リマセヌデ、八十二億圓バカリ今年
度ノ收入ヲ見込シテ居リマス、サウシ
マス、三百十億圓カラ八十二億圓ヲ
引キマス、二百二十八億圓ト云フノ
ガ大藏省證券テ出ルノデハナイカ、斯
ウ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 ソレデ能ク分リ
マシタガ、其ノ次ハ評價ノコトヲ伺
ヒタイノデスガ、是ハ橋本君ガ大變
能ク詳シク御聽キ下サイマシタノデ
略々分リマシタノデスガ、何シロ皆
「命令」の定める「トアルモノ」ダ
カ、命令ヲ見ナイト分ラナイ、實際見
カケタノデスケレドモ、判ガ惡クテ迎
モ分ラナイ、ソレデ橋本君サニ御説明
ニナツタ所ハ宜シウゴザイマスガ、尙
外ニ重要ナ點デ、斯ナコトヲ言ツテ
置イタ方ガ宜カラウト云フヤウナコト

ガアレバ、第三章ノ財產ノ評價ト云フ
二十五條以下ノ規定デスネ、「命令」の定
める「トカ」、「命令」で定める「トカ書イ
テアル命令」内容ナシデス、重要ナコ
トデナケレバ宜シウゴザイマスガ、斯
ナコト云フコトデモアツタラ、注
意的ニ御説明ヲ願ヒタイ
○政府委員(池田勇人君) 二十五條並
ニ二十六條ハ不動產、或ハ借地權ニ關ス
ル評價デゴザイマシテ、先程御説明申
上ゲマシタ此ノ二十五條、二十六條
ガ一番重要ナノデゴザイマス、二十七
條ニ付キマシテハ、貸賃價格ノ倍數ト
申シマシテモ、無租地ニハ貸賃價格ノ
倍數ハゴザイマセヌ、又減租年地及
ビ免租年地ニハ貸賃價格ハ低ク付ケ
テ居リマス、倍數ヲ別ニ考ヘナケレバ
ナラス、斯ウ云フ場合ニハ倍數ニ依ラ
ズニ、近傍類似ノ土地價格等ニ依ツテ
決メテ行ク、ソレカラ鑛泉地等ニ付キ
マシテハ、是ハ貸賃價格ノ倍數ト云フ
コトハナカノ「行キタイ」ノデ、是ハ
各鑛泉地ニ付テ個々ニ調査シタイ思
ツテ居リマス、即チ一分間ニ出ル量ト
カ、溫度トカ、機械設備トカ、或ハ其
ノ鑛泉地ノ品價格等カラ決メテ行カナケ
レバナラス問題ダト思ツテ居リマス、
二十八條ハ、地上權、永小作權ハ相續
稅ト同ジヤウニヤツテ行キタイ、二十
九條ハ問題ゴザイマセヌ、三十條ノ國
債モ原則トシテ發行價格ニ依ルノデア
リマスガ、高利債ニ付キマシテハ發行
價格以上ノ評價ヲ致シタイ、社債ニ付
キマシテハ、是ハ今度軍需補償打切り
等ニ依リマシテ、會社ノ社債ガ相當動
イテ來ルノデヤナイカト考ヘテ居リマ
ス、又株式ニ付キマシテモ、先程申シ
マスヤウニ、三月三日現在ニ依ラズニ
最近ノ價格ニ依ツタ方ガ納稅ガ便利ダ

ト、斯ウ思ヒマスノデ最近ノ價格ニ依
リマス、併シ例外的ニ三月三日直後安
イ時ニ賣ラレタト云フモノニ付キマシ
テハ例外ヲ設ケル、斯ウ云フコトハ命
令デ決メタイト思ツテ居リマス、定期
金ニ付キマシテハ大體今迄ノ考ト同ジ
デゴザイマス、唯問題ハ三十二條ノ保
險金デゴザイマスルガ、保險金ニ付キ
マシテハ、所謂拂込濟保險料ノ大體六
掛ノ課稅ノ對象ニ致シタイ、一時拂
付キマシテハ、拂込保險料ヲ課稅價格
トスル、此處ナシカ一番重要ナ點ダト
思ヒマス、三十三條ニ付キマシテハ、
統制價格ガ後カラ定メラレタ時ニハ其
ノ統制價格ニ依ルト云フノデゴザイマ
ス、家庭用動產ニ付キマシテハ、先程
御説明申上ゲマシタ

○子爵大河内輝雄君 チヨット其ノ中
デ保險デスガ、ソナレ馬鹿ナ保險ガア
ルカト仰シヤイマス、ケレドモ、掛金ノ
方ガ保險金額ヨリモ多イノガアルノデ
ス、六掛ニシタツテ多イノガアルノデ
ス、サウ云フノハドウナリマセウ
○政府委員(池田勇人君) ズット以前
ノ保險契約ノ場合ニハ、保險金額ヨリ
マ掛金ノ多イ場合ハ相當ゴザイマス、
併シ是ハ考ヘ方デ、色々アリマスガ、
準備金ニ依ルカ、或ハ解約返戻金ニ依
ルカ、色々議論ガアル所デゴザイマス
ガ、拂込濟保險料ノ評價ニ付キマシテ
ハ、大體三十二條ニ規定シテアル通り
「ドイツ」モ、「フランス」モ、各國共
使ツテ居リマス、詰リ拂込濟保險料ニ
付キマシテ、三分ノ二ニ依ルカ、六割
五分ニ依ルカ、或ハ六割ニ依ルカ、此
ノ三通リデゴザイマス、只今ハ拂込濟
保險料ノ六掛、一番低イノデ行キタイ
ト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 サウシマス、
保險金額ヨリモ、其ノ掛金ノ六割ノ方
ガ多ケレバ、掛金ノ六割デ御ヤリニナ
リマス、カ、何ンダカラカシナ話ダト思
ヒマス
○政府委員(池田勇人君) サウ云フ場
合ハナイト思ツテ居リマス
○子爵大河内輝雄君 サウ云フ場合ハ
保險金額デ御ヤリニナル、例ヘバ保險
金額ガ一萬圓トシテモ、今ノ六掛ノ奴
ガ一萬一千圓ダトシマスネ、サウ云フ
場合ハドウツデ御ヤリニナリマス、カ
○政府委員(池田勇人君) サウ云フ場
合ハナイト私ハ記憶致シテ居リマス、
若シアリマシタナラバ、少イ方ニ依ラ
ナケレバイカスト思ヒマス
○子爵大河内輝雄君 ソレデ宜シウゴ
ザイマス、能ク分リマシタ、次ニサツ
キ橋本君カラモ色々御尋デシタガ、例
ノ六十四條ノ密告デスガ、密告ノ場合
ニハ金ヲヤツテモ宜イト書イタルノ
ダガ、是ハドウ云フ場合ニ御ヤリニナ
ツテ、ドウ云フ場合ニハ御ヤリニナ
ナイノデスカ
○政府委員(池田勇人君) 其ノ通報ガ
非常ニ良イ通報デゴザイマシテ、其ノ
通報ガナカツタナラバ到底稅務署ノ方
デ調査不可能デ課稅漏レニ終ルドラウ
ト、斯ウ云フ場合ニ付キマシテハ、此
ノ範圍内デ大藏大臣ガヤリ得ルト、斯
ウ云フコトデゴザイマスルカラ、通報
ニ依リマシテ課稅價格ガ殖エテ行ツ
タ、斯ウ云フ場合ニ、全部ヤルトモ考
ヘテ居リマセヌ、非常ニ良イ通報デ、
是ナラバヤツテ宜イト云フ大藏大臣ノ
判斷デヤリ得ルト、斯ウ云フコトニ致
シテ居リマス、此ノ規定ハ、稅務署、
財務局デハ使ハズニ、出來ルダケ本省
デ決メタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 サウシマス、
○政府委員(池田勇人君) 其ノ通報ガ
非常ニ良イ通報デゴザイマシテ、其ノ
通報ガナカツタナラバ到底稅務署ノ方
デ調査不可能デ課稅漏レニ終ルドラウ
ト、斯ウ云フ場合ニ付キマシテハ、此
ノ範圍内デ大藏大臣ガヤリ得ルト、斯
ウ云フコトデゴザイマスルカラ、通報
ニ依リマシテ課稅價格ガ殖エテ行ツ
タ、斯ウ云フ場合ニ、全部ヤルトモ考
ヘテ居リマセヌ、非常ニ良イ通報デ、
是ナラバヤツテ宜イト云フ大藏大臣ノ
判斷デヤリ得ルト、斯ウ云フコトニ致
シテ居リマス、此ノ規定ハ、稅務署、
財務局デハ使ハズニ、出來ルダケ本省
デ決メタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 サウシマス、
○政府委員(池田勇人君) 其ノ通報ガ
非常ニ良イ通報デゴザイマシテ、其ノ
通報ガナカツタナラバ到底稅務署ノ方
デ調査不可能デ課稅漏レニ終ルドラウ
ト、斯ウ云フ場合ニ付キマシテハ、此
ノ範圍内デ大藏大臣ガヤリ得ルト、斯
ウ云フコトデゴザイマスルカラ、通報
ニ依リマシテ課稅價格ガ殖エテ行ツ
タ、斯ウ云フ場合ニ、全部ヤルトモ考
ヘテ居リマセヌ、非常ニ良イ通報デ、
是ナラバヤツテ宜イト云フ大藏大臣ノ
判斷デヤリ得ルト、斯ウ云フコトニ致
シテ居リマス、此ノ規定ハ、稅務署、
財務局デハ使ハズニ、出來ルダケ本省
デ決メタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 サウシマス、
○政府委員(池田勇人君) 其ノ通報ガ
非常ニ良イ通報デゴザイマシテ、其ノ
通報ガナカツタナラバ到底稅務署ノ方
デ調査不可能デ課稅漏レニ終ルドラウ
ト、斯ウ云フ場合ニ付キマシテハ、此
ノ範圍内デ大藏大臣ガヤリ得ルト、斯
ウ云フコトデゴザイマスルカラ、通報
ニ依リマシテ課稅價格ガ殖エテ行ツ
タ、斯ウ云フ場合ニ、全部ヤルトモ考
ヘテ居リマセヌ、非常ニ良イ通報デ、
是ナラバヤツテ宜イト云フ大藏大臣ノ
判斷デヤリ得ルト、斯ウ云フコトニ致
シテ居リマス、此ノ規定ハ、稅務署、
財務局デハ使ハズニ、出來ルダケ本省
デ決メタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 サウシマス、
○政府委員(池田勇人君) 其ノ通報ガ
非常ニ良イ通報デゴザイマシテ、其ノ
通報ガナカツタナラバ到底稅務署ノ方
デ調査不可能デ課稅漏レニ終ルドラウ
ト、斯ウ云フ場合ニ付キマシテハ、此
ノ範圍内デ大藏大臣ガヤリ得ルト、斯
ウ云フコトデゴザイマスルカラ、通報
ニ依リマシテ課稅價格ガ殖エテ行ツ
タ、斯ウ云フ場合ニ、全部ヤルトモ考
ヘテ居リマセヌ、非常ニ良イ通報デ、
是ナラバヤツテ宜イト云フ大藏大臣ノ
判斷デヤリ得ルト、斯ウ云フコトニ致
シテ居リマス、此ノ規定ハ、稅務署、
財務局デハ使ハズニ、出來ルダケ本省
デ決メタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 サウシマス、
○政府委員(池田勇人君) 其ノ通報ガ
非常ニ良イ通報デゴザイマシテ、其ノ
通報ガナカツタナラバ到底稅務署ノ方
デ調査不可能デ課稅漏レニ終ルドラウ
ト、斯ウ云フ場合ニ付キマシテハ、此
ノ範圍内デ大藏大臣ガヤリ得ルト、斯
ウ云フコトデゴザイマスルカラ、通報
ニ依リマシテ課稅價格ガ殖エテ行ツ
タ、斯ウ云フ場合ニ、全部ヤルトモ考
ヘテ居リマセヌ、非常ニ良イ通報デ、
是ナラバヤツテ宜イト云フ大藏大臣ノ
判斷デヤリ得ルト、斯ウ云フコトニ致
シテ居リマス、此ノ規定ハ、稅務署、
財務局デハ使ハズニ、出來ルダケ本省
デ決メタイト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝雄君 サウシマス、
○政府委員(池田勇人君) 其ノ通報ガ
非常ニ良イ通報デゴザイマシテ、其ノ
通報ガナカツタナラバ到底稅務署ノ方
デ調査不可能デ課稅漏レニ終ルドラウ
ト、斯ウ云フ場合ニ付キマシテハ、此
ノ範圍内デ大藏大臣ガヤリ得ルト、斯
ウ云フコトデゴザイマスルカラ、通報
ニ依リマシテ課稅價格ガ殖エテ行ツ
タ、斯ウ云フ場合ニ、全部ヤルトモ考
ヘテ居リマセヌ、非常ニ良イ通報デ、
是ナラバヤツテ宜イト云フ大藏大臣ノ
判斷デヤリ得ルト、斯ウ云フコトニ致
シテ居リマス、此ノ規定ハ、稅務署、
財務局デハ使ハズニ、出來ルダケ本省
デ決メタイト考ヘテ居リマス

是ハ事實、例ハ彼處ノ家デ一萬圓ノモノガ穩シアルト云フ其ノ事實ガハツキリ決ツテ、ソレカラ後ニ御ヤリニナルノデゴザイモセナ、マダドツチカ譯ノ分ヲナイノヲヤルト云フコトハ生ジ得ナイモノト思ヒマスガ

○政府委員(池田勇人君) 其ノ通りデゴザイマス、申告ガナカツタトカ、或ハ申告カラ脱漏サレタト、サウ云フ事實ヲ通報シマシテ、稅務署方其ノ通報ニ基キテ調査シタ所ガ、果シテ脱漏シタ居ツタト云フ場合ニノミヤリ得ル規定デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ次ノ問題ハ、非常ニ重要ナ「デリケート」ナ問題デアリマス、若シ私ノ申スコトガ惡クレバドウゾ速記カラ御取除ケテ願ヒマス、政府委員モ、申上ゲル迄モナク大藏大臣ニシテモ、ドウゾサウ云フ場合ニハ御遠慮ナク速記デモ何ンデモ御止メ下サイ、私ノ伺ハウトル所ハ皇室財産ノ問題デアリマス、皇室財産ニ對シテハ財産稅ガ課カルト思ヒマス、先ゾ第一ニ伺ヒタイノハ、ドウ位課カルモノカ、ソレノ皇室財産ニ及ス影響如何、詰リ今幾ラ位ニ御覽ニナツテドウ位ノモノカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラサウ云フコトニナリマス、皇室財産ト云フモノハ皇室ノ御財政ニハ大變ナ響キガ來マス、之ニ對シテハ國民トシテハ默視スルコトハ出來ナイ、是ハ先日憲法ノ本會議デモ申上ゲマシタ通り、國民トシテハ是非トモ全力ヲ擧ゲテ之ヲ善處サナケレバナラス、サウ云フ御見込ハドウデゴザイマスルカ、是ハ政府ノ豫算ニ依リコトデゴザイマスカラ國民トシテ獻納スル途ハゴザイマスガ、先ツ以テ政府デ以テ一ツ相當ナ善

後策ヲ御立デニナラナケレバナルマイト思ヒマス、ソレカラサウ云フヤウナコトニナリマス、今ノ皇室ノ御財産中國有ニ歸スベキモノモ大分ゴザイマセウ、ドウ云フモノガ國有ニ歸シマスカ、ドウ云フモノガ民有ニ歸シマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレデソレニ付キマシテハ、茲ニ特別ニ問題ヲ出シテ置キマスガ、博物館ト正倉院ト學藝院ト此ノ三者、此ノ三者ニ付テハドウ云フ御扱ヒニナリマスカ、或ハ特別ニ御下賜金デモアツテ財団法人トシテデモ御保存セラレルヤウナ方法ニナリマセウカ、ソレトモドナ風ニナリマセウカ、是ハ私甚ダ無遠慮ナ質問デ何ノコトガ或ハ惡イカモ知レマセヌデスガ、併シマア伺ワダケハ伺フ方ガ宜カラウト考ヘマスノデ、思ヒ付イタコトヲ無遠慮ニ竝ベマシタ、大臣カラデモ政府委員カラデモ宜シウゴザイマスガ、御差支ナイ限リニ於テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) 皇室財産ニ付テハ御話ノ通り「デリケート」ナ問題デアリマス、又決定シテ居ナイコトガ大部分デアリマス、ガ何レニシマシテモ、國有財産ニ讓渡セラレルコトハ決ツテ居ル、唯世襲財産ト云フモノガドレダケノ範圍ニ殘ルカト云フコトデアリマスガ、皇室ノ御貽ヒニ付テハ是ハ次ノ豫算カラ其ノコトヲ考慮シマシテハ、豫算ハ計上スルヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ財産稅モ實ハ憲法デアノヤウニ皇室財産ノコトガ決ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ宜イデヤナイカト云フコトモアリマシタ、我々モサウ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、是ハ矢張り色々關係カラ憲法ガ施行サレテ居ラナイノダカラ、此ノ際

皇室ノ御財産ニモ財産稅ヲ課セル方ガ内外ノ情勢上宜シイト斯ウ云フコトデアレケル、是ハ今ノ法律ヲ以テ課セル譯ニ行キマセスガ、皇室令ノ改正ニ依ツテ同效果ヲ齎スト云フコトヲ決メタ譯デアリマス、ソコデドレ程ノモノガ課カルカト云フコトハ實ハハツキリ致サナイノデアリマスガ、相當多額ノモノガ財産稅ニナルト考ヘナケレバナリマセス、ソレカラ博物館、正倉院、ソレカラ學藝院ノ問題、是ハ只今研究中デアリマシタ、博物館トソレカラ正倉院ノ美術ニ關スルモノハ何等カ特別ノ措置ヲ致シタイト云フノデ、ソレガドウ云フ風ナコトニナリマスカト云フコトハ今總理大臣ヲ中心ニシマシタ、色々案ヲ立ツツ、アル次第デアリマス、適當ニ處理シテ、十分博物館或ハ正倉院等ヲ保存スルト同時ニ、アスコノ皇室ノ何カノ、今ノ例ヘバ名前ノ上ニ於テ皇室ノ帝室博物館ト云フヤウナ名前何處迄モ殘シタラドウカ、ト云フヤウナ線ニ沿フテ只今ヤツテ居リマス、學習院ノ問題モ同様ニ是ハ文部當局等デ研究シテ居ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ問題ハマダモウ少シ伺ヒタイノデゴザイマスガ、問題ノ性質上餘リ立入ツテ伺ヒマスノモ如何カト思ヒマスノデ、私ノ質問ハ財産稅法案ト財産稅收入金特別會計法案、此ノ二ツノ問題ニ付テハ質問ヲ終リマス、尙其ノ以外ノ小サナ法案ニ付テチヨイ／＼伺ヒタイコトガゴザイマスガ、是ハ其ノ時ニ入リマシテ……

○委員長(三土忠造君) 先刻財産稅法案ニ移リマスル前ニ板谷君ガ保留シテアツタ大藏大臣ガ御見エニナツタ御聽キニナリタイ、小山完吾君モ之ニ關聯シテ質問シタイト云フコトデアリマスカラ、此ノ際之ヲ許シマス

○板谷順助君 私人金融機關整備法案ニ付キマシテ年前中膳國務大臣、政府委員ニ伺ヒマシタクレドモ、要領ヲ得マセヌノ實ハ保留シテ居ツタ譯デアリマスガ、要スルニ金融業者ノ整理リマセウガ、先ヅ第一ニ積立金ヲ取ル、其ノ次ニハ株主ノ九割ヲ取ル、ソレデ足りナイ場合ニ於テハ法人ノ預金ノ五百萬圓以上ノ者ノ七割ヲ取ル、更ニ又ソレデ足りナイ場合ニ於テハ百萬圓以上ノ者ノ五割ヲ取ル、又十萬圓以上ノ者ノ三割ヲ取ル、其ノ次ニハ法人ノ取ラレタ預金ノ殘額ノ全部ヲ取ル、更ニ又株式ノ一割ヲ取ルモノヲ取ル、其ノ次ニハ整理債務ノ債權者、是ハ先程政府委員ノ説明ニ依ツテ個人ノ第二封鎖預金ト云フコトガ明カニナツタノデアリマス、更ニ足りナイ場合ニ於テハ指定債務ノ債權者カラ取ル、所ガ此ノ指定債務ノ債權者ト云フコトニ付キマシテハ公租公課デアルトカ、或ハ破産管財人ノドウトカ斯ウトカ、極メテ曖昧ナ御答辯デアツタノデアリマスガ、要スルニ指定債務ノ債權者ト云フコトハ、先ヅ第一ニ日本銀行ノ三百五十億、其ノ他資金統合銀行及ビ農林中央金庫ノ所謂新勘定ニ移サレル金、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマスガ、大臣其ノ通りデアリマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 新勘定ニ移サレルモノハ入リマセヌ

○板谷順助君 然ラバ指定債務ノ債權者ト云フモノハ一體何デスカ、ドウ云フモノヲ指スノデアリマスカ

シク作ラレタ、詰リ舊勘定カラ新金融機關ニ對シテノ債務、公租公課、租稅ノ徵收ニ依リ政府ノ取得シタル預金等ニ關スル債務、是ハ例ノ財産稅ノコトデアリマス……但シ財産稅ノ徵收ニ依ルモノヲ除クト書イデアリマス、ソレカラ戰時補償特別稅ニ關シ他ノ金融機關ヨリノ求償ニ應ジテ履行ヲ爲スベキ債務、ソレカラ管理保全ノ費用、最終處理ノ費用、一定金額以下ノ退職金等臨時の給與ノ債務、ソレダケデアリマス

○板谷順助君 其ノ金額ハ大凡ドウ位ニ見テ居ラレマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ成程段々金融機關ガ整理サレルニ從ヒマシテ出テ來ルモノガ多イノデアリマシテ、今ノ所デハ是ハ幾ラニナルト云フコトハ分リマセスガ、結局大シタ金額ニハナラナイ、斯ウ云フ見込デアリマス

ル、從ツテ日本銀行ハ固ヨリ信用ヲ維持スル上ニ於テ必要デアリマセウケレドモ、併シナガラ此ノ三百五十億ノ資金ト云フモノハ當然私ハ此ノ金融機關ノ企業再建整備法案ニ關連ムベキ筋合ノモノト思フデアリマス、然ラザレバ所謂小ノ蟲ヲ殺シテ大ノ蟲ヲ助ケルト云フヤウナ結果ニナルノデ、勿論銀行ニ於キマシテモ或ハ相當ノ大株主モアリマセウガ、細カイ株主モ相當アルト見ナケレバナラス、又會社モ、所謂法人ニ於ケル所ノ株主モ同様デアリマス、從ツテ政府ノ屢ミロニサレル所ノ細カイ者ハ出來ルダケ助ケルト云フヤウナ意味ニ於テ、或ハ一萬五千圓ハ第一封鎖ニ分ケルトカ、戰災者ニ對シテハ五萬圓迄ハ支拂フト云フコトヲ言ツテ居ルニモ拘ラズ、政府ノ機關トシテ強制ノ三軍需會社ノ貸付ヲサシテ置イテ之ヲ後進シニスル、恐ラクハ今御説明ニ依リマスト指定債務ト云フモノノ金額ハ極メテ僅カデアル、私ハ唯ホソノ形式ノ此所ニ御並ベニナツタノデハナイカト思フカラシテ、今御話スル通りニ國家ガ命令ニ依ツテ貸出シタル此ノ三百五十億ノ金ト云フモノハ當然此ノ金融機關ノ、企業再建整備法案ニ關連シテ整備スベキモノデアール、又一般ノ預金者、或ハ又株主ニ先立ツテ之ヲ適當ニ優先ノ二計上スベキデアルト私ハ考ヘルデアリマスガ、御意見ハ如何デスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 結局ソレハ日本銀行ノ損害及シテ整理セヨト云フ御意見ト考ヘマスガ、是ハ一體今度ノ戰時補償金ニ對スル課税ト云フモノノ趣旨ヲ申シマスガ、初ニ起ツテ來タル趣旨ガ第一ニ國家ノ負擔ヲ輕減スル、之ヲ補償……全部拂フト云フコトハ

連モ國家財政上負擔出來ナイト云フコトニナリマス、處デ日本銀行ノ損害ヲ被セルコトハソレハ一部株主等モ被ルコトニナリマスガ、結局國家ガ損害ヲ被レト云フコトト同ジデアリマス、デアリマスカラ其ノ理由カラ日本銀行ニハ一應損害ヲ被セルコトガ出來ナイト云フノデ除外サレマシタ、ソレカラモウ一ツハ日本銀行ハ矢張り銀行ニハ違ヒアリマセマスガ、矢張り中央銀行デアリマシテ、通貨ノ發行權ヲ持ツテ居ル、此ノ日本銀行モ一緒ニ今度ノ整理ノ中ニ捲込シヤルト云フコトハ、是ハ一國ノ通貨ノ信用ノ上カラ言ヒマシテモ、後ノ金融機關ノ整理ノ上カラ言ヒマシテモ經濟的ノ不利益デアルト云フヤウナ大體斯様ナ考ヘカラ日本銀行ハ外シタ、結局全體ノ「インターバンク・ローン」ト云フモノヲ外シテ、サウシテ新勘定ニ移シテ置キマシタ、併シソレデハ日本銀行ガ餘リウマイコトヲスルデヤナイカト云フ非難モアラウト思ヒマスガ、日本銀行モ能ク調ベマスト、今迄モ相當負擔ヲシテ居ルノデアリマス、デアリマスガ是ハ別途ニ負擔ヲサセル積リデ居リマス、此ノ補償問題トハ切離シテ居リマス、是ハドウシテモ日本銀行トシテ相當負擔ヲシテ貰ハナケレバナラス場合ガアルト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○板谷順助君 我ハ日本銀行其ノモノヲ此ノ金融機關ノ整備法案ノ中ニ捲込メト言フノデアリマセマス、今御話ノヤウニ三百五十億ノ貸金ト云フモノハ今日ニナツテ見レバ殆ド講ヘ拾デタト同様デアリマス、デアルカラシテ先ヅ第一ニ一般ノ預金者、今申上ゲマスルヤウニ法人ハ兎モ角トシテ、個人ノ第二封鎖金モ此ノ犧牲ニ供スルト云フ

案ニナツテ居ルノデアリマス、デアルカラ兎ニ角例ヘバ三百五十億ノ全部ヲ日本銀行ガ負擔セムト致シマシテモ或程度迄相當犧牲ヲ拂ツテ共ニ苦シミラ分ツ、斯ウ云フ態度ニ出ルベキガ適當デヤナイカ、殊ニ今御話ノ國家ニ損害ヲ及スト云フコトガアリマシタガ、國家ガ國民ニ對シテ非常ニ迷惑ヲ掛ケデアリマス、デアリマスカラ今アナタノ御話ハ、所謂國家ハ成ルベク損ヲシタクナイ、或ハ農林中央金庫ノ如キモノハドウナツテ居ルカ分リマセマスガ、國家ハ成ルベク損ヲシナイデ、國民ニ第一ニ迷惑ヲ掛ケル、斯様ナ御考デナイカト思フ、是デハ世間ガ通りマセヌ、兎ニ角日本銀行ノ信用ヲ維持スル上ニ於キマシテモ三百五十億ノ金ト云フモノハ今御話スルヤウニ殆ド講ヘ拾テタト同様、之ガ爲ニ各一般ノ普通銀行ガ再び起ツコトガ出來ナイヤウナ狀態ニナツタナラバ一般ノ預金者ガ迷惑スルト云フコトハ當然デアール、其ノ點モ一ツ御考慮ニナツテ戴キタイ、私ハ今御話スルヤウニ政府本位、國家本位、國家ハ成ルベク損ヲシタクナイ、一般ノ國民ガ迷惑ヲシテモ己ムヲ得ヌ、斯ウ云フ御處置ヲ御執リニナルノハ不穩當デヤナイカト考ヘルデアリマス、モウ一遍御答辯ヲ願ヒマス

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ建前ノ問題デアリマシテ、國家ガ損ヲスルト云フコトハ結局ハ租稅ヲ補償スルト云フコト、詰リ御話ノヤウニスルノハ一ツノ建前デス、ソレナラバ始メカラ補償ヲ拂ツテシマフト云フ建前ニスルノガ當然デアリマス、今度ノヤリ方ハ如何ニモ是ハ私共カラ始終申シマスヤウニ一面ニ於テハ非常ニ不公平ナ點ガアルガ、戰時補償ヲ打切ルト云フコトガ個々ノ國民ニ損害ヲ負擔シテ貰ツテサウシテ全體ノ租稅ヲ賄フ方ノ國家ノ負擔ト云フモノヲ輕減スルト云フ建前デ出來テ居ル、其ノ建前カラ申シマスドドウシテモ日本銀行ニハサウ云フ多額ノ損害ヲ掛ケラレナイ、何故カト云フト日本銀行ノ損害ヲ掛ケルト日本銀行ガ背負フコトニナル、背負ヒ切レ、バ宜イガ、日本銀行ガ背負フト云フコトハ言ヒ換レバ國家ガ背負フト云フコト負フト云フコトニナリマス、サウナリマスレバ元ヘ戻ツテスツバリ補償ヲ拂ツテシマヘバ宜イト云フコトニナリマスノデ、是ハ利害上ノ色々ノ議論ガ起ル譯デアリマスガ、此ノ法案ノ建前ハ左様ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ建前カラ申シマスドドウシテモ日本銀行ヘハ尻尾ハ持ツテ行ケナイ、斯ウ云フコトニナリマス

○板谷順助君 アツタガサウ仰シヤルノハ日本銀行ガ其ノ外ニマ澤山ノ貸出ガアツテ此ノ整理ガ付カスト云フヤウナ意味ニ於テ、日本銀行ニサウ餘計ナ迷惑ヲ掛ケテハイカスト云フヤウナ御考デヤナイカト私ハ疊ノ御言葉ニ依ツテ想像スルノデアリマス、然ラバ國家ガ大切デアルト云フナラバ、是ハ餘計ナコトデアリマスケレドモ、二十一年度ノ一般會計ノ如キモ聯合軍ノ費用ハ已ムヲ得マセスケレドモ、ア、云フ國家ノ財政ニ合ハシテ大ナ豫算ヲ立テ、國民ニ非常ニ負擔ヲ掛ケル、ソレ等ノ點ヲ考ヘテ見マシタナラバ、今日今國民ガ補償ハ打切ラレ、財產稅ハ取ラレ、後ガ一體ドウ云フ狀態ニナリマスガ、恐ラクハ私ハ此ノ儘デ行ツタナラバ日本ノ再建ナドハ思ヒモ依ラヌ、サウ考ヘルデアリマス、モウ是以上ハ議論ニナリマスカラ申上ゲマセヌガ、恐ラクハ國民ノ多數モ私ハ承服シナイト思フ、是デケ申上ゲテ置キマス

○委員長(三土忠造君) 小山完吾君、關聯質問ガアルサウデスガ……

○小山完吾君 只今板谷君ノ御質問ニナツタコトデ大體ハハツキリ致シマシテ、私ハ此ノ上結論ヲ動カス爲ニ申上ゲル必要ハナイノデゴザイマスガ、唯併シドウ云フ譯デ日本銀行ダケガ左様ニ優遇ヲ受ケナクチャナラヌカト云フ一應ノ理由ダケハ私モ得心致シタイト思フ、私ハ細カイコトヲ申上ゲマセヌ、極ク端的ニ申上ゲテ見タイ、一體日本ノ銀行ハ戰時補償ヲ打切ラレテ損ヲシタ、其ノ總額ハ九百億ニナルカ、恐ラクハ八百億ニナルカ、九百億ニナルカ、私ハ存ジマセマスガ、其ノ位ニナルダラウト思フ、サウシテ其ノ損ハドウシテ起ツタカト言ヘバ、政府ノ命令デアリマスガ、其ノ當時何困ルナラバ親銀行ガ見テヤル、日本銀行ガ見テヤルト言ツテ日本銀行ガ貸付ケタ金デアール、ソレデアールカラ今日事ガ起ツテシマツテカラ之ヲ考ヘテ見ルト云フト、市中ノ銀行ガ損スル總額カラ「マイナス」日本銀行ノ貸付ケタ金ノモノヲ引イテシマツタモノダケハ、即チ銀行ノ負擔ニ屬スベキモノダト云フコトハ明カナコトデアール、サウスレバ其ノ分ハ銀行ト雖モ積立金ト雖モ外ナインデスカラ、後ハ預金デ營業シテ居ルノデスカラ、即チ日本銀行カラ借りタ金ヲ差引イタル額ト云フモノハ、即チ國民ノ預金ニ依ツテ是ハ貸シタ金ナンデアル、ソレナラバソレダケ整理ノ中ニブチ込マレルト云フコトナラバ、道理ハ著クノデスガ、日本銀行カラ貸シタ

金ハ別ニ返シテシマフ、生キテ居ルノ
ダト云フコトデハ、ソコニドウモ吞ミ
込メナイ點ガアル、デスカラソレ自體
ヲ少シ明カニシテ置カクチャイカヌ
ト云フコトヲ考ヘルノデスガ、ソレデ
ハ日本銀行ガ非常ニ困ルカラ、ソレハ
三百何十億ノ金ヲ今出セト言ツタラ非
常ニ困リマセウ、併シ從來ノ日本銀行
ノヤリ方ヲ見ルト云フト、随分高率ナ
配當ヲシテ、サウシテ裕福ナ株主ガ株
主トナツテ居ル、一般ノ市中ノ株式會
社、例ヘバ保險會社ニシテ所デ株金ノ
九割迄打切ラナケレバナラヌト云フ狀
態ニナツテ居ルノニ、日本銀行ハ今日
株式會社デアリナガラ、晏然トシテ何
等犧牲ヲ拂ハナイデ此ノ危機ヲ乘切ル
コトガ出來ルト云フコトハ餘リニ「フ
エアー」デヤアリマセヌ、併シナガラ
ソナコトヲ言ツテ見テモ發券銀行ト
シテモ信用ガ落チテモ困ルトカ、何ト
カ云フノデ我々ヲ納得サセル理由ガア
ルナラバ、ソレハ納得スルヨリ仕方ガ
ナイト云フ、斯ウ云フ際ニ至ツテ「テッ
ド・ロツク」ニ當ツテソレ以上進マウ
トスレバ我々ガ怪我ヲスルノデアリマ
スカラ、ソコ迄ハ主張致シマセヌガ、
其ノ邊ハドウ云フモノデアルカト云フ
コトヲ伺ヒタイ

○國務大臣(石橋湛山君) 御趣意ハ能
ク分ルノデアリマス、サウ云フ議論モ
無論アリマシタシ、殊ニ民間銀行家等
カラハサウ云フヤウナ御説モ屢々伺ヒ
マシタガ、是ハ色々考ヘテ見マスノニ、
今板谷委員ニ御答シタト同ジコトヲ繰
返ス譯デアリマスガ、結局日本銀行ノ
貸出ガ三百何十億圓ナラ何十億ト云フ
モノガ穴ニナルト云フコトハ、是ハ日
本銀行ニハ之ヲ株主ノ範圍ニ於テハ幾
ラデシタカチヨツト覺エマセヌガ、大

シタモノデアリマセヌ、ソレデ後ハ日
本銀行デ被ルト云フコトハ國家ガ被
ル、日本銀行ハ幾等カ評價益モアルカ
モ知ラヌガ、是ハモウ人シタモノデヤ
アリマズマイカラ、結局國家ガ補償ス
ルト云フコトニナルノデアリマス、是
ガソレガ本當デヤナイカト言ハレ、バ
是ハ一ツノ議論デアリマスガ、此ノ法
律ノ建前ガサウナツテ居ラナカツタト
云フコトデス、モウ一ツハソレデモヤ
ツテモ宜イノデアリマスガ、サウスレ
バ是ハ一種ノ發券銀行ヲ此ノ際ニ捲
込ムコトハ矢張り利益デヤナイ、ソレ
デ日本銀行ニ負擔ヲシテ貰フコトハ外
ニヤリヤウガアルノデアリマス、殊ニ
近イ中ニ中央銀行制度ト云フモノハ是
非改革シナケレバナラヌコトニモナツ
テ居リマスカラ、其ノ場合ニ之ヲ讓ツ
タ方ガ宜イ、斯様ニ私ハ判斷致シマシ
テ、日本銀行ハ暫ク安全ト云フト言葉
ハ惡イカモ知ラヌガ、手ヲ著ケナイコ
トニ致シタ譯デアリマス

○小山亮吾君 大體事情ハハツキリシ
マシタカラ、其ノ邊デ私ハ打切りマス
○委員長(三土忠造君) 今日ハ是デ散
會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會
致シマス

午後三時五十六分散會
出席者左ノ如シ

委員長 三土 忠造君
副委員長 男爵高崎 弓彦君
委員

侯爵池田 宣政君
侯爵鍋島 直泰君
伯爵二荒 芳徳君
伯爵黒田 清君
子爵大河内輝耕君
子爵京極 高修君
子爵瀧脇 宏光君

國務大臣 石橋 湛山君
大藏大臣 膳 桂之助君
政府委員

大藏政務次官 上塚 司君
大藏事務官 福田 赳夫君
同 池田 勇人君
同 渡邊喜久造君
司法事務官 奥野 健一君
商工事務官 三木 秋義君
同 松尾 金藏君

子爵綾小路 護君
子爵梅澤 通虎君
慶松勝左衛門君
男爵周布 兼道君
長谷川赳夫君
男爵八代五郎造君
男爵中村 貫之君
男爵林 忠一君
男爵倉富 鈞君
男爵宮原 旭君
黒田 英雄君
板谷 順助君
橋本辰二郎君
河西豐太郎君
小山 完吾君
高橋龍太郎君
有馬忠三郎君
中島徳太郎君
片岡 直方君
片倉兼太郎君
河端作兵衛君
岸本 彦衛君
松岡 潤吉君
小汀 利得君
上野喜左衛門君

昭和二十一年十一月十二日印刷

昭和二十一年十一月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局